

会長のページ TPPと医療	河野 雅行	3
日州医談 有床診は絶滅危惧種か？	川野啓一郎	4
就任挨拶 宮崎大学医学部教授就任挨拶	近藤 千博	6
随 筆 生まれたばかりの赤ちゃんに勇気をもらう	谷口 二郎	8
エコー・リレー(483)	加藤久仁彦, 川原 岳	10
メディアの目 良きサマリア人たち	重畠 修一	14
国公立病院だより 宮崎大学医学部附属病院	吉原 博幸	18
宮崎大学医学部だより(病態解析医学講座麻酔生体管理学分野)	恒吉 勇男	20
専門分科医会だより(泌尿器科医会)	中山 健	21
ニューメンバー	福留 真二, 富山由美子	44
診療メモ 働き盛り世代の自殺 - 自験例より	大西 雄二	70

あなたできますか?(平成 26年度医師国家試験問題より)	11
宮崎県感染症発生動向	12
各都市医師会だより	16
各種委員会(健康スポーツ医学委員会・健康教育委員会)	22
全国医師会医療秘書学院連絡協議会	
第 68回定例総会・平成 27年度第 1 回運営委員会	24
九州医師会連合会第 35回常任委員会	26
薬事情報センターだより(342) 新薬紹介(その 82)	27
日医インターネットニュースから	28
理事会日誌	30
県医の動き	36
追悼のこぼれ	39
会員の異動・変更報告	42
ベストセラー	43
ドクターバンク情報	45
行事予定	49
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	53
読者の広場	72
宮大医学部学生のページ(第 1回清花祭)	74
あ と が き	78

~~~~~

|                        |    |
|------------------------|----|
| お知らせ 「新春随想」原稿募集        | 7  |
| 宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ    | 9  |
| 宮崎県医療勤務環境改善支援センター      | 15 |
| 医療事故調査制度 相談窓口          | 23 |
| 宮崎県医師会メーリングリストのご案内     | 35 |
| 宮崎県医師会医療情報コーナー         | 35 |
| 日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています | 51 |
| 医師資格証を持っていますか？         | 73 |
| 郡市医師会への送付文書            | 76 |

## 医師の心得

- 1 . 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
- 2 . 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
- 3 . 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
- 4 . 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
- 5 . 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成 14年 3月 12日制定)

〔表紙作品 油絵〕

### 花

人物ばかりを描いていると、時々、風景や静物が描きたくなります。静物は人物に通じる所があって好きなのですが、花はそれぞれの個性を表現するのに苦労します。寒季の椿は何とも云えない品格を葉や花びら、花芯にまとって思わず見とれてしまいます。そして決して幼い手のひらに大きな椿を乗せて遊んだ昔を思い出すのです。

西都市 <sup>あん</sup>安 <sup>とう</sup>藤 <sup>のぶ</sup>宣

## 会長のページ

## TPPと医療

かわのまさゆき  
河野雅行

TPP が会議を重ねて、ようやく大筋合意に至った。各国の利害・思惑が複雑に絡んでおり、難問があったものと思われる。これは、様々な分野に及んだ協定で、全世界的な面から見れば理想かもしれない。しかし、各国の歴史、文化まで統合することは不可能であるし、社会構造があまりにも巨大となり、必然的に様々な歪みが生じてくるであろう。当然、メリット・デメリットがあり、欠点はそのギャップがとてつもなく大きなものとなることだと言われている。現在の我が国は比較的貧富の差が少ない社会である。一部の人が富の大部分を占めている米国の形が日本に入ってくる

れば、我が国の社会の形態自体が吹っ飛んでしまうかもしれない。TPP 締結で、一部では歓迎されている反面、県内農業や他の業種では大きな悪影響を受けると心配されている。一方、医療に関してはいかがであろうか？交渉の全容・過程が公にされないのが断片的に得られた情報では、今のところ不明である。歴代の政府は、医療に関してはTPPの直接対象とはしないと、我々の最も懸念している国民皆保険は守ると述べている。しかし、国民皆保険を守るとは、どのレベルを考えているのか。制限が厳しくなったり使い勝手の悪いものになったりして形骸化しては無意味である。過去の米国や日本政府の発言を読み返してみると、明らかに医療皆保険制度に踏み込んだ発言が垣間見られる。

識者は様々な危惧を述べている。薬価高騰や混合診療の解禁、金融部門の解禁により医療をサービス業と捉えて健康保険を商品として売り出している米国の保険会社が、公的医療保険に関与してこないとの保証はない。直ちにあらゆる関与は目立たないまでも、様々な方向から侵入して、結果、自由診療の拡大、医療への株式会社の参入などで、気がつけば公的医療保険が形骸化したものになる恐れもある。この条約にはISDSという自国の法律に優先するとされている強力な条項がある。これは江戸末期の不平等通商条約に例えられるのではないか。外交能力の稚拙な幕府が結んだ治外法権や関税の不平等問題等、その後の日本がそれを撤廃するのにいかなる犠牲を払ったか歴史が物語っている。しかも条約締結後には後戻りできない条項があるとも聞く。

今後、国内での批准を巡り喧々諤々の論争がなされるであろうが、後世に我が国の優れた医療制度を遺すためにも、今、耳目をそばだたせて注視する必要がある。

我々は日医の掲げている「公的国民皆保険を守ることができるか」「国民に安全安心の医療を提供できるか」「将来の医療の発展に寄与できるか」を基に、具体的活動指針としては、「現在の公的国民保険を守る」「混合診療の全面的解禁に反対」「株式会社等の営利企業参入の阻止」の原則を守るべく行動しなければならない。  
(平成27年10月20日)

## 日州医談



## 有床診は絶滅危惧種か？

理事 かわの けいいちろう  
川 野 啓一郎

## 〈はじめに〉

平成24年夏に宮崎で開催された、第25回全国有床診療所連絡協議会総会において、シンポジウム「新しい有床診のあり方」のシンポジストを務めた山村善教先生は、有床診療所を絶滅危惧種に例えて話をされた。

果して絶滅危惧種なのだろうか？

## 〈有床診療所の現状〉

全国有床診療所の施設数は平成24年に1万施設以下となり平成26年の報告では8,327施設となっている。平成2年の23,589施設と比較すると半分以下となっており、長期低落傾向である。

宮崎県においても同様の傾向にある。

## 〈全国有床診療所連絡協議会のあゆみ〉

厚生省官僚の「有床診の役割は終わった」という発言をきっかけに昭和61年福岡にて有床診療所連絡協議会が設立された。

その活動に伴う画期的な成果が2つある。ひとつは、平成18年6月医療法13条が改正(平成19年1月施行)され48時間ルールが撤廃されたことと、もうひとつは、平成26年の第6次医療法改正で、医療法30条に有床診療所の機能が記載され、これにより有床診療所が法的地位を確立することとなったことである。

宮崎県有床診療所協議会においては、昨年度、河野雅行前会長より仮屋純人会長にバトンタッチされ仮屋会長を中心に協議会がスムーズに運営されている。会員数は本年6月の時点で129施設となっている。

## 〈有床診療所の課題〉

種々ある課題の中から以下の問題を挙げた。

## ①院長の高齢化と勤務負担

60歳以上の院長が6割を占めており、継承が問題となっている。それぞれ高齢化に伴う勤務負担の重さも問題となっている。

## ②看護職員、特に夜勤担当の看護職員の不足

平成26年診療報酬改定で入院基本料はアップしたが、十分ではなくしかも有床診療所療養病床入院基本料は据え置きであった。

十分な人件費が捻出できなかったことも原因であろうと思われるが、昨年1年間で全国で660余の有床診療所が無床化となっている。

## ③スプリンクラー設置の問題

福岡市における火災事故をきっかけに自動火災報知設備の設置が義務化され、スプリンクラー設備の設置が一部を除いて義務化された。

スプリンクラー設備は大きく3つのタイプに分けられ、自院に合った選択が必要となる。

設置費用については、ほぼ全額を国からの補助金で賄えるという報告であるが、国が定める財産処分期間の8年間に、設備の廃棄、施設の取壊し、施設の無床化などを行うと費用の返還が発生するので注意が必要である。

本県では、昨年度28施設が設置完了し今年度も30施設が設置予定となっている。現在有床診療所が優先的に採択されているが、今後は未設置の中小病院まで枠が広げられる予定となっている。

#### ④地域医療構想

病院と同様に、地域内で必要な病床を手当てする仕組みと説明され、病床削減の強制力はないということであるが、将来に向けて、それぞれが病床機能を検討していく必要がある。

#### <有床診療所の今後の展望>

有床診療所は産婦人科、内科、外科、整形外科、眼科等それぞれの専門科においてそれぞれの問題点がある。全国の分娩の約半数を担当している産科診療所や、急性期治療を積極的に行っている有床診療所、及び慢性期または介護に近い病棟の有床診療所等においてそれぞれ差違がある。

それぞれ個々の施設に合った生き残り戦略を取る必要があるが、以下ポイントを挙げてみた。

#### ①地域包括ケアシステムに積極的に関わっていく

身近にあり急性期から療養、ショートステイまで、いわば小規模多機能入院施設としてのメリットを十分生かし、高齢者の在宅を支援していくための拠点となる。そのためには人員確保が必要となってくる。今年、茨城で開催された第28回全国有床診療所連絡協議会総会では、複数医師の運営する有床診療所がテーマとなった。現在その

割合は6割を占めるようになってきたとの報告であった。

#### ②老朽化した設備の刷新及び設備の充実

特に病診連携をスムーズに進めるためのIT関連設備を整備していく必要がある。

#### ③継承問題を真剣にかつ早い時期に押し進める

子息に限らず、広く人材を求める必要がある。

#### ④看護職員確保に関しては、看護職員養成校への支援を考える

また、潜在看護職員の中には、例えば出産や子育てで休職した後に復職を考えている看護職員もおり、これを掘り起こしニーズに応じた配置を考える必要がある。そして、何よりも働きやすい環境を整える必要があると思われる。

#### <最後に>

65歳以上の高齢者が3千万人を超え、80歳以上の高齢者も1千万人を超える時代となった。

一方、人口は減少し、かつ都市への移動がみられる。世の中の変化を見据え、有床診療所としても、自ら変化していくことが求められている。その変化に対応すべく有床診療所協議会を中心に一致団結して事態に対応していく必要があるが、更には中小病院と一緒に手を携えて、厚労省に対して共闘していくことも必要であると思われる。

そうなれば山村先生の予想は危惧のままで終わることになるはずである。

## 就任挨拶

## 宮崎大学医学部教授就任挨拶

宮崎大学医学部附属病院コミュニティー・メディカルセンター教授  
宮崎市立田野病院長

こん どう かず ひろ  
近 藤 千 博



コミュニティー・メディカルセンター(CMC)は宮崎市立田野病院に置かれています。田野病院とこれに隣接する介護老人保健施設「さざんか苑」を拠点として地域医療・高齢者医療を実践し、これを大学教育に取り入れることを目的としています。地域医療・高齢者医療は我が国において今後益々重要になることは論を俟たないと思います。しかし、医師、看護師をはじめとした医療人の教育機関である大学病院では、今までは高度な医療は学べても地域医療・高齢者医療は学びにくい状況でした。平成27年4月より、国立大学法人宮崎大学は、田野病院・さざんか苑の指定管理者として、その管理運営を託されることとなりました。これを機に、大学病院として、直接地域医療・高齢者医療を教育する場が得られました。大学病院と田野病院は地理的にも近く往来が容易です。大学が自治体病院の指定管理者となるのは全国で初めてとのことで、今後が注目されています。

CMCは現在教授1名、講師1名、助教1名が所属しています。田野病院は、CMCのスタッフと、さらに大学の様々な診療科から外来、当直の応援をいただいて運営しております。また、地元田野町の開業の先生にも診療や当直のご支援をいただいております。

田野病院はベッド数42床です。1日80人前後の外来患者が来られます。手術室が一つあり、CT、MRI、上部・下部消化管内視鏡、気管支鏡の検査設備があります。標榜診療科は、内科、外科、整形外科、リハビリテーション科、耳鼻

咽喉科、放射線科です。さざんか苑はベッド数50床で、病院から在宅への移行のための施設です。訪問診療にも力を入れ、近隣の老人ホームやグループホーム、障害者施設、在宅療養中の個人宅などに定期的に出向いています。CMCのスタッフは、これらにまだ慣れてはいませんが、宮崎大学医学部地域医療・総合診療医学講座の教授として今年5月に赴任された吉村学先生にご指導、ご協力をいただきながら進めています。地域医療に取り組んでおられる医師会の先生方にも今後ご指導ご鞭撻をお願いできればと思います。

患者を全人的に見つめ、その人のそれまでの人生や家族も含めた患者の社会的背景にまで思いを馳せ、患者の家にまで出かけ、実践する診療が必要と考えます。今後、こうした医療が重要となると思います。そのためには、医師、看護師をはじめ様々な医療スタッフによる多職種連携が不可欠です。大学としてこれらを学生に教えるとともに、これを研究し、より効果的な地域・高齢者医療を構築し発信することができればと考えています。

来年度から本格的な医学部学生、研修医の教育を開始すべく、現在宮崎大学のワーキンググループでそのカリキュラムを検討しているところです。宮崎大学の学生や若い医療人に田野病院、さざんか苑での診療・介護を体験していただき、地域医療や高齢者医療に興味を持っていただければと思います。これによって宮崎大学医学部医学科の卒業生の7割が宮崎を去るという現状を打破し、少しでも宮崎に残る人が増え、宮崎の医療人不足の解消に役立てばと思っています。

## 「新春随想」原稿募集

平成28年1,2月号に恒例になりました「新春随想」欄を企画いたしております。  
この欄は大変好評ですので、奮ってご投稿をお願いいたします。

**題 材** 医事評論, 診療閑話, 身辺雑記, 詩歌, 俳句等なんでも結構です。  
本文に関連した写真・イラスト等(1枚程度, カラー印刷はできません)  
も掲載できます。

**字 数** 800字以内(字数が多い場合は「新春随想」として掲載できないことがあります  
しますのでご了承ください)

**締 切** 平成27年12月10日(木)

**宛 先** 宮崎県医師会広報委員会

- ◎ 原稿には「新春随想」と明記してください。
- ◎ 掲載については、広報委員会にご一任くださいますようお願いいたします。
- ◎ 掲載はお一人、1編とさせていただきます。
- ◎ ご投稿の原稿が他紙に掲載、または投稿中の場合はその旨お知らせください。
- ◎ 原則として、原稿はお返しいたしません。返却を希望される方はその旨ご指示ください。
- ◎ 日州医事は、会員以外(マスコミ・行政・図書館等)にも配付しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し、日州医事原稿専用アドレス(genko@miyazaki.med.or.jp)宛にお送りください。もちろん、それ以外の方法(FAX, 郵便等)でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 新春随想係

E-mail: genko@miyazaki.med.or.jp

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

FAX 0985-27-6550 TEL 0985-22-5118

※原稿送付の際は、他の原稿との混同を防ぐため「新春随想」  
である旨とタイトル、ご氏名を明記の上お送りください。

## 随 筆



## 生まれたばかりの赤ちゃんに勇気をもらう

宮崎市 たにぐちレディースクリニック 谷 口 二 郎

昭和60年8月20日に開業して30年になった。そこで何かイベントをと考えた。何にしようかといういろいろ思案したが、写真展をしたらどうかと思った。突然のヒラメキである。そうだ、それなら生まれたばかりの赤ちゃんの写真を集めてパネルに貼り展示したらどうだろう。幸いに開業して生まれたばかりの赤ちゃんの写真は沢山ある。何せ開業して1万人近い赤ちゃんが誕生しているのだから何とかなるだろう。そういうイージーな発想だった。しかもそれを企画したのはたった1か月くらい前。

とりあえず開催場所を探すことにした。市内でアクセスが良いことを考え宮日会館2Fパピルスギャラリーで行うことにした。広さは150㎡くらいの手頃な広さで、期間は9月1日～6日までの6日間である。

まず写真を貼るボードを何にするか考えた。ベニア板、発泡スチロール板、ダンボール、布などいろいろ思い浮かんだが、発泡スチロールが軽くて搬入し易いと判断し、それに決めた。大きさは92cm×182cmで、タタミ1畳くらいの大きさ。会場の広さから23枚必要になる。自分の車では運べないので、店の軽トラックを借りた。1時間無料なのである。発泡スチロールは軽いので運ぶには楽である。暑い中積み込み出発。最近の軽トラは凄い。オートマでしかも冷房まで付いている。学生時代に引越のアルバイトをしていた時とは大違いである。あまりに快適で、このままドライブをしてどこかに行こうかと思っ

たくらいである。

写真は生まれたての赤ちゃんの写真である。当院では生まれて臍の緒を切ったばかりの赤ちゃんの写真を撮ることにしている。そのためカメラがすぐ傍に置いてあり、すぐ撮れるようになっている。

生まれたばかりの赤ちゃんの仕事。それはまず泣くことである。何故泣くのか？それは胎内に居た時は臍の緒で酸素を送ってもらっているのだが、生まれて臍の緒を切られた瞬間それができなくなる。肺呼吸に突然スイッチが変わるのだ。泣くことによって潰れている肺胞を一生懸命広げ酸素を取り入れる。そのために大きな産声を上げるのである。肺胞が充分広がるまで2、3分かかる。だからその間は必死で泣く。その生きようとする赤ちゃんの表情を撮ろうという訳である。

4、5分経ち、充分に酸素が肺に行き渡るともう泣かなくなる。もう泣く必要がなくなるからだ。逆に泣くとエネルギーを消費するので、静かになり温かな顔になる。そう、「生きる」という表情はほんの一瞬なのである。本当に生きる！という瞬間なのである。

パネル1枚に65枚ずつ、それを23枚用意した。選んだのは最近10年の写真。従業員、家族などの協力のおかげで完成したのが開催直前。何とか滑り込みセーフ。ようやくそれを搬入することができた。

最終日の9月6日は日曜だったので、私も会

場に居ることにした。入口に立っていると続々と来場される。その多くは当院でお産されたお母さん達である。子どもさんと一緒に来場され、生まれたばかりの写真を見つけると大はしゃぎ。その前で記念写真を撮られていた。私もその仲間に入り一緒にパチリ。何年か前にタイムスリップしたような気がする。ここから彼らの人生は始まったのだ。

入口の所にノートを置いて感想を書いてもらった。

- ・赤ちゃん、ホントに赤いんだと思った。
- ・お兄ちゃんは8年前、お姉ちゃんは3年前、そして4か月前にも先生にお世話になりました。改めて生まれた時の写真を見るとこんなに小さかったんだなあ…と、初心に戻った気持ちです。主人は「皆同じに見えて分かん！」と言っていました。家族で懐かしい気持ちになり楽しめました。

- ・初めて自分の写真を見たので、こんなだったのかとビックリしました。たにぐちレディースクリニックで生まれたと聞いてそうなんだ～と思いました。ありがとうございました。
- ・私が生まれた時もこんな感じだったのかなと思いました。
- ・久しぶりに我が子の産まれたての顔を見れて幸せな穏やかな気持ちになりました。3人目、またお世話になります！

写真展をやって良かった。30年という節目に、自分のやっている仕事を再認識することができた。それと同時に自分ながらも、よく30年間頑張ったものだと自分で自分を褒めなくなった。これからも体力の続く限り、元気な赤ちゃんを取り上げる仕事を続けていきたい。

## 宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ



宮崎県医師会では、県医師会館で開催される講演会・研修会に参加される医師(医師会員でなくても可)のお子様を対象に本会館1階に臨時の無料託児ルームを設置いたします。県医師会が契約した保育士が対応いたします。

ご利用の場合は、事前の予約が必要となりますので、ご希望の方は開催日の2週間前までに県医師会までご連絡ください。



お問合せ先

宮崎県医師会

TEL 0985-22-5118

FAX 0985-27-6550

担当 畠中・久永

## エコー・リレー

(483回)

(南から北へ北から南へ)

### 緊急か通常か

申間市 吾社クリニック 加<sup>か</sup>藤<sup>とう</sup>久<sup>く</sup>仁<sup>に</sup>彦<sup>ひこ</sup>



2014年5月に、内科として開業して1年と半年あまり過ぎましたが、医療の現状はさまざま、厳しいものであると痛感できました。コンビニ受診を控えるようにとのいろいろなお達しもさることながら、

現状の医師不足はどうやれば改善できるのか、どこにもその糸口もないようです。

だれがコンビニ受診を定義しているのか。これで安心を本人と家族が得られることがなぜいけないのか(当然この風潮を進めたときには、医療費用の高騰、医療資源の枯渇。いろいろな問題をさらにヒートアップさせることは請け合いです)。

緊急性のないものは待てばよいであろう、それは至極正論ですが、実際に病院がしまっているので二日まってから受診したネコ咬傷の方(かまれた腕がすでに腫れ上がり変色)当然のごとく総合病院紹介、正月休みの間に起った熱傷10%の女の子…受診されたこともあります。

時間外の受診自体は、電話での対応を行いながら…ということが必ずできればいいわけですが必ずしも無駄ではない時間外診療と考えております。

なんせ高校以来お会いしていない川越誠志先生からの27年ぶりの電話でしたので次は日南で飲み会あるのかな…。とおもいきやエコーリレーでした。今後ともよろしくお願い申し上げます。

[次回は、宮崎市の三原 謙郎先生にお願いします]

### 居間に海をつくる

日向市 鮫島病院 川<sup>かわ</sup>原<sup>はら</sup>岳<sup>たかし</sup>



夏から秋にかけて、日南海岸の浅瀬にあるサンゴの周りには、お花畑に蝶が舞うような賑やかな風景になります。黒潮に乗って流れ着き、水温の下がる冬を越せずに死んでゆく南方生まれの魚たちがサンゴの周りに集まるからです。

玉網を手に素潜りで、そのモンシロチョウほどの大きさの魚を捕まえて自宅の水槽で飼育する、という遊びをはじめて20年になります。この趣味には魚を採集する技術と、採集した魚を飼育する技術が必要です。

狩猟本能に駆り立てられて魚を追いかけるうちに、狙った魚はたいてい採集できるようになりました。ここ数年は、飼育技術を磨いています。装置の開発やノウハウの蓄積により、以前は難しかったサンゴの飼育が比較的容易にできるようになりました。そこで、サンゴの周りを魚が泳ぐ水中風景を居間の水槽に再現しようと試みています。太陽の代わりに200ワットのLEDライト、波を作る水流ポンプ、水を貧栄養状態に保つ浄化装置、サンゴの骨格の原料となるカルシウムイオンを添加する装置、水温調節のためのクーラーとヒーター、こういった装置を備えた90×45×45センチの水槽、これが我が家のメイン水槽です。サンゴは薄紫色に揺らめくLEDライトの光を吸収して枝を伸ばし、魚がそのサンゴのポリープを食べて成長しています。餌の投入は不要です。浅瀬を模して配置したサンゴの間を泳ぎ回る魚は、そこが海ではないことに気づいているでしょうか。

[次回は、宮崎市の小松 弘幸先生にお願いします]



# あなたできますか？

— 平成26年度 医師国家試験問題より —

(解答は48ページ)

1. 嫌気性菌はどれか。
  - a *Campylobacter jejuni*
  - b *Clostridium difficile*
  - c *Helicobacter pylori*
  - d *Mycobacterium tuberculosis*
  - e *Pseudomonas aeruginosa*
2. 器質性精神障害に特徴的なのはどれか。
  - a 保 続
  - b 観念奔逸
  - c 思考制止
  - d 自生思考
  - e 情動麻痺
3. 児への直接の授乳を避けることで母乳を介した母子感染予防効果がある病原体はどれか。2つ選べ。
  - a E型肝炎ウイルス
  - b インフルエンザウイルス
  - c ヒト免疫不全ウイルス(HIV)
  - d ヒトパピローマウイルス(HPV)
  - e ヒトT細胞白血病ウイルス(HTLV-I)
4. 蛍光抗体法で病変皮膚の表皮細胞間にIgGの沈着を認める疾患はどれか。
  - a 全身性エリテマトーデス(SLE)
  - b 後天性表皮水疱症
  - c 水疱性類天疱瘡
  - d 落葉状天疱瘡
  - e 疱疹状皮膚炎
5. 心房細動の患者において心原性脳塞栓症のリスクファクターでないのはどれか。
  - a 糖尿病
  - b 心不全
  - c 高血圧症
  - d 75歳以上
  - e 脂質異常症
6. 血清補体価(CH<sub>50</sub>)が低下する疾患はどれか。
  - a 偽痛風
  - b 強皮症
  - c 多発性筋炎
  - d 悪性関節リウマチ
  - e サルコイドーシス
7. 間接ビリルビン優位の黄疸を呈するのはどれか。2つ選べ。
  - a 総胆管結石
  - b 溶血性貧血
  - c Rotor症候群
  - d Gilbert症候群
  - e Dubin-Johnson症候群
8. 診断したら直ちに保健所長を経由して都道府県知事に届け出なければならないのはどれか。2つ選べ。
  - a 結 核
  - b 麻 疹
  - c コレラ
  - d アメーバ赤痢
  - e クリプトスポリジウム症
9. アナフィラキシーショックにおけるアドレナリンの投与経路として適切なのはどれか。
  - a 皮 下
  - b 皮 内
  - c 筋肉内
  - d 骨髄内
  - e 気管内
10. 肺炎と抗菌薬の組合せで正しいのはどれか。
  - a 市中肺炎 —— グリコペプチド系
  - b 院内肺炎 —— テトラサイクリン系
  - c 非定型肺炎 —— アミノグリコシド系
  - d 特発性器質化肺炎 — ニューキノロン系
  - e 人工呼吸器 —— カルバペネム系  
関連肺炎
11. 脳梗塞に対してt-PA(tissue plasminogen activator)による血栓溶解療法を行う際に、事前に確認する必要がないのはどれか。
  - a 血小板数
  - b 頭部単純CT
  - c 動脈血ガス分析
  - d 頭蓋内出血の既往歴
  - e PT-INR(prothrombin time-international normalized ratio)

### 宮崎県感染症発生動向 ～ 9 月～

平成27年 8 月31日～平成27年 9 月27日(第36週～39週)

#### ■全数報告の感染症

- 1 類：報告なし。
- 2 類：○結核15例：保健所別報告数を【図1】に示した。患者が13例，無症状病原体保有者が2例であった。患者は肺結核が9例，その他の結核(結核性胸膜炎2例，リンパ節結核及び舌結核各1例ずつ)が4例であった。性別は男性10例・女性5例で，年齢別報告数を【表1】に示した。
- 3 類：○腸管出血性大腸菌感染症71例：宮崎市保健所管内で66例(内65例は同一保育園園児，職員及びその家族)，日南保健所管内で3例，高鍋保健所管内で2例報告があった。患者が8例(HUS発症例1例：O157)，無症状病原体保有者が63例で，年齢別報告数を【表2】に示す。主な症状として，腹痛，水様性下痢，嘔吐がみられた。原因菌のO血清型別報告数を【表3】に示す。
- 4 類：○E型肝炎1例：宮崎市保健所管内で報告があった。30歳代で，主な症状として，全身倦怠感，肝機能異常がみられた。  
○デング熱1例：都城保健所管内で報告があった。60歳代で，病型はデング熱であった。主な症状として2日以上続く発熱，頭痛，全身の筋肉痛，骨関節痛，発疹，血小板減少，白血球減少がみられた。海外渡航歴があった。  
○レジオネラ症1例：宮崎市保健所管内で報告があった。60歳代で，病型は肺炎型であった。主な症状として，発熱，腹痛，下痢，肺炎がみられた。  
○レプトスピラ症1例：宮崎市保健所管内で報告があった。70歳代で，主な症状として発熱，結膜充血，黄疸，出血症状，蛋白尿，腎不全がみられた。
- 5 類：○カルバペネム耐性腸内細菌感染症1例：宮崎市保健所管内で報告があった。20歳代で，尿路感染症であった。菌種名は*Enterobacter aerogenes*であった。  
○クロイツフェルト・ヤコブ病1例：宮崎市保健所管内で報告があった。80歳代で，病型は古典型クロイツフェルト・ヤコブ病で，診断の確実度は疑いであった。主な症状として，進行性認知症，錐体外路症状，視覚異常，精神・知能障害がみられた。  
○後天性免疫不全症候群1例：宮崎市保健所管内で報告があった。30歳代男性で，AIDSであった。AIDSの指標疾患は単純ヘルペスウイルス感染症で，主な症状として発熱，咳嗽，食欲低下がみられた。

#### ■5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は2,696人(定点あたり86.5)で，前月比74%と減少した。また，例年の101%と同程度であった。

前月に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症と伝染性紅斑と流行性耳下腺炎で，減少した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナであった。また，例年同時期と比べて

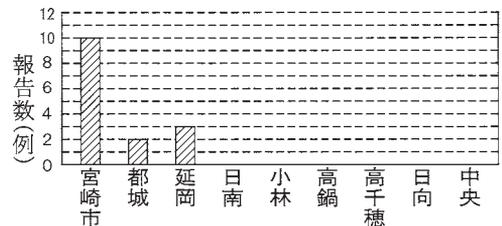


図1 結核 保健所別報告数

表1 結核 年齢別報告数(例)

| 5～9歳 | 30歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳代 |
|------|------|------|------|------|
| 1    | 1    | 1    | 3    | 9    |

表2 腸管出血性大腸菌感染症 年齢別報告数(例)

| 0～4歳 | 5～9歳 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 |
|------|------|------|------|------|------|------|
| 38   | 20   | 2    | 6    | 2    | 1    | 2    |

表3 腸管出血性大腸菌感染症O血清型別報告数

| O血清型 | VT型 | 報告数(例) |
|------|-----|--------|
| O103 | VT1 | 3      |
| O157 | VT2 | 2      |
|      | 不明  | 1      |
| O26  | VT1 | 2      |
| O55  | VT1 | 1      |
| 不明   | VT1 | 62     |

#### 前月との比較

|                | 2015年 9 月 |          | 2015年 8 月 |          | 例年との比較 |
|----------------|-----------|----------|-----------|----------|--------|
|                | 報告数(人)    | 定点当たり(人) | 報告数(人)    | 定点当たり(人) |        |
| インフルエンザ        | 3         | 0.1      | 4         | 0.1      |        |
| RSウイルス感染症      | 368       | 10.2     | 256       | 7.1      |        |
| 咽頭結膜熱          | 70        | 1.9      | 87        | 2.4      |        |
| ※溶レン菌咽頭炎       | 213       | 5.9      | 195       | 5.4      | ★      |
| 感染性胃腸炎         | 927       | 25.8     | 771       | 21.4     | ★      |
| 水痘             | 77        | 2.1      | 62        | 1.7      |        |
| 手足口病           | 528       | 14.7     | 1,667     | 46.3     | ★      |
| 伝染性紅斑          | 59        | 1.6      | 43        | 1.2      | ★      |
| 突発性発しん         | 168       | 4.7      | 141       | 3.9      |        |
| 百日咳            | 0         | 0.0      | 0         | 0.0      |        |
| ヘルパンギーナ        | 112       | 3.1      | 357       | 9.9      |        |
| 流行性耳下腺炎        | 86        | 2.4      | 69        | 1.9      | ★      |
| 急性出血性結膜炎       | 0         | 0.0      | 0         | 0.0      |        |
| 流行性角結膜炎        | 79        | 13.2     | 89        | 14.8     |        |
| 細菌性髄膜炎         | 1         | 0.1      | 0         | 0.0      |        |
| 無菌性髄膜炎         | 2         | 0.3      | 5         | 0.7      |        |
| マイコプラズマ肺炎      | 3         | 0.4      | 1         | 0.1      |        |
| クラミジア肺炎        | 0         | 0.0      | 0         | 0.0      |        |
| 感染性胃腸炎(ロタウイルス) | 0         | 0.0      | 0         | 0.0      |        |

★ 例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数の多かった主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と伝染性紅斑であった。

RSウイルス感染症の報告数は368人(10.2)で前月の約1.4倍、例年の約0.6倍であった。宮崎市(20.5)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳が全体の約4割を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は213人(5.9)で前月の約1.1倍、例年の約1.3倍であった。日向(11.3)、延岡(10.8)、日南(9.3)保健所からの報告が多く、年齢別では3～5歳が全体の約半数を占めた。

手足口病の報告数は528人(14.7)で前月の約0.3倍、例年の約1.2倍であった。中央(25.0)、日向(23.8)、日南(20.7)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳が全体の約4割を占めた。

伝染性紅斑の報告数は59人(1.6)で前月の約1.4倍、例年の約11.2倍であった。日南(5.7)保健所からの報告が多く、年齢別では4～7歳が全体の約6割を占めた。

### ■月報告対象疾患の発生動向 (2015年9月)

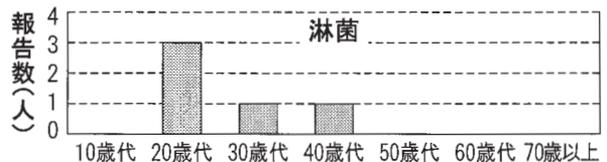
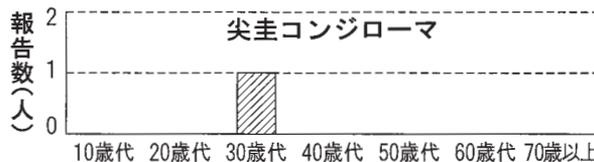
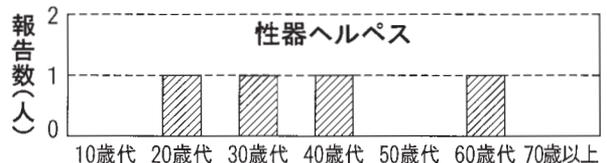
#### □性感染症

【宮崎県】定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は19人(1.5)で、前月比51%と減少した。また、昨年9月(3.2)の約0.5倍であった。

#### 《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数9人(0.69)で、前月及び昨年9月の約0.3倍であった。20歳代が全体の約6割を占めた(男性4人・女性5人)。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数4人(0.31)で、前月の2.0倍、昨年9月の約1.3倍であった(女性4人)。
- 尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月の約0.3倍、昨年9月と同じであった(女性1人)。
- 淋菌感染症：報告数5人(0.38)で、前月の約0.8倍、昨年9月の0.6倍であった。20歳代が全体の6割を占めた(男性5人)。



■男 ▨女

#### □薬剤耐性菌

【宮崎県】定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は19人(2.7)で前月比91%と減少した。また昨年9月(3.0)の約0.9倍であった。

#### 《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数19人(2.7)で、前月及び昨年9月の約0.9倍であった。70歳以上が全体の約7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告はなかった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。

(宮崎県衛生環境研究所)

### ■病原体検出情報(微生物部)

|              | 検出病原体                                     | 件  |
|--------------|-------------------------------------------|----|
| ウイ<br>ル<br>ス | アデノウイルス2型                                 | 1  |
|              | エコーウイルス3型                                 | 2  |
|              | エコーウイルス16型                                | 2  |
|              | エコーウイルス18型                                | 1  |
|              | コクサッキーウイルスA2型                             | 1  |
|              | コクサッキーウイルスA6型                             | 15 |
|              | コクサッキーウイルスA9型                             | 4  |
|              | コクサッキーウイルスA10型                            | 1  |
|              | コクサッキーウイルスA16型                            | 1  |
|              | コクサッキーウイルスB4型                             | 1  |
| 細<br>菌       | デングウイルス1型                                 | 1  |
|              | ヒトヘルペスウイルス6型                              | 2  |
|              | RSウイルス                                    | 5  |
|              | 腸管病原性大腸菌(EPEC)(OUT:H40)                   | 1  |
|              | 腸管病原性大腸菌(EPEC)(OUT:HNM)                   | 1  |
| 菌            | 腸管出血性大腸菌(EHEC)(O157:H7 VT1,2)             | 1  |
|              | <i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)        | 6  |
|              | <i>Mycoplasma pneumoniae</i>              | 2  |
|              | <i>Salmonella</i> Manhattan(O8(O6):d:1,5) | 1  |

## メディアの目



## 良きサマリア人たち

南日本新聞社 宮崎支局長

しげ はたけ しゅう いち  
重 島 修 一

27年に及ぶ獄中生活を送った故ネルソン・マンデラ氏と、刑務官の交流を描いた「マンデラの名もなき看守」という映画がある。詳細は割愛するが、同氏がようやく釈放される際、刑務官がそれまでの対応を謝罪すると、同氏は「あなたは自分の仕事をしただけ」と言って許すシーンがあり、心に残っている。

10月に医療事故調査制度がスタートした。医療機関には「診療行為に関連した患者の予期せぬ死亡や死産」について、第三者機関への届け出と院内調査、遺族への説明が義務付けられた。目的は事故の原因究明と再発防止だが、医師は「仕事をまっとうしただけ」では済まされなくなった。

制度開始に先立ち、9月上旬に宮崎県医師会が開いた松原謙二・日本医師会副会長の講演会に足を運んだ。理解が追いつかないところもあったが、刑法の業務上過失致死傷罪と正当行為を比較して、「死刑執行後に真犯人が捕まっても、最初の裁判に関わった裁判官や検事は処罰されない」「医療事故が交通事故と同じ扱いを受けるのは違和感がある」という話には、うなずけるところがあった。

ただ「予期せぬ」を担保したいばかりに、検査などでインフォームドコンセントとして(患者からみると)一方的な同意署名を求められるケースが増えないかと危惧する。講演にあったように、患者と病院、医師の3者の信頼関係構築にも傾注してもらいたい。

このような中、宮崎大学医学部附属病院救命救急センターのドクターヘリ担当医5人が、救命率を上げようと、県の防災ヘリから消防隊員と一緒に降下し、現場でけが人の応急処置にあたる訓練を続けている。訓練を取材したが、激しい風圧、騒音の中で身を挺して治療にあたる医師の姿には敬意を覚えた。まさに「良きサマリア人(びと)」註を超える献身的行為だ。こんな医師が責められることがないように、制度が良い方向で運用されることを期待したい。

ところで、講演会ではちょっとした“事故”があった。松原副会長が「病院では事故はあっても殺人は起こらない。殺人が起こるのは海堂尊の小説だけです」と言って一呼吸置いたが、会場から笑い声一つ起きず、副会長はばつが悪そうだった。

副会長は「チーム・バチスタ」を引き合いに場を和ませようと思ったのではないか。同じような場面は何度かあった。「聴講は静粛に」という医師会の方々の真面目さは伝わったが、講師を気分よくさせるホスピタリティーの向上については“事故調”に指導を求める必要がありそうだ。

註) 米国やカナダでは、善意の行為に対してはその結果責任を減免する法律があり、新約聖書に出てくるイエスが語ったたとえ話に因んで、「良きサマリア人の法」と呼ばれている。(広報委員会)

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

# 医療勤務環境 改善支援センターを ご存知ですか?

相談無料

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。



## 医療労務管理面

労働時間管理（働き方・休み方等）等

## 医業経営面

組織マネジメント・経営管理面 等



まずは、お電話ください。

## 宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内  
月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

# TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550 E-mail [iryoku-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp](mailto:iryoku-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp)

## 各郡市医師会だより

### 西都市西児湯医師会

これまでも(旧)西都医師会病院の問題や、宮崎市郡医師会との合併協議の事など、いろいろとお騒がせしている西都市西児湯医師会であります。

西都市が東九州自動車道西都インターチェンジの近くに食の拠点(道の駅)の建設を計画しており、その費用として6億円以上が予算として計上され、議会の承認が得られています。

しかしながら街の中では建設反対の声は多く耳にしますが、賛成の声はあまり聞こえてきません。西都市民の多くは道の駅の建設を積極的には望んでいないようにみえます。しかしもしかしたら、反対の声の方が「ノイジー・マイノリティー」なのかもしれません。

それを確かめるべく、市民6名が代表者となって住民投票を求める為の署名活動を行うこととなりました。当医師会の会長も医師会の総意をもって、代表者の一員となっております。

本来は、政治的な問題に対し医師会が関与するのは望ましいことではないと思いますし、何でも住民投票で決めてゆくというやり方は場合によれば「ポピュリズム」に陥る可能性があり政治の停滞を招きます。しかし今回の場合は、住民の声を聴こうとしない政治のあり方に問題があると思います。

日州医事11月号が先生方のお手元に届く頃には住民投票が行われるのかどうか決定しているのではないのでしょうか。  
(黒木 重晶)

### 宮崎市郡医師会

臨床検査センターでは、平成28年度をめどに、検体の検査結果を「しのめ医療クラウド」を利用してweb上で閲覧できるシステムを構築する予定です。現状では、検査結果報告書の配達翌日の午前中になりますが、このシステム導入後は午前中に集荷した検体の結果は、午後5時前後に、午後集荷した検体は、午後8時前後にはweb上で検査結果が閲覧出来ます。自院のPCや院外のタブレット等で閲覧が可能となりますので、先生方の利便性や患者サービスの向上にも貢献できるものと考えています。

(弘野 修一)

### 都城市北諸県郡医師会

都城市・三股町では、5月から10月にかけて特定健診が行われています。

先日、市郡医師会総会にて、都城市健康課か

らこれまでの調査結果について説明がありました。都城地区では他地区に比べて、糖尿病、糖尿病を将来発症する危険性の高い人たちが非常に多いという結果で衝撃的でした。私たち医師会員や市と一緒に協力して、早期からこれらの方の食生活を中心に指導して、予防していく重要性を感じました。個人的には、ちょっと散歩したくなるような町づくりや、男性もターゲットにした料理教室などがないのではないかと考えています。  
(鵜木 俊秀)

### 延岡市医師会

昨年3月に東九州自動車道が宮崎～延岡、今年3月に延岡～大分が全線開通したタイミングも重なってか、延岡市医師会病院の医師もここ1～2年で2名増加しました。また延岡市内におきましても同様に耳鼻咽喉科の開業が昨年、今年と1件ずつありました。そして近々同じくマイナー系ではありますが開業を一件お聞きし

ております。

最近の開業する頻度から考えますと、現在東九州自動車道が全線開通し、延岡市では市からの開業補助も行われ、比較的開業しやすい環境にはなってきたのかもしれませんが。

しかしご多分に漏れず当医師会も内科系の開業医は徐々に高齢化が進んでいることは否めず、今後は内科系の開業も望まれるところです。

(日高 孝紀)

### 日向市東臼杵郡医師会

今年も看護学校入試の時期になりました。高校新卒者の求人数は平成21年度から徐々に増えてきて、昨年度は求人倍率(全国)も1.28倍、本年度は1.54倍(全国)と上昇してきました。この求人倍率が看護学校受験者数に影響を及ぼすこともあり心配していましたが、高校新卒受験者は推薦・一般入試ともに例年通りで一安心しています。本年度は、危機意識をもって専門高校の就職説明会にできるだけ教務主任を出席させて看護職のアピールを行ったことや、オープンスクールでのきめ細かな対応が受験者獲得に繋がったと思っています。

また、社会人の受験者についても企業の正職員の採用も厳しい状況の中、資格取得が可能な当看護学校は根強い人気があり例年通りの受験者数となりました。今後も受験者獲得には気を引き締めて取り組みたいと思っています。

(渡邊 康久)

### 児湯医師会

児湯准看護学校は、51回目の卒業生を送り出し、半世紀を過ぎて新たな1歩を踏み出しました。

私は、この学校の講師になり27年間経過しました。その間には、成績が芳しくなく心配した生徒も今は某病院の主力看護師に、勉強嫌いだっただ生徒も今は現役生徒の不勉強を憂う看護師に

等、色々な卒業生を見てきました。当校の卒業生は、児湯地区の医療には微力ながらも貢献しています。しかし多額の赤字に悩み、毎年存亡の危機に直面しています。

現政府は、地方創生の旗のもと地方活性化を促す方針を立てています。それには、医療充実が非常に重要と思われます。政府も、田舎の医療を支えている当校のような底辺の医療教育にも、興味を持ってほしいと思います。

(坂田 師隣)

### 南那珂医師会

日南での地域包括ケアシステムづくりをめざして、当地では260回を超える在宅ケア研究会を始め、中部病院と訪看勉強会、認知症臨床研究会、ごつくん会、糖尿病連携ネットワーク会議など多職種勉強会が頻繁に開催されています。4月の在宅医療介護連携推進室(Sun オリーブ)設置に続き「在宅医療介護連携情報共有システム(Net4U)」も9月から稼働しました。市民向けには地域医療出前講座、地域医療リーダー養成講座「日南塾」などが行われています。これらの活動が繋がり暮らしやすい日南になるといいなと思います。

(木佐貫 篤)

### 西諸医師会

西諸医師会は平成11年に訪問看護ステーションきりしまを設置し、小林市・えびの市・高原町で看護サービスを提供しています。

平成27年9月末、政府は特別養護老人ホームを大幅に増やして2020年までに要介護3以上の特養ホーム入所待機者をゼロにし、親の介護目的の離職を減らす「介護離職ゼロ」という新しい目標を発表しました。自宅で介護してほしいという患者さんの願いをかなえるのは徐々に困難になりつつありますが、訪問看護ステーションと協力して在宅介護を支援していきたいと思えます。

(莫根 隆一)

## 国公立病院だより

### 宮崎大学医学部附属病院



よしはら ひろゆき  
吉原 博幸 病院長

宮崎大学医学部は、その前身である宮崎医科大学として1974年に開学、附属病院は1977年に開院しました。

以来、名実ともに、宮崎県の中核病院として順調に発展

を続けています。2003年の大学統合により、宮崎大学医学部附属病院と改称されました。地上7階の建物に総病床数632を有し、1994年には特定機能病院の指定を受け、22の診療科で診療、教育、研究に励んでいます。

2014年度以降、大きな改革を立て続けに行ってきました。本稿では、旧来のナンバー外科を外科大講座へ統合したこと、宮崎市立田野病院の指定管理者を大学として受諾したこと、医療人育成センターの設立、の3点についてご紹介します。

#### 外科大講座への統合

本学では、1974年の開学以来、外科学講座は第1外科(消化管、肝・胆・膵、乳腺・内分泌、小児外科)、第2外科(心臓血管、呼吸器、消化器、乳腺・内分泌)で運営され、それぞれ大きな成果を生んで参りました。これまで懸案であった、患者さんや地域の医療機関から見た判りやすい診療体制の実現、診療分野の重複解消による人的資源の効率化・重点化、臨床研修制度、新専門医制度への対応、などの問題を検討の結果、外科学大講座としての統合を決断。慎重な検討の結果、2つの外科学の協力を得て、1)心臓血管外科、2)肝胆膵外科、3)呼吸器・乳腺外科、4)消化管・内分泌・小児外科、5)形成外科、の5分野に再編しました。形成外科を配



置したのは、新専門医制度に配慮したものです。それぞれに分野長を置き、心臓血管、肝胆膵の分野長は旧1、2外科の教授を配置。他は臨床教授、講師レベルを分野長としています。大講座にはチェアマンを置き、現在は旧2外科の中村教授(心臓血管外科)が取りまとめ役としてご活躍です。近い将来、3)呼吸器・乳腺外科、4)消化管・内分泌・小児外科、5)形成外科にも教授ポストを配置していく予定です。

外科学大講座は、2015年4月から始動。カンファレンスも合同で行い、一体的に動き始めています。それぞれの同門会も統一の方向で動き始めたと聞いております。新入医局員は、一本化した外科学に入局。5つの分野をローテイトした後に専門を選べばよく、新研修医から見ても、大変魅力的な研修環境と映ると思われます。多くの若い外科医が参集してくれるものと期待しています。

#### 宮崎市立田野病院の指定管理者受諾

2014年12月に、正式に宮崎大学の指定管理者受諾が決まり、2015年4月1日より新体制で運営が始まりました。病床数42、介護老人保健施設(50床)を併設しています。運営の主目的は、地域医療の提供はもちろんですが、大学病院での臨床教育では困難な総合医療、地域医療、家庭医療、介護老人保健分野などの学生教育フィールドとして活用すること、大学病院での後方支援病院としての活用などです。単なる「分院」ではなく、大学病院本体にコミュニティ・メディカル・センター(CMC)を設置。必要に応じて職

員(医師, 看護師, 薬剤師, 検査技師等)をCMC担当(兼担)とし, これらの職員が, 新たな病棟と位置付けられた田野病院で勤務する体制をとっています。従って, 大学におけるキャリアはそのまま維持され, シームレスな人事体制が実現されています(退職しての異動ではない)。現在, CMCセンター長(外科: 近藤教授), 総合診療科(吉村教授), リハビリテーション(黒木講師)を中心に, 8名の医師により診療, 教育が行われています。指定管理者制度による地域病院への医療展開は, 大学病院運営にとって, 大きな負荷になる部分ではありますが, 自治体からの外部資金でポストを増やす, と考えることもできます。田野病院の特性を生かして, 今後, 総合診療(家庭医療), 地域医療, 多職種連携などに関する学生教育が展開される予定で, 国レベルでも高い注目と期待が寄せられているところです。

### 医療人育成センターの新設

平成26年に一般社団法人日本専門医機構が設立され, その後19基本領域のモデルプログラムが順次, 承認されています。このような状況下では, 学部教育, 初期研修及び専門医養成のそ

れぞれの期間をシームレスな医師養成プログラムとして構築し, 医学部入学時から学生に提示する必要があると考えられます。

そこで, 2015年10月から, 現行の卒後臨床研修センター及び医学教育改革推進センターを改組し, 医療人育成支援センターとして統合することとしました。同センターに, 臨床医学教育部門, 看護実践教育部門, 医療シミュレーション教育統括部門, 医療人キャリア支援部門の4部門を設置し, 医療人の実践的な養成をすることとしています。

また, 同センターで, 今後, 世界医学教育連盟(WFME)に準拠した医学教育分野別評価(日本医学教育評価機構)を受審するための, 各種の準備作業を行うことも計画しています。

宮崎大学医学部附属病院は今後とも医学・医療の進歩への貢献のみならず, 地域への貢献を大切にしていきたいと願っております。宮崎県内医療機関の皆様におかれましては, 引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(吉原 博幸)

## 宮崎大学医学部だより

### 病態解析医学講座 — 麻酔生体管理学分野 —



つねよし いさお 教授  
恒吉 勇男 教授

時の経つのは早いもので、私が教授に就任してからすでに8年目を迎えました。その間に22名の新入医局員を迎えましたが、いまだに麻酔科医不足は深刻です。

不足する原因の一つは、麻酔科医の業務量の増加があります。手術麻酔はもとより、ICU、ペインクリニック、緩和ケアなど多方面に人材を投入しなければならなくなり、いずれも病院収入の柱となっているため、手が抜けません。この傾向は全国的であり、日本麻酔科学会によると日本中の麻酔科医の半数は麻酔以外の業務に就いているとのこと。宮崎大学麻酔科では、麻酔業務に17名、ICUに7名、ペインクリニックに3名が従事しています。理想的には、大学には40名程度の麻酔科医が必要となりますが、関連病院も青息吐息ですので、大学もぎりぎりの人数で維持しつつ地域医療を支えているのが現状です。2019年度から専門医研修が厚労省の管轄になり専門医取得のためのハードルが高くなることから、大学での研修が見直されはじめました。今後、後期研修医は大学病院や同規模の病院を中心とした専門研修関連施設での研修が必要となりますので、大学が

かつての勢いを取り戻すのではないかと期待しています。

さて、大学病院は最新式の機能を備えたハイブリッド手術室がこの10月より稼働しています。主に心臓血管外科の血管狭窄や人工血管、また脳神経外科のコイル塞栓術などで、透視画像を全自動で重ね合わせるにより3次元画面を作成し、3Dナビゲーションとしてリアルタイムに操作位置を確認しながらより安全に手術を進めることができます。最近注目されている大動脈弁狭窄症に対する弁付きステントの挿入術(TAVI手術)に対応することもできます。また、当病院のハイブリッド手術システムの目玉として、移動式CT撮像装置O-armの導入があります。どの手術室でも術中のCT撮影が可能となり、さらにナビゲーションシステムと連動させることにより、数ミリのずれも見逃さない正確な位置を掌握しながら手術を行うことができる画期的な機械です。本装置は九州では初めての導入であり、整形外科の脊椎手術で威力を発揮すると期待されています。

このように、大学病院として最先端技術に遅れないようにハード面での準備は整いつつあります。あとは人材確保や教育といったソフト面の充実を図らなければなりません。昨年よりICU入室加算も大幅に引き上げられましたが、その施設基準の一つとして30時間以上の専門講義の受講および5年以上の専従経験を持った集中治療専門医の2名配置が必要とされています。ハイブリッド手術やICU業務など、より高度な先進技術に対応できる高い専門性を持った麻酔科医の育成が目下の課題です。(恒吉 勇男)



写真1 ハイブリッド手術室



写真2 O-arm

## 専 門 分 科 医 会 だ よ り

## ( 泌 尿 器 科 医 会 )

なかやま けん  
中山 健 会長

前回の平成25年12月に続いて、当医会の現況を報告します。

会員の動向を本年7月に改定した医会名簿により述べますが、総数83名で前回より1名の増加です。その

内訳は開業医29名、勤務医52名、その他2名で開業医が前回より2名増えました。会員が所属する医療機関の所在地は宮崎市17、都城市6、延岡市4、日南市3、日向市4、小林市4、西都市2、串間市1、東諸県郡1、児湯郡1、東臼杵郡1とほぼ全県下にわたっています。医会役員は副会長を児湯郡の永友和之、宮崎市の養田国広、幹事を大学の上村敏雄、県立宮崎の黒岩頭太郎、宮崎市の椎教次、福田総一郎、南口尚紀、都城市の速見晴朗、延岡市の竹原俊幸、日向市の中村恒雄、日南市の村上憲彦、小林市の池井義彦、そして監事を東諸県郡の棚田敏文の諸先生にお願いしています。

医会の活動は、例会を原則として毎奇数月と12月に行い、宮崎大学のお世話で全国の大学等から講師をお招きし、各領域の最新情報を拝聴しています。本年12月に第199回を迎えますが、これは私たちにとって大変有益な学習の場となっています。それに加えて、開業医の多い宮崎地区では主として当地の基幹病院の先生や他科の先生(循環器内科、整形外科、精神科、腎臓内科、

皮膚科など)を講師として座談形式の懇話会を行っており、これも本年12月には55回を数えます。また、大学主催の日本泌尿器科学会・宮崎地方会があり、これらへの参加により私たちの生涯教育の充実は計られていると思っています。

それから、前回もご紹介しました Miyazaki Urological Network : MiU - NET も順調に動いており、大学を中心に地域の医療機関との前立腺癌や腎癌のクリニカルパスが行われています。詳細につきましては宮崎大学泌尿器科のホームページに掲載してありますので、他科の先生方もご一読をお願いいたします。平成26年4月1日に開始された前立腺肥大症治療のコホート研究も進行中で、本年10月に第7回 MiU - NET カンファレンスが開催されましたが、2,484例もの症例がエントリーされ、大学の月野浩昌講師を主任研究者として画期的なデータがまとまりつつあります。

当医会是他医会との交流も進めており、今年度は6月には慢性前立腺炎をテーマに内科医会と、そして7月には高齢者における薬物と男性ホルモンの動態をテーマに内科医会・精神科医会と、連携の会を持ちました。

これらを通じて、「病診・診診連携」、「大学との協調」、「生涯教育」の3本の矢はますます強固なものになると信じかつ自負しております。どうぞ今後とも当医会に対するご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。(中山 健)

## — 各種委員会 —

### 健康スポーツ医学委員会

と き 平成27年9月30日(水)

ところ 県医師会館

佐藤理事より開会，押川委員長の挨拶に続き，押川委員長の進行で報告・協議が行われた。

#### 報 告

##### 1 平成26年度県民健康セミナーについて

3月22日に開催した県民健康セミナー「あなたの身体 大丈夫ですか！」について報告があった。

##### 2 平成26年度県医健康スポーツ医学セミナーについて

2月7日に開催した県医健康スポーツ医学セミナーについて報告が行われた。

#### 協 議

##### 1 平成27年度県民健康セミナーについて

健康教育委員会との合同の講演形式で本年度も健康スポーツ医学委員会から講演を提案して行うことが承認され，テーマ・講師案等について検討を行った。健康教育委員会において最終決定される。

##### 2 平成27年度県医健康スポーツ医学セミナーについて

テーマ・講師案について意見が出された。後日調整を行うことが承認された。

##### 3 ロコモティブシンドローム対策について

県への要望事項に関しては，11月に開催が予定されている県福祉保健部・病院局との懇談会での要望事項とすることが承認された。

##### 4 宮崎県スポーツドクター連盟について

平成26年度の歳入歳出決算，平成27年度事業計画・予算について協議し承認された。

##### 5 諮問事項「スポーツメディカル医療機関ネットワーク(スポメディネット)の再検討について」

今後，パンフレットを有効活用できるような取組みを検討していくことが承認された。

出席者－押川委員長，田中・帖佐副委員長，

柳田・名越・森委員

(県医) 佐藤・川野理事，牧野課長，川端主事

### 健 康 教 育 委 員 会

と き 平成27年10月19日(月)

ところ 県医師会館

小牧常任理事の司会で開会し，濱田副会長からの挨拶の後，中山委員長の進行で報告・協議が行われた。

#### 報 告

##### 1 平成26年度健康教育事業について

昨年度宮崎県医師会が開催した健康教育事業(宮日新聞への掲載等)，会員，各専門分科医会が行った健康教育事業について報告を行った。

##### 2 平成26年度宮崎県医師会県民健康セミナーについて

「あなたの身体 大丈夫ですか！」をテーマに平成27年3月22日に開催し，参加者は116名であった。

##### 3 健康教育事業費補助事業について

昨年度より開始した同補助事業について説明があり，来年度も引き続き実施予定であることが報告された。



## 協 議

### 1 平成27年度宮崎県医師会県民健康セミナー について

本年度の県民健康セミナーの企画を協議した。開催時期は平成28年2～3月の日曜または祝日の予定で、テーマは「健康寿命」をキーワードに今後検討することとなり、開催時間

を3時間に拡大し、講演内容を健康スポーツ医学委員会から提案された「生涯楽しむレディスバレーボール—脚腰万歳！—」の1題、「糖質制限食」、「がん」、「受動喫煙と禁煙」の3題を講演テーマとすることが承認された。

### 2 諮問事項「県民への健康教育のすすめ方について」

今後も現状の健康教育事業を進めていくことが承認された。

出席者—中山委員長、帖佐副委員長、松本・竹中・糸数・楢原・福井・谷口委員（県医） 濱田副会長、小牧常任理事、岩村理事、牧野課長、瀬戸山主事

## 医療事故調査制度

### 宮崎県医師会 相談窓口

宮崎県医師会は支援団体として、県内の医療機関をサポートいたします。  
医療事故の判断に迷った時、また、医療事故と判断した時は、宮崎県医師会までご連絡ください。

宮崎県医師会 電話 0985-22-5118

#### 【受付時間】

平日の8時30分から18時、土曜日8時30分から12時30分の時間帯は、県医師会事務局の代表電話(0985-22-5118)で対応いたします。

時間外または日曜祝祭日等県医師会が対応できない場合は、国が指定した東京の医療事故調査・支援センター相談専用電話(03-3434-1110)にご連絡ください。

#### 【その他】

可能な場合には、「予期せぬ死亡事故発生報告書」に必要事項を記載の上、宮崎県医師会に書面を郵送(書留やレターパックプラスなど)してください。

宮崎県医師会 〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

この制度は、医療事故の再発防止により医療の安全を確保することを目的にした制度です。対象事案を報告するか否かについては、医療機関の管理者が組織として判断することになっており、ご遺族から医療事故調査・支援センターに直接報告や調査依頼をする仕組みではありません。

# 全国医師会医療秘書学院連絡協議会 第65回定例総会・平成27年度第1回運営委員会

と き 平成27年9月26日(土)

ところ ANAクラウンプラザホテル富山(富山市)

平成27年度の全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会は、富山県医師会の担当で開催された。

**協議会長挨拶** 馬瀬大助富山県医師会長

本協議会は、武見太郎元日本医師会長の提唱によって誕生し、日医認定医療秘書養成校の全国組織として昭和40年に発足した、歴史と伝統のある協議会である。今年度から、群馬県医師会と福岡県医師会の各一校が加入し、13県15校になった。今後も加入校の増加に向けて期待が高まる。

近年、少子高齢化が進み医療現場ではより高度化・専門化が進んでおり、医療業務を効率的かつ迅速・正確に補助できる医療秘書の役割は、今後さらに高まっていくことと思われる。本協議会としても、日医認定医療秘書という職種が一層活躍の場が得られるよう、今後も日医主導のもと、医療を担う専門職としての医療秘書の認知度向上に努めると共に、加入校の増加に向けて日医認定医療秘書の養成に取り組む所存である。

**来賓祝辞**

横倉義武日医会長(釜范敏日医常任理事代読)

団塊世代が75歳以上となる2025年まであと10年となり、国の財政再建が迫られる中、その対応が急務となっている。昨年6月に医療介護総合確保推進法が成立し、改正医療法に地域医療構想が位置づけられることとなり、本年4月以降、地域医療構想策定に向けた検討が各都道府県で始まっていることと思う。地域の実情に即した適切な機能分化が行われるためにも、都道



府県医師会の積極的な関与が不可欠である。医療秘書の養成については、今年度より群馬県、福岡県において新たに開始していただいている。今後も更なる普及を目指し、医師事務作業補助体制加算についても引き続き対象拡大を要望していく。

**報告**

## 1 日本医師会医療秘書認定試験委員会について

富田雄二日医医療秘書認定試験委員会委員長

本年も教科書改訂に伴い、新課程・旧課程の2種類の問題を作成する予定であり、どちらかを選択して受験していただく形である。委員会で既に問題の作成を始めており、今後3回の委員会を開催し問題を完成させる。平成28年2月7日(日)に認定試験を実施し、その後委員会において合否原案を作成し、試験問題の分析評価を行う。日医常任理事会において、正式に合格者を決定していただき、2月26日(金)に合格者を発表する。

## 2 各学院の現況調査結果について

医療秘書養成を行っている13県から、現況調査結果に基づき報告があった。

医療秘書としての採用は、求人が経験者という指定等もあるため、まだまだ少ない状況である。医療秘書としての募集があっても、経験者や診療情報管理士取得見込み者を希望される場合が多く、日医の医療秘書教育課程のさらなる充実が望まれる。学生の入学状況が厳しい学院もあり、入学者の確保が課題である。医師事務作業補助者の求人、問い合わせが近年増えているという学院では、県内で実施される医師事務作業補助者の学会等に積極的に参加し、情報収集や意見交換を行っている。ただし、採用については診療情報管理士取得見込み者を希望する求人先が多いので、今後、教育課程のさらなる充実が必要である。

就職率が低い学院もあり、今後の課題として、診療所等へ診療報酬上の評価の拡大を求め、日医認定医療秘書のさらなる認知と普及にあたる必要があると意見が出された。日医認定医療秘書の資格取得が就職につながっていないことが課題であるとの意見もあった。県医師会報に就職を希望する学生の顔写真、プロフィール、希望勤務地の掲載に協力してもらっており、就職者率の良さにつながっているであろうという学院もあった。

## 3 医療保険請求事務実技試験委員会について

### 堀地肇常任委員

先ほど行われた平成27年度第1回医療保険請求事務実技試験委員会では、具体的な試験問題について検討が行われ、適正なものとして承認されたとの報告があった。

### 協議

堀地常任委員から平成26年度収支決算、平成27年度事業計画(案)・収支予算(案)について報告があり、原案通り承認された。来年の3月26日(土)に東京において第2回常任委員会及び第2

回運営委員会を開催する。昨年から医療保険請求事務実技試験の試験日を統一する動きがあるが、来年の試験日も統一はやはり難しいため、今年と同様に4日間での調整をお願いし、現段階でいずれの日も開催ができない学校があれば富山県医師会に連絡をすることになった。次期当番県は滋賀県医師会に内定していることが報告され、承認された。

### 総括

### 釜范敏日医常任理事

新旧2種類の試験問題の実施は今年度までであり、混乱が生じないように十分配慮していきたいので、ご協力をお願いしたい。日医認定医療秘書のさらなる全国拡大に向けて引き続き努力していきたい。医師事務作業補助者としての採用がまだ少ない。医療機関側の体制が整わないこと、診療報酬上の手当てが不十分であること等の指摘はその通りである。医師事務作業補助体制加算については、引き続き、中医協の担当役員を通して、更なる充実を図るよう要請をし、取り組みたい。また、日医認定医療秘書の教育課程のさらなる充実が必要だという指摘に関しては、重く受け止め、対応しなければならぬ。救急医療の現場で医師も看護師もそれぞれの業務に没頭しているので、記録をリアルタイムで取れない場面は想定される。認定資格を取得した医療秘書が、こういう場面で活躍することは大いに必要になるので、診療報酬上で手当てされ、医療機関でも人材を配置できるように、何とか力を尽したい。

### 次期当番県医師会長挨拶

### 猪飼剛滋賀県医師会長

来年の定例総会は、平成28年9月24日(土)に滋賀県のホテルポストンプラザ草津にて開催する予定である。

出席者一富田副会長、牛谷常任理事、  
瀬戸山主事

## 九州医師会連合会第350回常任委員会

と き 平成27年10月3日(出)

ところ ホテルニュー長崎

### 1 開 会

### 2 挨 拶

九州医師会連合会長挨拶

(蔭本長崎県医師会長)

### 3 報 告

#### 1) 第115回九州医師会医学会分科会の出題並びに記念行事の参加申込状況について(長崎)

出題並びに記念行事の参加状況について報告があり、追加も可能なので積極的な参加依頼があった。

#### 2) その他

### 4 協 議

#### 1) 第351回常任委員会並びに第110回臨時委員総会(11月13日(金)長崎市)について(長崎)

#### 2) 九州医師会連合会委員・九州医師会役員合同協議会(11月14日(土)長崎市)における日本医師会に対する質問・要望事項について(長崎)

1) 2)については、原案どおり承認された。

#### 3) 第115回九州医師会連合会総会における宣言・決議案について(長崎)

医師会の果たしている役割等をもっと記述すべき等様々な意見が出て、これらの意見を踏まえて長崎県で再度検討し、再提案することとなった。

#### 4) 第352回常任委員会並びに第2回各種協議会(28年2月6日(土)長崎市)の開催について(長崎)

原案どおり承認された。

#### 5) 日本医師・従業員国民年金基金第11期代議員候補者推薦のご依頼について(長崎)

長崎県と佐賀県から選出の第10期代議員が継続することとなった。

#### 6) 関東・東北豪雨災害(茨城県・栃木県・宮城県各医師会)への対応について(長崎)

九医連申し合わせに従い、各県5万円、九医連から10万円の計50万円を茨城、栃木県に各25万円を送ることとなった(宮城県医師会は辞退)。

#### 7) 九州医師会連合会第11回事務局長連絡協議会の開催について(長崎)

11月27日に長崎県で開催することが了承された。

#### 8) その他

福岡県から平成29年度開催予定の諸行事の日程調整について提案があり、開催予定当番の福岡県に一任することとなった。

### 5 その他

#### 1) 医療勤務環境改善支援センターにかかる各県の対応状況について(鹿児島)

鹿児島県からアンケート回答に対するお礼があり、鹿児島県は、県直営とすることで対応するとの考えが示された。

#### 2) 唐澤祥人先生旭日大綬章受賞祝賀会について(長崎)

対応は各県判断となった。

出席者一河野会長、山内事務局長

## 薬事情報センターだより (342)

### 新薬紹介(その82)

今回は8月に薬価収載されたチロシンキナーゼ阻害剤/抗線維化剤オフエブカプセル100mg・150mg(一般名:ニンテダニブエタンスルホン酸塩)と持効型溶解インスリンアナログ製剤ランタスXR注ソロスター(一般名:インスリン グラルギン(遺伝子組換え))について紹介いたします。

#### オフエブカプセル100mg・150mg(一般名:ニンテダニブエタンスルホン酸塩)

オフエブ(一般名:ニンテダニブエタンスルホン酸塩)は、ベーリンガーインゲルハイム社が開発した特発性肺線維症(IPF)における約7年ぶりの新薬であるとともに、初の分子標的治療薬です。血小板由来増殖因子受容体(PDGFR)  $\alpha$ ,  $\beta$  及び線維芽細胞増殖因子受容体(FGFR) 1, 2, 3及び血管内皮増殖因子受容体(VEGFR)の各受容体において、アデノシン5'-三リン酸(ATP)結合ポケットを可逆的に占領する低分子チロシンキナーゼ阻害剤であり、IPFの病態に関与する線維芽細胞の増殖、遊走及び形質転換に関わるシグナル伝達を阻害します。

本剤は、「特発性肺線維症」を効能・効果として、2015年7月に製造販売承認され、8月に日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社から発売されました。なお、本剤は、米国では2014年10月、欧州では2015年1月にそれぞれ承認されました。2015年2月現在、海外の31か国で承認されています。

第Ⅲ相国際共同試験(INPULSIS試験)の2試験が1,061例のIPF患者を対象に実施され、638例に本剤が投与されました。これらの2試験は、本剤150mgの1日2回投与で52週間の無作為化、二重盲検のプラセボ対照により実施されました。試験全体での主な副作用は、下痢342例(53.6%)、悪心122例(19.1%)等でした。日本人126例中76例に本剤が投与され、主な副作用は、下痢51例(67.1%)、肝酵素上昇21例(27.6%)等でした(承認申請時)。なお、重大な副作用としては、重度の下痢、肝機能障害、血栓塞栓症(静脈血栓塞栓、動脈血栓塞栓)、消化管穿孔及び間質性肺炎が設定されています。

#### ランタスXR注ソロスター(一般名:インスリン グラルギン(遺伝子組換え))

ランタスXRは、インスリン グラルギン100単位/mL製剤と同一の有効成分を持ち、その有効成分の濃度を3倍にした製剤です。1キット1.5mL中インスリン グラルギン(遺伝子組換え)450単位が含まれています。インスリン グラルギンは中性のpH領域で低い溶解性を示すように設計されたヒトインスリンアナログです。皮下に投与されると直ちに生理的pHにより微細な沈殿物を形成します。皮下に滞留したこの沈殿物からインスリン グラルギンが緩徐に溶解し、皮下から血中に移行します。本剤は、インスリン グラルギンの濃度を高くして注射液量を少なくすることで、皮下に形成される無晶性沈殿物の単位量当たりの表面積が小さくなり、投与部位からのインスリン グラルギンの吸収がより緩やかになるため、インスリン グラルギン100単位/mL製剤よりも平坦で持続的な薬物動態及び薬力学プロファイルとなり、24時間にわたり安定した血糖降下作用を示すと考えられています。

本剤は、「インスリン療法が適応となる糖尿病」を効能・効果として、2015年7月に製造販売承認され、9月にサノフィ株式会社から発売されました。なお、本剤は、米国において2015年2月に承認され、同年3月に発売されました。また、欧州においても2015年4月に承認され、ドイツ、デンマーク、オランダで発売されています(2015年7月1日現在)。

日本人が参加した臨床試験での安全性評価対象日本人症例291例中14例(4.8%)に17件の副作用が認められました。主な副作用は、重篤な低血糖6例(2.1%)等でした(承認時)。また、重大な副作用として、低血糖、ショック、アナフィラキシーがあらわれることがあります。

#### (参考資料)

オフエブカプセル100mg・150mg、ランタスXR注ソロスター各添付文書・インタビューフォーム

(宮崎県薬剤師会薬事情報センター

永井 克史)

## 日医インターネットニュースから

### ■16年度改定「20年後を見据えて検討」 — 諮問会議で塩崎厚労相 —

塩崎恭久厚生労働相は10月16日の経済財政諮問会議で、社会保障分野の改革の方向性について説明した。2016年度診療報酬改定に向けては、総合的な診療を行うかかりつけ医の普及・確立、アウトカムなどを考慮した診療報酬体系・インセンティブの設定など「20年後を見据えた保健医療の在り方の転換を実現するための検討を進めていく」とした。

16年度改定での具体的な検討課題として▽病床機能の分化・連携、機能強化▽かかりつけ医の普及と適切な在宅医療の評価▽調剤報酬の見直し▽医薬品の適正使用の推進▽後発医薬品の使用促進・価格適正化▽イノベーションの評価、基礎的医薬品の安定供給の確保▽費用対効果評価の導入—を挙げた。

### ●医療ICT活用推進懇談会を設置へ

このほか、骨太方針2015の経済・財政再生計画を踏まえ、かかりつけ医の普及に向けた外来時定額負担や後期高齢者の窓口負担、介護保険の利用者負担などについて、「関係審議会において、患者をはじめとするサービス利用者、費用負担者、地方自治体、サービス提供者から幅広く意見を聞きながら検討を進める」とした。地域医療構想については16年度中に全都道府県が策定できるように支援する方針を示したほか、データヘルス推進に向けて10月中旬に「医療ICT活用推進懇談会(仮称)」を立ち上げる方針も表明した。

社会保障改革の具体的な工程表を策定するとともに、可能な限りKPI(成果指標)を設定することも表明した。(平成27年10月20日)

### ■個々の点数項目“見える化”は「困難」 — 日医消費税検討会が報告 —

今村聡副会長は10月15日、中医協・医療機関等における消費税負担に関する分科会(分科会長＝田中滋・慶応大名誉教授)に、日医の検討会が個々の診療報酬点数項目の「原価」に含まれる課税費用相当分を算出するために取り組んだ調査の結

果を報告した。複数の代表的な項目を調査したものの消費税補填の把握が難しかったとして「個々の項目に原価を求め、消費税相当額を『見える化』することは困難」と指摘。上乘せ点数の所在が明確とは言えない消費税率5%までの対応分には「マクロ的な比率で一律に『見える化』を行う方が現実的ではないか」と提言した。

控除対象外消費税問題の抜本的な解決をめぐることは、2015年度税制改正大綱で「個々の診療報酬項目に含まれる仕入れ税額相当額分を『見える化』することなどにより実態の正確な把握を行う」と明記されている。これを受け、日医の「医療機関等の消費税問題に関する検討会」は、構成委員の四病院団体協議会、日本歯科医師会、日本薬剤師会とともに「見える化」への独自の試みを行ってきた。

各団体がそれぞれ<1>課税費用との結び付きが強いと思われる点数項目<2>人件費との結び付きが強いと思われる点数項目(あまり消費税と関係がないとみられる項目)の代表的なものを抽出し、調査協力施設での「費用(原価)に対する課税費用」「売上げに対する課税費用」を調査した。原価計算の方法は各医療機関の判断で配賦基準を求めることを原則としつつ、簡便法として、材料費と検査委託費、医療機器の設備関係費だけを直接費用として個別に抽出し、それ以外は間接費用として「従事割合」または「床面積割合×従事割合」などの比率によって配賦する方法も認めた。有効回答は一般診療所22施設、病院34施設、歯科医療機関8施設、保険薬局10施設だった。

調査項目の課税費用割合はそれぞれの施設で相当のばらつきがあった。あまり消費税と関係がないと思われていた<2>の項目の課税費用割合が、実際には課税費用と結び付きが強いと思われていた項目の課税費用割合を上回る“逆転現象”も確認された。

分科会の委員を務める今村副会長は「診療報酬個々に原価を求めて消費税相当額を『見える化』するのは極めて困難」「消費税率5%までは“広く薄く”補填として入っているなら、抜本的に解決するには一律に“広く薄く”というものをどうするか、というのが今後の議論になると思

う」とも述べた。白川修二委員(健保連副会長)は個々の項目の「見える化」を進める作業の難しさを認め、今村副会長の説明に理解を見せた。

(平成27年10月20日)

## ■財政審分科会での財務省案に疑問提示 — 横倉会長 —

横倉義武会長は、10月9日に開催された財政制度等審議会財政制度分科会において示された、「骨太の方針2015」に盛り込まれた社会保障の44の改革検討項目への財務省の考え方に対して、特に問題が大きい3つの項目を取り上げ、10月21日の記者会見で日医の考えを示した。

横倉会長は、財務省の考え方について、「財政再建のため国民に犠牲を強いるものであり、病に苦しむ患者さんから過度な負担を徴収すべきではない」として、各項目に対する日医の考えを次のように述べた。

### ●居住に係る負担の公平化

財政審が、入院時生活療養費において居住費(光熱水費相当)の負担を求めていくべきと主張していることに対して、「医療機関に入院している患者は、入院治療が必要なため入院しているものであり、居住費という概念は適しない」として、光熱水費を患者に負担させることに反対の意を表明。更に、「疾病により、やむなく行われる医療機関への入院時の居住費は、治療の一環であることから、介護保険施設等の入所・利用と同一視すること自体が問題」と指摘し、在宅療養との公平性の確保という視点も不適切とした。

### ●外来時の定額負担

財政審が、かかりつけ医以外を受診した場合に定額負担を導入すべきと主張していることに対しては、「高齢者や低所得者が受診を差し控えれば、より重症化してから受診することになり、逆に医療費の高騰を招く」と反論。更に、「かか

りつけ医は患者が選ぶもので、財政審提案は、日本の医療の特徴であるフリーアクセスを阻害する」と指摘した。

### ●医療提供体制の適正化

財政審が「地域医療構想を早期に策定」「病床機能報告制度について、地域医療構想策定ガイドラインと整合的な定量的基準を設定する形で見直しが必要」と主張していることに対しては、「地域医療構想は、地域の関係者が情報を共有しながら、地域の将来の医療について考えることで策定すべきものであり、拙速に策定されるべきでなく、トップダウンにより進められるべきものでもない」と反論。

更に、「定量的な基準の設定」に関しては、例えば限られた機能で地域の救急医療等を分担している医療機関を排除することになり、地域住民の医療へのアクセス阻害、地域医療の崩壊を導くものであると批判した。

また、財政審が「民間医療機関に対する他施設への転換命令等を付与するなど、都道府県の権限を一層強化すべき」と主張していることに対しては、「その地域で不足している機能がある場合は、地域医療構想調整会議において協議を行うべきであり、それが不調となった場合であっても、まずは公的医療機関等に対する削減命令を行い、その上で必要最小限の『要請』を民間医療機関に行うべき」との考えを示した。

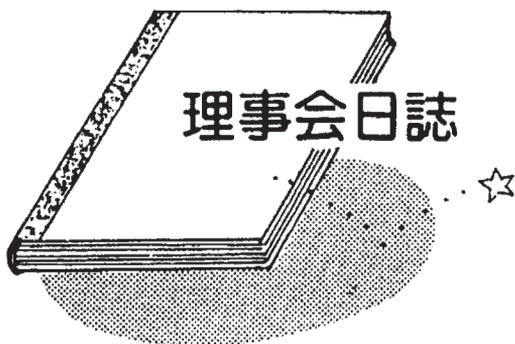
その他、横倉会長は、日医が、「支払能力に応じた負担の公平化」を進めることにより財源を確保することが先決と主張していることを改めて説明。「骨太の方針2015」では改革項目の一部に「現役被用者の報酬水準に応じた保険料負担の公平を図る」が挙げられているにもかかわらず、財政審では「その他の課題」として扱われたことに対して、「真剣に取り組んでいないのは大変残念に思う。しっかりと議論の俎上に載せ、国民の理解が得られるよう、速やかに改革を進めるべき」と指摘した。(平成27年10月23日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。

日本医師会(<http://www.med.or.jp/>)>メンバーズルーム>日医インターネットニュース  
メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザID: 会員ID(日医刊行物送付番号)の10桁の数字(半角)

◆パスワード: 生年月日の「西暦の下2桁, 月2桁, 日2桁」の6桁の数字(半角)



平成27年9月15日(火)第16回常任理事協議会

## 医師会関係

### (議決事項)

#### 1. 9/28月(延岡)9月度例会開催に伴う講師派遣の依頼について

10月1日から施行される医療事故調査制度に関連してとの指定があることから、濱田副会長を講師に派遣することが承認された。

#### 2. 第44回医療功労賞(主催：読売新聞社)受賞候補者の推薦について

健康増進・疾病予防・治療など献身的に地域住民を支えてこられた医療従事者に贈られる表彰で、会員1名を推薦することが承認された。

#### 3. 後援・共催名義等使用許可について

①11/1日(日)(JA-AZM)日本肝臓学会肝がん撲滅運動市民公開講座への後援のお願いについて

→ウイルス性肝炎及び肝がんを撲滅するための活動の一環として開催される市民公開講座で、名義後援を行うことが承認された。

②平成28年3/12日(土)(宮日会館)ご後援(名義使用)許可のお願いについて

→「NSTからチーム医療の推進を！」をテーマに開催される研究会で、名義後援を行うことが承認された。

#### 4. 10/25日(東京)唐澤祥人先生旭日大綬章祝賀会のご案内について

唐澤元日本医師会長の叙勲受章をお祝いする会で、九州各県の状況を踏まえ、河野会長が出席することが承認された。

#### 5. 9/29日各郡市医師会長協議会について

進行等の最終確認が行われ、本会が提出する案件では、医療事故調査制度を濱田副会長、地域医療構想を池井常任理事が説明することとなった。また、延岡市医師会から提案される「各保険者が通知する『医療費のお知らせ』に関する件」については、状況を確認後、富田副会長が回答することが承認された。

#### 6. 地域医療介護総合確保基金に係る平成28年度新規事業提案(介護関係)について

各郡市医師会から新規提案がなかったことから、引き続き「認知症地域医療支援事業」と「認知症サポート医スキルアップ事業」を提案することが承認された。また、介護関係は対象事業の制限が厳しいことから、継続して県担当部局と交渉を行うこととなった。

#### 7. 平成27年度高齢者インフルエンザ定期予防接種に係る広域契約について

県内の高齢者が当該市町村外での接種が可能となるよう契約するもので、市町村によって一部負担金にばらつきがあるが、接種料金4,378円及び事務手数料(予診票1件)200円で契約を締結することが承認された。また郡市医師会と市町村が契約する接種料金についても確認を行うこととなった。

### (報告事項)

#### 1. 9/11日(日)日医医療秘書認定試験委員会について

#### 2. 9/12日(土)(KITEN)九州沖縄医療情報技師会勉強会について

#### 3. 9/9日(木)(杉の子)宮崎市郡医師会との意見交換会について

4. 9/9(水)(宮大医学部附属病院)地域医療における働きやすい環境を考える会学生向けセミナーについて

5. 9/14(月)(県医)広報委員会について

6. 9/12(土)(県医)産業医研修会(前期)について

7. 9/12(土)(県医)園医部会総会・研修会について

8. その他

10/22(木)財政援助団体等の監査の実施について

#### 医師連盟関係

(報告事項)

1. 9/10(木)(JA-AZM)宮崎県経済団体協議会専務・常務・事務局長会議について

2. 第24回参議院議員選挙(宮崎県選挙区)の推薦願いについて

3. 9/13(日)(東京)日医連医政活動研究会について

#### 平成27年9月29日(火)第7回全理事協議会

#### 医師会関係

(議決事項)

1. 九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者(医科)の個別指導の実施に係る立会いについて

1 医療機関を対象に行われる個別指導で、立元常任理事を立会人として派遣することが承認された。

2. 宮崎県医師会医療事故調査支援委員会支援マニュアルについて

医療法の改正により、平成27年10月1日からスタートする医療事故調査制度について、支援委員会と医療事故が発生した医療機関の双方が使用する支援マニュアル(第1版)の確認が行われ、次の各郡市医師会長協議会に提案することと合わせ承認された。

3. 後援・共催名義等使用許可について

11/7(土)(宮崎市民プラザ)平成27年度麻薬・覚醒剤乱用防止運動九州地区大会における後援について

→麻薬・覚醒剤等の乱用を根絶するために、その恐ろしさを認識し県民が一体となって薬物乱用に立ち向かうために開催される大会で、名義後援を行うことが承認された。

4. 第115回九州医師会連合会総会における「宣言・決議(案)」について

消費税増税に伴う経営的なダメージは、“高価な医療器具を扱う大病院”のみに限られたことではないため、「大病院」を「医療施設」に変更し、提案することが承認された。

5. 会費減免申請について

高齢に伴う宮崎県医師会の会費減免2名、高齢に伴う日本医師会の会費減免2名、疾病に伴う宮崎県医師会と日本医師会の会費減免1名が承認された。

6. 業務委託について

①平成27年度自殺対策に係る人材育成研修事業の業務委託について

→県内の医師や医療従事者を対象とした専門研修を行い、医療の現場における自殺対策の強化を図ることを目的に実施される事業で、契約を締結することが承認された。

②平成27年度救急医療施設医師研修事業の業務委託について

→救急医療を担当する医師の知識と技能の向上を図ることを目的に、ICLS指導者養成ワークショップ及びACLS研修会等を実施する事業で、委託契約を締結することが承認された。

7. 10/20(火)(県庁)平成27年度県総合防災訓練研究会の開催について

8月に開催された宮崎県総合防災訓練の成果と課題を明らかにし、今後の訓練等に反映

させることを目的として開催する研究会で、小牧常任理事が出席することが承認された。

8. 11/12(木)(県医他)平成27年度県感染症危機管理研修会について

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)を予定演題に、県内の医師及び看護職員、保健所の感染症担当者等を対象に行う研修会で、テレビ会議システムの利用等を含め共催することが承認された。

9. 10・11月の行事予定について

10月の追加行事を中心に確認が行われた。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 9/3(木)(宮大医学部)県がん診療連携協議会について

3. 9/3(木)(宮観ホテル)宮崎銀行経営説明会について

4. 9/8(火)(青島グランドホテル)未来の医療を語り合う全員交流会 in MIYAZAKIについて

5. 9/9(水)(支払基金)支払基金幹事会について

6. 9/15(火)(日医)都道府県医師会長協議会について

7. 9/19(土)(宮観ホテル)平井俊範先生教授就任祝賀会について

8. 9/28(月)(県企業局)県立宮崎病院改築に係る基本設計業務プロポーザル選定委員会について

9. 9/24(木)(日医)日医医療情報システム協議会運営委員会について

10. 9/26(土)(富山)全医秘協常任委員会について

11. 9/28(月)(県医)基金事業(医師確保分)に関する検討会について

12. 9/15(火)(県医)医療事故調査支援委員会準備会について

13. 9/16(水)(県警本部)県警本部長との面談について

14. 9/25(金)(県医)県医療事故調査支援団体連絡協議会について

15. 9/25(金)(県医)医療事故調査支援委員会について

16. 9/28(月)(延岡市医師会病院)延岡市医師会9月度例会に伴う講演会について

17. 9/29(火)(九州厚生局宮崎事務所)九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について

18. 9/17(木)(JA-AZM)社会保険担当者(医科)の集団的個別指導について

19. 9/24(木)(県医)広報委員会について

20. 9/26(土)(富山)全医秘協定例総会・運営委員会について

21. 8/30(月)(県医)医学会誌編集委員会について

22. 9/5(土)(県医)県医師会医学会について

23. 8/26(水)(宮崎労働局)労災診療指導委員会について

24. 9/10(木)(JA-AZM)社会保険医療担当者(医科)の個別指導について

25. 9/16(水)(第一宮銀ビル)県後期高齢者医療広域連合療養費適正化研究会について

26. 9/26(土)(県医)県有床診療所協議会総会について

医師協同組合理事・運営委員合同協議会

(報告事項)

1. 9/29(火)(県医)医協理事・運営委員合同協議会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 10/16(金)(宮観ホテル)自由民主党宮崎県第一選挙区支部総会の開催について

平成26年の収支報告及び平成27年の予算案を審議する支部総会で、河野委員長が出席することが承認された。

2. 10/19(月)公明党宮崎本部「政策要望懇談会」開催のご案内について

午後1時から30分程度の枠が、懇談会として準備され、河野委員長と立元常任執行委員が出席することが承認された。

**(報告事項)****1. 9/15(火)(東京)明日の医療を語る会について**

目的として開催される懇話会で、名義後援を行うことが承認された。

|                          |
|--------------------------|
| 平成27年10月6日(火)第17回常任理事協議会 |
|--------------------------|

**医師会関係****(議決事項)****1. 10/29(木)(JA-AZM)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者(医科)の個別指導の実施に係る立会いについて**

6医療機関を対象に行われる個別指導で、佐々木(幸)常任理事を立会人として派遣することが承認された。

**2. 水銀血圧計等の回収に関するセミナーの開催について**

医療機関で使用・保管している金属水銀含有機器の適正処理のために開催されるセミナーで、大阪の説明会に立元常任理事が出席することが承認された。

**3. 後援・共催名義等使用許可について****①10/9(金)(宮大)日伊科学技術宮崎国際会議**

2015の後援名義使用許可について

→「植物と地球環境」をテーマに、日本・イタリアの科学技術と市民交流を目的に開催される国際会議で、名義後援を行うことが承認された。

**②12/6(日)(三股町立文化会館)第22回宮崎県理学療法学会の後援について**

→「人よし、町よし、暮らしよし～地域包括ケアを紡ぐリハビリテーション～」をテーマに開催される学会で、名義後援を行うことが承認された。

**③平成28年2/20(土)(宮崎市民文化ホール)平成27年度第3回宮崎県輸血懇話会における名義後援について**

→医療に携わる医療従事者を対象に、輸血医療および血液事業の活性化を図ることを

**4. 10/13(火)(ガーデンテラス宮崎)宮崎大学医学部教授等と県医師会役員等との懇談会について**

当日の参加者及び新任教授等の紹介を含む進行スケジュールの確認が行われた。

**5. 県福祉保健部・病院局と宮崎県医師会との意見交換会について**

11月17日(火)に開催することが決定し、その後のスケジュールの確認が行われた。また、県に対する要望は各郡市医師会及び役員からの意見を確認した上で、先に開催される全理事協議会等で再協議することが承認された。

**6. 12/5(土)(県医)マイナンバー制度説明会について**

10月から個人番号の通知が始まり、平成28年1月から行政手続における運用が開始されるマイナンバー制度について、来る12月5日(土)に、テレビ会議を用いた説明会を開催することが承認された。

**7. 12/5(土)(愛媛)全国学校保健・学校医大会について**

「みんなで見守る子供の成長」をテーマに開催される大会で、本会から河野会長と高村常任理事が出席することが承認された。

**8. 日本医師会次期会長候補者の推薦について**

次の九医連常任委員会で、次期日医会長候補者を協議することから、宮崎県医師会として現職の日医横倉会長を引き続き推薦することを承認した。

**(報告事項)****1. 週間報告について****2. 9月末日現在の会員数について****3. 10/3(土)(長崎)九医連常任委員会について****4. 10/1(木)(日医)日医医療秘書認定試験委員会について**

5. 9/30(水)(都城市北諸県郡医師会館)都城市北諸県郡医師会学術講演会について
6. 10/3(土)(長崎)九医連医療事故調査制度担当理事連絡協議会について
7. 10/3(土)(長崎)九医連各種協議会について
8. 9/30(水)(県庁)県准看護師試験問題調整委員会について
9. 10/2(金)(県医)治験セミナー(TV会議)について
10. 10/6(火)(県医)治験審査委員会について
11. 10/2(金)(日南保健所)日南串間地域医療構想調整会議について
12. 10/3(土)(県医)県警察医会総会・特別講演会について

#### 医師連盟関係

##### (議決事項)

1. 11/3(火)(宮観ホテル)河野しゅんじ県政報告会について

林芳正農林水産大臣を時局講演会の講師に招き開催する県政報告会で、県医師連盟として協力することが承認された。

2. 羽生田たかし参議院議員の国政報告会及び懇談会について

羽生田たかし参議院議員の要請を受け、10月27日(火)に一部県医師会の行事予定を変更し、国政報告会及び懇談会を開催することが承認された。

##### (報告事項)

- 9/30(水)(宮観ホテル)三師会懇談会について

#### 平成27年10月13日(火)第8回全理事協議会

#### 医師会関係

##### (議決事項)

1. 10/21(水)(福岡)医療安全に関するワークショップの開催について

医療の安全性の向上を目的に、「新たな医

療事故調査制度を踏まえた院内調査のあり方」をテーマに開催される九州厚生局主催のワークショップで、参加を希望する役員は事務局に申し出ることとなった。

2. 12/2(水)(日医)平成27年度都道府県医師会医療廃棄物担当理事連絡協議会について

水銀血圧計等の回収に関する議論及び地域包括ケア推進の観点から医療廃棄物全般の協議を行うために開催される連絡協議会で、立元常任理事がテレビ会議で参加すること並びに各都市医師会に案内することが承認された。

3. 後援・共催名義等使用許可について

①12/26(土)(JA-AZM)日本医療マネジメント学会第9回宮崎県支部学術集会後援許可のお願いについて

→「職種間連携とチーム医療の今～何ができるようになって、何がまだできないのか～」をメインテーマに開催される学術集会で、名義後援を行うことが承認された。

4. 平成28年2/13(土)・14日(日医)平成27年度日本医師会医療情報システム協議会の開催について

『IT時代における地域医療連携のあり方～「医療介護連携」「医療等ID」について～』をメインテーマに開催される協議会で、富田副会長と荒木常任理事が出席することが承認された。

5. 11/5(木)県民一斉防災行動訓練「みやざきシェイクアウト」への協力について

南海トラフ巨大地震等の地震災害に対する県民の防災意識の向上を図るために開催される簡易型の訓練で、医療機関を含めた関係機関への周知活動及び訓練に協力することが承認された。

##### (報告事項)

1. 週間報告について
2. 10/7(水)(ニューウェルシティ宮崎)みやざき愛の献血運動推進県民大会について

3. 10/10(土)(ニューウェルシティ宮崎)宮崎江南病院創立60周年記念講演会・記念式典及び祝賀会について
4. 10/9(金)(日医)日医勤務医委員会について
5. 10/9(金)(ホテルメリージュ)小児救急医療電話相談事業運営協議会について
6. 9/30(水)(宮崎労働局)労災診療指導委員会について
7. 9/30(水)(県医)健康スポーツ医学委員会について
8. 10/1(木)・2(金)(日医)日医社会保険指導者講習会について

## 宮崎県医師会メーリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA通信」と「会員交流用メーリングリスト」の2本立てでのメーリングリストの運用をしています。

### ◆MMA通信

目的：県医師会から会員への情報提供(各種通知文書、研修会の案内等)

対象：会員本人、医療機関代表のアドレスなど

### ◆会員交流用メーリングリスト

目的：会員同士の意見交換、会員からの情報提供

対象：会員本人のみ

災害が発生した場合、情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

お問い合わせ先：宮崎県医師会 地域医療課  
TEL 0985-22-5118

## 宮崎県医師会医療情報コーナー

県医師会館1階の「医療情報コーナー」では、分かりやすい医療や介護の本、闘病記のほか、難病・認知症・健康増進や子育てに役立つ本・雑誌・DVDなどを幅広く取り揃えています。県民の皆様への貸出もしておりますので、お気軽にお立ち寄りください。パソコン情報検索、ビデオ・DVDの視聴もできます。

開室時間：月～金曜日 10：00～19：00、土曜日 10：00～18：00

休館日：日曜・祝日、12月29日～1月3日、8月14～15日、特別整理期間(3日間)

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地  
TEL 0985-22-5118 E-mail: tosho@miyazaki.med.or.jp

# 県 医 の 動 き

(10月)

|    |                                                                                                                                            |    |                                                                                                                                                                                  |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | (日医)日医社会保険指導者講習会(上田理事他)<br>(日医)日医医療秘書認定試験委員会(富田副会長)<br>県産婦人科医会献金委員会(濱田副会長)                                                                 | 18 | (日医)日医「2020.30」推進懇話会<br>(荒木常任理事他)                                                                                                                                                |
| 2  | (日医)日医社会保険指導者講習会(上田理事他)<br>治験セミナー(TV会議)(会長他)<br>(日南保健所)日南串間地域医療構想調整会議<br>(池井常任理事)                                                          | 19 | 公明党県本部政策要望懇談会(河野委員長他)<br>医療従事者向け認知症対応力向上研修(TV会議)<br>(金丸常任理事)<br>在宅医療研修会企画小委員会(牛谷常任理事)<br>健康教育委員会(濱田副会長他)                                                                         |
| 3  | (長崎)九医連医療事故調査制度担当理事連絡協議会(会長他)<br>県警察医会総会・特別講演会(高村常任理事)<br>母体保護法指定医師研修会<br>(長崎)九医連常任委員会(会長)<br>(長崎)九医連各種協議会(富田副会長他)<br>(長崎)九医連各種協議会報告会(会長他) | 20 | 宮崎大学大学院医学獣医学総合研究科外部評価<br>(訪問調査)(会長)<br>県総合防災訓練研究会(小牧常任理事)<br>医協打合せ会(立元副理事長)<br>第18回常任理事協議会(会長他)                                                                                  |
| 5  | 医師国保組合理事会(秦理事長他)                                                                                                                           | 21 | 都道府県医師会学校保健担当理事連絡協議会<br>(日医TV会議参加)(高村常任理事)                                                                                                                                       |
| 6  | 治験審査委員会(富田副会長他)<br>第17回常任理事協議会(会長他)                                                                                                        | 22 | 県監査事務局監査<br>(日医)日医医療IT委員会(荒木常任理事)                                                                                                                                                |
| 7  | みやざき愛の献血運動推進県民大会(会長)                                                                                                                       | 23 | (新富町文化会館)県精神保健福祉大会(会長)<br>医療安全対策セミナー(TV会議)(富田理事長他)<br>宮崎市郡医師会10月例会並びにしのめ医学会<br>特別講演会(会長)<br>女性医師事業打合せ会(荒木常任理事他)                                                                  |
| 8  | 県産婦人科医会常任理事会(濱田副会長他)                                                                                                                       | 24 | (秋田)全国医師会勤務医部会連絡協議会<br>(上田理事他)<br>学校医部会総会・医学会(会長他)<br>病院部会・医療法人部会合同研修会                                                                                                           |
| 9  | (日医)日医勤務医委員会(金丸常任理事)<br>小児救急医療電話相談事業運営協議会<br>(高村常任理事他)                                                                                     | 25 | (東京)唐澤祥人先生旭日大綬章受章祝賀会(会長)                                                                                                                                                         |
| 10 | 産業医研修会(実地)(佐々木常任理事)<br>(下関)九州医師協同組合連合会通常総会<br>(富田理事長)<br>宮崎江南病院創立60周年記念講演会・記念式典<br>及び祝賀会(会長)                                               | 26 | 広報委員会(荒木常任理事他)<br>県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会<br>(金丸常任理事)                                                                                                                                |
| 11 | (下関)九州医師協同組合連合会通常総会                                                                                                                        | 27 | 県地域医療構想策定委員会(富田副会長他)<br>九州地方社会保険医療協議会宮崎部会<br>(濱田副会長)<br>医協理事会(富田理事長他)<br>第9回全理事協議会(会長他)<br>医協理事・運営委員会合同協議会(会長他)<br>羽生田たかし参議院議員国政報告会<br>(河野委員長他)<br>羽生田たかし参議院議員を囲む懇談会<br>(河野委員長他) |
| 13 | 第8回全理事協議会(会長他)<br>宮崎大学医学部教授等と県医師会役員等との懇談会(会長他)                                                                                             | 28 | 労災診療指導委員会(川野理事)<br>県産業保健連絡協議会等(会長他)                                                                                                                                              |
| 14 | 地域医療現場における働きやすい環境を考える<br>会検討会(荒木常任理事)<br>(日医)日医地域医療対策委員会(富田副会長)<br>支払基金幹事会(会長)<br>県内科医会学術委員会(小牧常任理事)                                       | 29 | 社会保険医療担当者(医科)の個別指導<br>(佐々木常任理事)<br>産業医研修会                                                                                                                                        |
| 15 | (日医)産業保健活動推進全国会議<br>(佐々木常任理事)<br>社会保険医療担当者(医科)の個別指導<br>(立元常任理事)<br>広報委員会(荒木常任理事他)                                                          | 30 | (大阪)水銀血圧計等回収セミナー(立元常任理事)<br>(日医)日医医療秘書認定試験委員会(富田副会長)<br>県産婦人科医会献金委員会(濱田副会長)                                                                                                      |
| 16 | (鳥取)全国医師国保組合連合会代表者会<br>(鳥取)全国医師国保組合連合会全体協議会<br>(佐々木理事)<br>自由民主党宮崎県第一選挙区支部総会<br>(河野委員長)<br>情報システム小委員会(富田副会長他)                               | 31 | 女性医師支援センター事業九州ブロック会議<br>(会長他)                                                                                                                                                    |
| 17 | 県医師協同組合創立30周年記念式典<br>(富田理事長他)                                                                                                              |    |                                                                                                                                                                                  |

全国医師協同組合連合会/全国医師休診共済会  
 団体所得補償保険のご案内

# 突然の病気やケガで先生が 倒れてしまったら…?

万一休診せざるを得なくなったら、  
こんなことが心配ではないですか？



私を頼ってくれる  
大切な患者さんに  
迷惑をかけてしまう…

従業員にも  
負担をかけてしまう…



先生にお世話になっている  
皆さまにご負担やご迷惑を  
かけてしまいます。

家族に不安な思いを  
させてしまう…

でも  
大丈夫!

## 団体所得補償保険では先生のご不安を解決します!!

「団体所得補償保険」は、万一先生が病気やケガで就業不能となった場合に備えた保険です。医療保険などでは補償されない医師の指示による自宅療養期間についても収入減を補償します。



こんな出費を  
補います!

● 月々の生活費



● 就業不能時の  
従業員給与



● クリニックの  
ローンや  
リース料など  
の必要経費



● 代診医  
雇い入れ  
費用



■ 40歳 ■ 入院初期費用特約(5万円) / 精神障害拡張補償特約 / 天災危険補償特約 セット ■ 保険期間 1年 ■ 対象期間 1年 ■ 支払対象外期間 4日 ■ 職種別1級

保険金額月額

50万円

保険料月額 (団体割引 30%)

8,815円

本  
制  
度  
の  
特  
長

### ◆ 病気やケガによる就業不能時の収入減を補償

- 病気やケガによる入院時はもちろん、医師の指示による自宅療養による就業不能時も補償します。
- 業務中・業務外、国内・国外の別を問いません。

### ◆ 手続きカンタン 健康状態に関する告知のみでご加入OK

※告知された内容によっては、ご加入いただけない場合や条件付きでのご加入となる場合があります。

### ◆ 法人でもご加入できます!

(税務処理一例) <個人でご加入の場合> 介護医療保険料控除の対象となります。(所得税: 最高4万円控除)  
 <法人でご加入の場合> 契約者=法人、被保険者=役員、保険金受取人=法人  
 の場合過大な報酬でなければ損金算入可能です。

※実際の税務処理は税理士にお問い合わせください。なお今後法改正により変更になる可能性があります。(平成26年6月現在)

### ◆ 団体割引30%適用

団体割引30%が適用され、個人でご加入されるよりお得です!

### ◆ 楽しい無事故戻し返れい

毎年の保険期間で、保険金のご請求がない場合は保険料の20%をお返しします。(中途脱退の場合、返れい金はありません。)

ご加入は随時受付しております。詳しい資料等の送付をご希望の場合は、取扱代理店までお問合せください。

このチラシは全国医師協同組合連合会および全国医師休診共済会の団体所得補償保険の概要を説明したものです。詳細については下記までお問い合わせください。

● お問い合わせ先

【取扱代理店】

宮崎県医師協同組合

〒880-0023 宮崎県宮崎市和知川原1-101

TEL 0985-23-9100 FAX 0985-23-9179

(受付時間: 平日午前9時から午後5時30分まで)

【引受保険会社】

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

宮崎支店 法人支社

〒880-0805 宮崎県宮崎市橘通東5-3-10

TEL 0985-27-8351 FAX 0985-26-6112

(受付時間: 平日の午前9時から午後5時まで)

損害保険ジャパン日本興亜株式会社は、損保ジャパンと日本興亜損保が2014年9月1日に合併して誕生した会社です。

## 『保険管理表』 作成サービスのご案内

〈ご希望される方向けの無料サービスです〉

宮崎県医師協同組合では、ご契約されている保険(含む共済など)の一元管理ができますよう、組合員の先生方の保険管理表を無料で作成いたします。

**今まで、まとめることが出来なかった** たくさんの保険証券を(株)リスクマネジメント・ラボラトリー社が管理表として一覧にまとめ、ご加入内容についてアドバイスをさせていただくサービスです。

### メリット① ご家族のどなたが見ても簡単に保障内容の把握が可能！

管理表を作成することで、ご家族や医療法人で加入している様々な保険を、「一覧表」と「図表」によってダブルで確認できるので、どんな保険に加入しているのか、それぞれの保険はどんな内容になっているのかが、簡単に把握できます。

### メリット② 保障内容を整理することで、保障の重複などが確認出来ます！

漠然としていた保障内容が明確になることで、保障内容の重複や二重に合わない保険の存在が確認でき、場合によっては、それらを整理することで保険料削減等にも繋がります。

### メリット③ 万が一の際、保険金の請求漏れがなくなります！

個人契約・法人契約・ご家族などが一目瞭然となり、万が一の際にどこの保険会社に請求すればよいか明確になります。また、保険会社への請求漏れ防止に役立ちます。

分かりにくい保険証券を理解し分析するためには専門知識が必要となりますので、宮崎県医師協同組合と業務提携をしています「(株)リスクマネジメント・ラボラトリー社」の協力を得て管理表の作成サービスを無料で行うことにしました。

なお、管理表作成サービスについては、個人情報保護の観点から細心の注意を払い、委託先に厳正なる守秘義務を課しております。

### 「保険管理表」申込書

|        |  |      |  |
|--------|--|------|--|
| ご住所    |  |      |  |
| 医療機関名  |  | 法人名  |  |
| ご担当者氏名 |  | ご連絡先 |  |

お申し込みは  
FAX (0985) 23 - 9179

宮崎県医師協同組合 担当:大野・岩村  
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地  
TEL (0985) 23-9100 FAX (0985) 23-9179

《保険管理表作成サービス担当委託先》  
(株)リスクマネジメント・ラボラトリー  
担当:南・甲斐・長尾・花田  
TEL (0985) 31-5655 FAX (0985) 65-5657

## 追悼のことば

延岡市医師会

北 国 秀 一 先生

(大正15年8月13日生 89歳)

## 弔 辞

本日、亡き北国秀一先生のご葬儀が執り行われるにあたり、延岡市医師会を代表いたしまして、謹んで哀悼の意を表し、お別れの言葉を申し上げます。



先生は、ご病気で療養をされておられるとは聞いておりましたが、20日の夜、お亡くなりになったとの知らせが黒木病院の牧野先生より入り、只々驚き、そして今は先生を失った悲しみと、さみしさを申し上げる言葉もございません。

ましてや、ご家族をはじめ、ご遺族の方々、先生を慕われる多くの皆様方のお悲しみは、如何ばかりかとお察し申し上げ、お慰めの言葉もなく、衷心よりお悔やみ申し上げる次第でございます。

先生は、大正15年8月13日、鹿児島県の阿久根市でお生まれになりました。昭和24年、九州大学医学部医学科をご卒業され、その後、九州大学医学部附属病院第二内科へ入局、第二内科でご勤務をなされておられました。

昭和29年、延岡の地へ参られ、林医院でご勤務となり、その後、地域住民の切なる希望にお応えになられ、延岡市萩町に林病院の院長として診療に当たられておられました。当時、時間外の救急患者の受入れを、率先して行われるなど地域医療向上に献身的に寄与されました。

また先生は、温厚かつ誠実なお人柄であり、

患者さんの信頼も厚く、地域住民の健康管理、保健衛生の指導に尽力しながら、地域医療について深い関心と信念を持ち、患者様から絶大な信頼と尊敬を受けておられました。病院を閉院後も勤務医として精力的に診療に従事されておられました。

先生のこれまでの功績として、昭和50年に学校保健、学校安全に関する功労といたしまして、延岡市学校保健会会長賞、平成8年には、県教育長表彰をお受けになられ、さらには救急医療事業功労といたしまして、昭和60年に県知事表彰、平成7年には厚生大臣表彰など、輝かしい賞を授与されておられます。

先生には、まだまだ遣り残したことがたくさんおありのことと存じますが、先生も生前からご覧のように、ご子息の秀文先生が、このように立派にご活躍され、今後も医師として、地域医療のために貢献されますものと信じております。

本日、先生とお別れするにあたり、先生がこれまで地域医療に尽くしてこられたご功績を忘れることなく、会員一同地域医療の発展向上に一層の努力をして行く所存でございます。

先生の温顔に再び接することはできませんが、ご家族をはじめ、ご遺族の皆様のご安泰をお見守りいただきますようお願い申し上げます。黄泉路が平穏でありますことを心よりお祈りし、お別れの言葉といたします。

北国秀一先生、どうぞ安らかにお眠りください。

平成27年9月23日

延岡市医師会

会長 吉田建世

## 追悼のことば

都城市北諸県郡医師会

やま した けん いち  
山下兼一先生

(昭和36年2月14日生 54歳)

### 弔 辞

本日ここに、今は亡き山下兼一先生のご葬儀が執り行われるにあたり、都城市北諸県郡医師会を代表いたしまして、謹んで先生のご霊前に哀悼の意を表し、お別れの言葉を申し上げます。



先生は、これまで非常にお元気でおられ、地域医療一筋にご活躍をされてこられました。先週の理事会でも普段と変わらないご様子の先生にお会いしたばかりでした。

先生が10月12日の朝に、都城市郡医師会病院に救急搬送されたとの一報が届き、私ども会員一同、一刻も早いご回復を念じておりました。

しかし、去る10月12日の午前10時59分、当医師会病院の医療スタッフの懸命な治療やご家族の手厚い看護にもかかわらず、先生がご逝去されたとの突然の訃報を受け、にわかには信じられず、ただただ、驚く他ありませんでした。

先生急逝の知らせは、程なく全会員に伝えられ、会員一同、深い悲しみに包まれているところでございます。本日、こうして先生のご霊前にお別れの言葉を捧げることになるうとは、夢想だにいたしませんでした。誠に痛恨の念に絶えず残念で仕方ありません。

ましてや、最愛なるご主人様を亡くされた奥様をはじめ、ご遺族の皆様方のお悲しみは、察するに余りあり、お慰めの言葉もありません。私ども医師会員一同、心より哀悼の意を表する次第でございます。

先生は、昭和36年2月14日、お姉様お一人、妹様お一人の3人兄弟の長男として、宮崎県西臼杵郡日之影町でお生まれになりました。長じて医学の道を志し、昭和60年に杏林大学医学部をご卒業され、同年6月より、順天堂大学医学部外科学教室にて実地修練を積まれ、医師としてのスタートをきられました。その後、平成4年に越谷市立病院外科医長を拝命、翌平成5年には順天堂大学医学部第一外科学教室助手として研鑽を積まれました。同年10月には医学博士の学位も取得されておられます。

そして、同年12月には、地域医療に貢献されるべく、ご実家である山下医院に帰られ、平成7年には、お父様の後を継がれ院長に就任されておられます。

以来、医師として今日まで、永年にわたり、地域住民の医療、保健、福祉の向上にご尽力されてこられました。

先生は、私ども医師会活動におきましても、多忙な診療の傍ら、救急医療委員として平成16年から8年間、引き続き、都城市北諸県郡医師会理事を平成24年4月から現在までお引き受けいただき、今春、新築移転いたしました「都城夜間急病センター」の担当理事として、昼夜を問わず、地域の救急医療に多大なるご尽力をいただきました。

また、当医師会が毎年、1冊発行しております歴史ある「医苑」の編集委員を平成8年から16年間の永きにわたりお引き受けいただきました。

先生は、看護師の養成にも積極的に取り組まれ、平成6年から現在まで20年以上もの間、都城看護専門学校の講師を務め、更に、副主事として平成8年から8年間、引き続き、主事として平成16年から8年間、当看護専門学校の運営にも多大なるご尽力をいただきました。

また、三股西小学校の学校医を平成16年から7年間、南九州大学の校医を平成21年から現在まで務められ、児童生徒等の健康管理、保健衛生に精力的に取り組まれました。

一方、診療を離れると先生は読書がお好きで「司馬遼太郎」の小説をこよなく愛されていたと伺っております。また、歴史にもお詳しく、歴史番組を録画しては、奥様に説明されていたともお聞きいたしております。

先生には、お子様が4人おられますが、奥様も羨む程、誰にでも分け隔てなく優しく真摯に接する先生は、ご家庭でも非常に子煩悩なお父様だったと伺っております。

先生、これからは、遙か彼方より、2年前に亡くなられたお父上の博先生と共に、ご家族の安泰とご繁栄、お子様の成長、そして、医師会の発展を末永く見守りください。

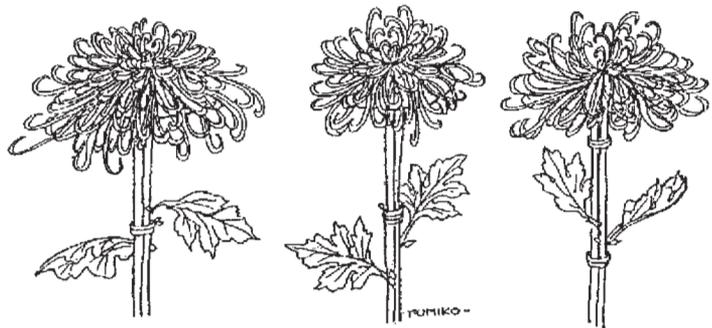
最後に、先生がこれまで地域医療に捧げられましたご功績に対し、深い尊敬と感謝の念を表し、先生のご冥福を心よりお祈り申し上げ、お別れの言葉といたします。

平成27年10月15日

一般社団法人

都城市北諸県郡医師会

会長 飯 田 正 幸



## ニューメンバー

新入会員と新規開業会員をご紹介します。

宮崎市  
ふくどめ耳鼻咽喉科クリニック

ふく どめ しん じ  
福 留 真 二



**住 所** 宮崎市

**専門科目** 耳鼻咽喉科

**家族構成** 妻，次女(中3)，  
長男(小6)

**略 歴**

昭和63年 県立宮崎西高校卒業

平成12年 宮崎医科大学卒業

同 年 宮崎医大耳鼻咽喉科入局

平成27年 ふくどめ耳鼻咽喉科クリ  
ニック開業

**趣 味** ゴルフ，旅行

**自己紹介** 平成27年9月1日，恒久  
に開院させていただきました。宮崎江  
南病院の近くになります。この周囲に  
は近年いろいろな科のクリニックが増  
えてきており，連携し合っって幅広い患  
者様に対応できるよう頑張っております。  
つい先日もこの周囲の先生方で懇  
親会を開き，情報交換とともに結束を  
深めてきたところであります。「269号  
線バイパス沿いクリニック」の呼び名  
で力を合わせて頑張っていきますので，  
今後ともよろしく願いいたします。

小林市  
池井病院

とみ やま ゆみ こ  
富 山 由美子



**住 所** 小林市

**専門科目** 呼吸器内科

**略 歴**

昭和53年 宮崎県立小林高等学校卒業

平成2年 鹿児島大学医学部卒業

同 年 鹿児島大学第3内科入局

平成19年4月 国立病院機構南九州  
病院勤務

平成27年10月 池井病院勤務

**趣 味** 息子の少年サッカーの付  
き添い

**自己紹介** 小林で生まれて，高校卒  
業まで，小林で過ごしました。医師免  
許を取得後，25年間，鹿児島県，沖縄  
県，長崎県の病院で勤務，このたび，  
平成27年10月1日より，地元小林市の  
池井病院で勤務させていただけること  
となりました。まだまだ，日々，ご指  
導をいただかなければならず，どうか，  
よろしく願いいたします。

## ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

平成27年10月15日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらしを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 5人

1) 男性医師求職登録数 5人 (人)

| 希望診療科目 | 求職数 | 常勤 | 非常勤 |
|--------|-----|----|-----|
| 内 科    | 4   | 3  | 1   |
| 外 科    | 1   | 1  | 0   |

2) 女性医師求職登録数 0人

2. 斡旋成立件数 51人 (人)

|            | 男性医師 | 女性医師 | 合計 |
|------------|------|------|----|
| 平成27年度     | 2    | 0    | 2  |
| 平成16年度から累計 | 37   | 14   | 51 |

3. 求人登録 91件 327人 (人)

| 募集診療科目     | 求人数 | 常勤  | 非常勤 |
|------------|-----|-----|-----|
| 内 科        | 110 | 82  | 28  |
| 外 科        | 28  | 24  | 4   |
| 整形外科       | 25  | 22  | 3   |
| 精神科        | 19  | 17  | 2   |
| 循環器科       | 8   | 7   | 1   |
| 脳神経外科      | 12  | 9   | 3   |
| 消化器内科      | 12  | 10  | 2   |
| 麻 酔 科      | 12  | 9   | 3   |
| 眼 科        | 6   | 5   | 1   |
| 放射線科       | 10  | 9   | 1   |
| 小 児 科      | 1   | 0   | 1   |
| 呼吸器内科      | 10  | 9   | 1   |
| リハビリテーション科 | 6   | 5   | 1   |
| 総合診療科・内科   | 7   | 6   | 1   |
| 神経内科       | 7   | 6   | 1   |
| 救命救急科      | 7   | 7   | —   |
| 健 診        | 3   | 1   | 2   |
| 産 婦 人 科    | 1   | 1   | —   |
| 泌尿器科       | 1   | —   | 1   |
| 検 診        | 4   | 2   | 2   |
| 皮 膚 科      | 3   | 2   | 1   |
| 人工透析       | 4   | 4   | —   |
| 在宅担当医      | 1   | 1   | —   |
| そ の 他      | 30  | 26  | 4   |
| 合 計        | 327 | 264 | 63  |

## 求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

| 登録番号   | 施設名                       | 所在地 | 募集診療科                          | 求人数 | 勤務形態   |
|--------|---------------------------|-----|--------------------------------|-----|--------|
| 160011 | 赤十字血液センター                 | 宮崎市 | 検診                             | 3   | 常勤・非常勤 |
| 160013 | 医)三晴会 金丸脳神経外科病院           | 宮崎市 | 脳外,整,放,麻,内                     | 10  | 常勤・非常勤 |
| 160017 | 医)プレストピア プレストピア宮崎病院       | 宮崎市 | 乳外,放,内,麻                       | 3   | 常勤     |
| 160020 | 財)弘潤会 野崎病院                | 宮崎市 | 精,内                            | 2   | 常勤     |
| 160031 | 社医)同心会 古賀総合病院             | 宮崎市 | 呼,神内,眼,総診,呼外,<br>臨病,乳外,整外,麻酔   | 11  | 常勤     |
| 160033 | 医)如月会 若草病院                | 宮崎市 | 精                              | 2   | 常勤     |
| 170046 | 医)社団善仁会 市民の森病院            | 宮崎市 | 消内,内分泌内,呼,リウマチ,<br>神経内,健診      | 6   | 常勤・非常勤 |
| 170048 | 医)慶明会 けいめい記念病院            | 国富町 | 内,放,在宅医療                       | 3   | 常勤     |
| 180082 | 国立病院機構宮崎東病院               | 宮崎市 | 内,神内,整,消内                      | 5   | 常勤     |
| 190087 | 宮崎市郡医師会病院                 | 宮崎市 | 内(緩和ケア),消内,呼内,<br>総診           | 8   | 常勤     |
| 190094 | 医)耕和会 迫田病院                | 宮崎市 | 内,外,整                          | 8   | 常勤・非常勤 |
| 190095 | 医)慶明会 宮崎中央眼科病院            | 宮崎市 | 眼                              | 1   | 常勤     |
| 190096 | 医)晴緑会 宮崎医療センター病院          | 宮崎市 | 消化,麻,循,リハビリ                    | 5   | 常勤・非常勤 |
| 200104 | 医)社団善仁会 宮崎善仁会病院           | 宮崎市 | 内,外,救急,呼外,婦人,整,<br>麻           | 7   | 常勤     |
| 200105 | 医)誠友会 南部病院                | 宮崎市 | 内,外,放                          | 3   | 常勤     |
| 210110 | 医)幸秀会 大江整形外科病院            | 宮崎市 | 整                              | 1   | 常勤     |
| 210118 | 慈英病院                      | 宮崎市 | 内,整,リハビリ                       | 7   | 常勤・非常勤 |
| 230128 | 医)真愛会 高宮病院                | 宮崎市 | 内,精                            | 2   | 常勤     |
| 230132 | 医)康友会 青島クリニック             | 宮崎市 | 内                              | 1   | 常勤     |
| 230134 | 医)慈光会 宮崎若久病院              | 宮崎市 | 精                              | 1   | 常勤     |
| 230139 | 介護老人保健施設サンフローラみやざき        | 国富町 | 内,外                            | 2   | 常勤     |
| 230143 | 医)社団孝尋会 上田脳神経外科           | 宮崎市 | 脳外,内                           | 2   | 常勤     |
| 230144 | 宮崎生協病院                    | 宮崎市 | 総内,呼吸内,消化器内,<br>健診             | 8   | 常勤・非常勤 |
| 230146 | 財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院 | 宮崎市 | 内,神内,外,整外,脳外,<br>リハ,麻酔,救急,緩和ケア | 10  | 常勤     |
| 230148 | 医)コムロ美容外科                 | 宮崎市 | 美外,形成外,外,麻酔                    | 8   | 常勤・非常勤 |
| 230161 | 医)建心会 滝口内科医院              | 宮崎市 | 内                              | 2   | 常勤・非常勤 |
| 230164 | 宮崎県保健所                    | 宮崎市 | 公衆衛生                           | 3   | 常勤     |
| 230165 | 野崎病院健診センター                | 宮崎市 | 健診                             | 1   | 非常勤    |
| 230171 | 医)いなほ会日高医院                | 宮崎市 | 内                              | 1   | 非常勤    |
| 230174 | 医)常聖会 巴外科内科               | 宮崎市 | 内                              | 1   | 非常勤    |
| 230175 | 社会福祉法人 キャンパスの会            | 宮崎市 | 内,小,整                          | 1   | 常勤     |
| 230177 | 医)社団尚成会 近間病院              | 宮崎市 | 内,消内,消外,放(いずれか)                | 1   | 常勤・非常勤 |
| 160008 | 医)正立会 黒松病院                | 都城市 | 泌                              | 1   | 非常勤    |
| 160010 | 特医)敬和会 戸嶋病院               | 都城市 | 内,消内,整,神内                      | 7   | 常勤・非常勤 |
| 160018 | 医)宏仁会 メディカルシティ東部病院        | 都城市 | 内,救急,放射,脳外,外,<br>眼,透内,皮膚       | 8   | 常勤     |
| 170057 | 医)清陵会 隅病院                 | 都城市 | 内,外,整                          | 3   | 常勤     |
| 180064 | 国立病院機構都城医療センター            | 都城市 | 内,呼内,総合診療                      | 4   | 常勤     |
| 180081 | 医)恵心会 永田病院                | 都城市 | 精                              | 1   | 常勤     |
| 190092 | 都城市郡医師会病院                 | 都城市 | 内,呼                            | 6   | 常勤     |
| 210114 | 藤元病院                      | 都城市 | 精,内                            | 3   | 常勤     |
| 230127 | 医)倫生会 三州病院                | 都城市 | 外,内,整                          | 7   | 常勤・非常勤 |
| 230133 | 介護老人保健施設すこやか苑             | 都城市 | 不問                             | 1   | 常勤     |

| 登録番号   | 施設名                   | 所在地   | 募集診療科                     | 求人数 | 勤務形態   |
|--------|-----------------------|-------|---------------------------|-----|--------|
| 230137 | 医)宏仁会 海老原内科           | 都 城 市 | 内                         | 1   | 常勤     |
| 230142 | 医)魁成会 宮永病院            | 都 城 市 | 内,リハビリ                    | 2   | 常勤     |
| 230153 | 都城健康サービスセンター          | 都 城 市 | 内                         | 1   | 非常勤    |
| 230157 | 医)一誠会 都城新生病院          | 都 城 市 | 精,内                       | 4   | 常勤・非常勤 |
| 230162 | 藤元総合病院                | 都 城 市 | 内,透,循内,救急,放射,<br>病理,呼吸内,精 | 16  | 常勤     |
| 230172 | 医)静雄会 藤元上町病院          | 都 城 市 | 内                         | 4   | 常勤・非常勤 |
| 230176 | 一社)藤元メディカルシステムグリーンホーム | 三 股 町 | 内                         | 1   | 常勤     |
| 160012 | 医)伸和会 共立病院            | 延 岡 市 | 外,整,放,内                   | 6   | 常勤     |
| 160021 | 医)建悠会 吉田病院            | 延 岡 市 | 精                         | 3   | 常勤・非常勤 |
| 160034 | 特医)健寿会 黒木病院           | 延 岡 市 | 外,内,緩ケア                   | 6   | 常勤・非常勤 |
| 190086 | 早田病院                  | 延 岡 市 | 内                         | 1   | 常勤     |
| 200100 | 医)育生会 井上病院            | 延 岡 市 | 産婦,内                      | 2   | 常勤     |
| 200102 | 延岡市医師会病院              | 延 岡 市 | 消内,消外,内                   | 5   | 常勤     |
| 210109 | 延岡市夜間急病センター           | 延 岡 市 | 内,小                       | 2   | 非常勤    |
| 230151 | 介護老人保健施設エクセルライフ       | 延 岡 市 | 内                         | 1   | 常勤     |
| 230156 | 医)中心会 野村病院            | 延 岡 市 | 内,外                       | 2   | 常勤     |
| 230163 | 堺胃腸科内科クリニック           | 延 岡 市 | 内                         | 1   | 非常勤    |
| 160039 | 医)誠和会 和田病院            | 日 向 市 | 外,内,整,神内                  | 6   | 常勤     |
| 210111 | 宮崎県済生会 日向病院           | 門 川 町 | 内                         | 3   | 常勤     |
| 230147 | 美郷町国民健康保険西郷病院         | 美 郷 町 | 内,整                       | 2   | 常勤     |
| 230152 | 美郷町国民健康保険南郷診療所        | 美 郷 町 | 内                         | 1   | 常勤     |
| 230160 | 日向市立東郷病院              | 日 向 市 | 内,整                       | 2   | 常勤     |
| 160006 | 都農町国保病院               | 都 農 町 | 内,放,外                     | 3   | 常勤     |
| 160023 | 医)宏仁会 海老原総合病院         | 高 鍋 町 | 整,内,総合診療,麻,眼,<br>健診,循,脳   | 10  | 常勤・非常勤 |
| 230170 | 介護老人保健施設なでしこ園         | 高 鍋 町 | 内                         | 1   | 常勤     |
| 160024 | 医)隆徳会 鶴田病院            | 西 都 市 | 内,外                       | 2   | 常勤     |
| 150002 | 医)慶明会 おび中央病院          | 日 南 市 | 内                         | 4   | 常勤・非常勤 |
| 150003 | 医)同仁会 谷口病院            | 日 南 市 | 精                         | 1   | 常勤     |
| 160022 | 医)愛鍼会 山元病院            | 日 南 市 | 内                         | 2   | 常勤     |
| 160037 | 医)十善会 県南病院            | 串 間 市 | 精,内(いずれか)                 | 1   | 常勤     |
| 170047 | 日南市立中部病院              | 日 南 市 | 内,外,整,リハビリ,在宅診療           | 5   | 常勤     |
| 180071 | 串間市民病院                | 串 間 市 | 内,外                       | 2   | 常勤     |
| 230138 | 小玉共立外科                | 日 南 市 | 不問                        | 2   | 常勤・非常勤 |
| 230149 | 介護老人保健施設おびの里          | 日 南 市 | 内                         | 2   | 常勤・非常勤 |
| 230166 | 医)秀英会 英医院             | 串 間 市 | 内                         | 1   | 常勤     |
| 230168 | 医)月陽会 きよひで内科クリニック     | 日 南 市 | 内                         | 7   | 常勤・非常勤 |
| 160019 | 医)相愛会 桑原記念病院          | 小 林 市 | 内,皮膚                      | 4   | 常勤・非常勤 |
| 170043 | 医)和芳会 小林中央眼科          | 小 林 市 | 眼                         | 2   | 常勤・非常勤 |
| 180067 | 小林市立病院                | 小 林 市 | 救急,総合診療,放                 | 5   | 常勤     |
| 180076 | 医)友愛会 園田病院            | 小 林 市 | 外,循内,整,脳外                 | 9   | 常勤・非常勤 |
| 190090 | 特医)浩然会 内村病院           | 小 林 市 | 精,内                       | 3   | 常勤     |
| 190091 | 医)友愛会 野尻中央病院          | 小 林 市 | 整,内                       | 4   | 常勤・非常勤 |
| 230155 | 医)三和会 池田病院            | 小 林 市 | 脳外,内,放射,外,リハビリ            | 6   | 常勤・非常勤 |
| 230167 | 介護老人保健施設さわやかセンター      | 小 林 市 | 内                         | 1   | 非常勤    |
| 230169 | 医)連理会 和田クリニック         | 小 林 市 | 内                         | 2   | 常勤     |
| 230173 | 医)高千穂会 大森内科           | 小 林 市 | 内                         | 2   | 常勤・非常勤 |
| 170049 | 五ヶ瀬町国民健康保険病院          | 五ヶ瀬町  | 内,外                       | 2   | 常勤     |
| 180070 | 高千穂町国保病院              | 高千穂町  | 内,透                       | 3   | 常勤     |
| 190088 | 日之影町国保病院              | 日之影町  | 内,整                       | 1   | 常勤     |

## 病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成 27 年 10 月 15 日現在

|                 |                                                                                                                                              |                                         |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|
| 1. 譲渡物件         | ① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番, 2634番<br>土地のみ：2022.17㎡(593.57坪)                                                                                          | <所有者：児湯医師会員<br>(医)崧雲会 林クリニック>           |
| 2. 譲渡又は<br>賃貸物件 | ② 宮崎市永楽町223番3<br>土地：661.18㎡(200.35坪)<br>建物：鉄筋コンクリート造陸屋根 3階建<br>1階 446.78㎡ }<br>2階 440.41㎡ } 971.13㎡(294.28坪)<br>3階 83.94㎡ }<br>※別途駐車場有り(16台) | <所有者：宮崎市郡医師会員><br><(医)社団篤信会<br>西村産婦人科跡> |
| 3. 経営譲渡         | ③ 小林市南西方49番地 1<br>土地：1,991.34㎡(603.43坪)<br>建物：鉄筋コンクリート造陸屋根 2階建<br>1階 471.41㎡ }<br>2階 638.35㎡ } 1,109.76㎡(336.29坪)<br>※駐車場有り(30台)             | <所有者：西諸医師会員><br><(医)社団 産婦人科<br>生駒クリニック> |

### ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

### ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目101番地(宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail : isikyouto@miyazaki.med.or.jp

あなたできますか？（解答）

|   |   |      |   |   |   |      |      |   |    |    |
|---|---|------|---|---|---|------|------|---|----|----|
| 1 | 2 | 3    | 4 | 5 | 6 | 7    | 8    | 9 | 10 | 11 |
| b | a | c, e | d | e | d | b, d | a, c | c | e  | c  |

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成27年10月27日現在

| 11 |   | 月                                                                                                                  |    |   |                                                                                                                                                    |             |
|----|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 1  | 日 | 13:00 (日医)日医設立記念医学大会                                                                                               | 16 | 月 | 13:30 宮大経営協議会・学長選考会議<br>14:00 労災診療費算定実務研修会<br>19:30 広報委員会                                                                                          |             |
| 2  | 月 | 18:30 宮崎銀行との懇談会                                                                                                    |    |   |                                                                                                                                                    |             |
| 3  | 火 | (文化の日)<br>9:00 県医親善ゴルフ大会<br>14:45 河野しゅんじ県政報告会                                                                      | 17 | 火 | 13:30 児童虐待防止啓発講演会及び<br>研修会<br>18:00 医協打合せ会<br>18:30 第10回全理事協議会<br>19:20 県福祉保健部・病院局と県医師会<br>との意見交換会                                                 |             |
| 4  | 水 |                                                                                                                    |    |   |                                                                                                                                                    |             |
| 5  | 木 | 14:00 女性医師支援講座<br>19:00 産業医研修会<br>19:30 県産婦人科医会常任理事会                                                               | 18 | 水 |                                                                                                                                                    |             |
| 6  | 金 | 14:00 労災診療費算定実務研修会<br>15:00 九州ブロック初期・後期臨床研修<br>進路説明会実行委員会<br>19:00 日医社保指導者講習会復講                                    | 19 | 木 | 14:00 産業医研修会<br>14:00 (日医)日医公衆衛生委員会<br>18:30 医師協同組合会計監査<br>19:00 吉村学教授就任記念祝賀会                                                                      | ↑<br>国      |
| 7  | 土 | 9:00 ICLS指導者養成ワークショップ<br>16:00 全国医師協同組合連合会通常総会<br>16:00 県整形外科医会研修会                                                 | 20 | 金 | 19:00 広報委員会                                                                                                                                        |             |
| 8  | 日 | 8:30 ACLS研修会                                                                                                       | 21 | 土 | 14:30 産業医研修会(TV会議)                                                                                                                                 | ↑<br>保      |
| 9  | 月 | 18:30 HTLV-1母子感染対策協議会<br>19:00 県内科医会誌編集委員会                                                                         | 22 | 日 | 9:00 医療メディエーター養成研<br>修会基礎編                                                                                                                         | ↑<br>審      |
| 10 | 火 | 15:00 県医療審議会<br>17:00 西都児湯二次医療圏地域医療構想<br>調整会議<br>18:00 治験審査委員会<br>19:00 産業医研修会<br>19:00 第19回常任理事協議会                | 23 | 月 | (勤労感謝の日)<br>9:00 医療メディエーター養成研<br>修会基礎編                                                                                                             | ↑<br>社<br>査 |
| 11 | 水 | 16:00 自見はなこ日医連参与来県<br>支払基金幹事会                                                                                      | 24 | 火 | 18:15 医協理事会<br>19:00 第20回常任理事協議会                                                                                                                   | ↓<br>保      |
| 12 | 木 | 13:00 社会保険医療担当者(医科)の個別<br>指導<br>14:00 (日医)日医生命倫理懇談会<br>15:30 県認知症高齢者グループホーム<br>連絡協議会理事会<br>19:00 県感染症危機管理研修会(TV会議) | 25 | 水 | 13:30 自見はなこ日医連参与来県<br>不動産担保型生活資金審査委員会<br>15:00 労災診療指導委員会<br>15:00 宮崎大学医学部附属病院医<br>師研修管理委員会                                                         | ↓<br>審      |
| 13 | 金 | 16:00 九医連常任委員会<br>17:00 九医連臨時委員総会<br>19:00 県外科医会秋期講演会<br>19:00 産業医研修会                                              | 26 | 木 | 15:00 自見はなこ日医連参与来県<br>(日医)日医予防接種・感染<br>症危機管理対策委員会                                                                                                  | ↓<br>査      |
| 14 | 土 | 10:00 九医連委員・九州各県役員合同<br>協議会<br>13:00 九州医師会総会・医学会<br>13:30 世界糖尿病デー市民公開講座                                            | 27 | 金 | 15:00 (日医)日医医療秘書認定試<br>験委員会<br>18:00 九州地方社会保険医療協議<br>会宮崎部会                                                                                         | ↓           |
| 15 | 日 | 九医学分科会・記念行事                                                                                                        | 28 | 土 | 13:00 (日医)日医家族計画・母体保護法<br>指導者講習会<br>13:30 県産婦人科医会新生児蘇生法<br>講習会<br>13:30 県訪問看護ステーション連絡協議<br>会総会・研修会<br>15:00 九州学校検診協議会専門委員会<br>17:00 九州各県学校保健担当理事者会 |             |
|    |   |                                                                                                                    | 29 | 日 |                                                                                                                                                    |             |
|    |   |                                                                                                                    | 30 | 月 | 18:30 県医監事監査                                                                                                                                       |             |

※都合により、変更になることがあります。  
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成27年10月27日現在

|    |   | 12                                                                           |    | 月 |                                                                                                                     |    |                       |
|----|---|------------------------------------------------------------------------------|----|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----------------------|
| 1  | 火 | 18:00 治験審査委員会<br>19:00 第21回常任理事協議会                                           | 13 | 日 | 8:58 eレジフェア<br>宮崎銀行ゴルフコンペ                                                                                           |    |                       |
| 2  | 水 | 13:00 都道府県医師会医療廃棄物担<br>当理事連絡協議会(日医TV会議参加)<br>14:00 産業医研修会                    | 14 | 月 | 19:00 広報委員会<br>19:00 医師国保組合理事会<br>19:00 在宅医療研修会企画小委員会                                                               |    |                       |
|    |   |                                                                              | 15 | 火 | 19:00 第23回常任理事協議会                                                                                                   |    |                       |
| 3  | 木 | 19:00 自殺対策うつ病研修会(TV会議)<br>19:00 広報委員会<br>19:00 産業医研修会                        | 16 | 水 | 13:30 DV被害者保護支援ネットワー<br>ク会議<br>15:00 (日医)日医地域医療対策委員会                                                                |    |                       |
|    |   |                                                                              | 17 | 木 | 14:00 産業医研修会                                                                                                        |    |                       |
| 4  | 金 | 19:00 高次脳機能障がい講演会(TV会議)                                                      | 17 | 木 | 14:00 産業医研修会                                                                                                        |    |                       |
| 5  | 土 | 10:00 全国学校保健・学校医大会<br>14:30 マイナンバー制度説明会(TV会議)                                | 19 | 土 | 9:00 指導医のための教育ワーク<br>ショップ<br>15:00 生活習慣病検診従事者研修<br>会(肺・乳・胃・大腸がん<br>検診研修会)(TV会議)                                     | ↑  | 国<br>社<br>保<br>審<br>査 |
|    |   |                                                                              |    |   |                                                                                                                     |    |                       |
| 6  | 日 | 10:00 全国有床診療所連絡協議会役員会                                                        | 21 | 月 | 19:00 医師会立看護学校担当理事<br>連絡協議会                                                                                         | ↓  | 査                     |
| 7  | 月 | 19:00 生活習慣病検診従事者研修会(肺・<br>乳・胃・大腸がん検診研修会)(TV<br>会議)                           | 22 | 火 | 15:00 労災診療指導委員会<br>第11回全理事協議会                                                                                       |    |                       |
| 8  | 火 | 19:00 第22回常任理事協議会                                                            | 23 | 水 | (天皇誕生日)                                                                                                             | ↓  | 査                     |
| 9  | 水 | 14:00 国民医療を守るための総決起大会<br>16:00 支払基金幹事会                                       | 24 | 木 | 18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎<br>部会                                                                                         |    |                       |
|    |   |                                                                              | 10 | 木 | 13:30 (日医)都道府県医師会医事紛争担<br>当理事連絡協議会<br>19:00 生活習慣病検診従事者研修会(肺・<br>乳・胃・大腸がん検診研修会)(TV<br>会議)<br>19:00 広報委員会(宮崎の医療を考える会) | 25 | 金                     |
| 11 | 金 | 15:00 全国がん登録説明会(TV会議)                                                        |    |   |                                                                                                                     | 26 | 土                     |
| 12 | 土 | 13:30 産業医研修会(実地)<br>14:15 産業医研修会<br>16:00 診療報酬に関する税制講演会<br>18:00 県産婦人科医会全理事会 | 27 | 日 |                                                                                                                     |    |                       |
|    |   |                                                                              | 28 | 月 |                                                                                                                     |    |                       |
|    |   |                                                                              | 29 | 火 | (年末休業)                                                                                                              |    |                       |
|    |   |                                                                              | 30 | 水 | (年末休業)                                                                                                              |    |                       |
|    |   |                                                                              | 31 | 木 | (年末休業)                                                                                                              |    |                       |

※都合により、変更になることがあります。  
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

しています

日州医事へのご意見・ご感想をお待ち

or.jp

ご要望をお待ち  
ご提案など、忌

至事上で匿名に  
れない場合はそ

又り、  
す。

宮崎県医師会広報委員会

E - Mail : genko @ miyazaki.med.c

FAX : 0985 - 27 - 6550

TEL : 0985 - 22 - 5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・  
しています。本誌に対するご感想や、読みたい記事の  
憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州  
て紹介させていただくことがあります。掲載を希望さ  
の旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取

裏面の原稿用紙もご利用になれま

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

き  
り  
と  
り  
せ  
ん

お名前：

ご所属：

TEL：

FAX：

# 医 学 会 ・ 講 演 会

## 日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会。（胃・大腸・肺・乳）

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

| 名称・日時・場所                                                        | 演 題                                                                                              | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                        | 単位<br>CC<br>がん検診                  |
|-----------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|-----------------------------------|
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>11月5日(木)<br>19:00~21:00<br>延岡地域職業訓練<br>センター | 生涯更新(1)労働安全関係法規と関係通達の改正<br>この頃の産業保健の動向—通達と報道発表資料から—<br>西部労働衛生コンサルタント事務所代表 矢崎 武<br>生涯研修の更新研修会：2単位 | ◇共催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118<br>宮崎産業保健総合支援センター          | 単位<br>2<br>CC<br>3<br>7<br>8<br>9 |
| 延岡医学会学術<br>講演会<br>11月6日(金)<br>19:00~20:15<br>ホテルメリージュ<br>延岡     | トルバプタンの可能性を探る<br>公立陶生病院循環器内科副院長 味岡 正純                                                            | ◇共催<br>延岡医学会<br>※大塚製薬(株)<br>☎0985-24-2287<br>◇後援<br>延岡内科医会 | 単位<br>1<br>CC<br>24<br>45         |
| 宮崎県整形外科<br>医会研修会<br>11月7日(土)<br>16:00~18:00<br>県医師会館            | データをみるために必要な統計の基礎<br>宮崎県立看護大学看護学部看護学科教授<br>中尾 裕之                                                 | ◇主催<br>※宮崎県整形外科医会<br>(連絡先)<br>宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118      | 単位<br>1<br>CC<br>2<br>9           |

| 名称・日時・場所                                                                   | 演 題                                                                                                                       | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                   | 単位<br>CC<br>がん検診                   |
|----------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|
| <b>“皮膚の日”講演会</b><br>11月8日(日)<br>14:00~15:30<br>宮日会館                        | <b>忘れてほしくない, 正しく知ってほしい病気</b><br><b>—成人T細胞白血病・リンパ腫(ATL or ATLL)—</b><br>青木皮膚科医師 出盛 允啓                                      | ◇共催<br>宮崎県皮膚科医会<br>日本臨床皮膚科医会<br>◇後援<br>宮崎県医師会<br>他<br>(連絡先)<br>青木皮膚科<br>☎0985-23-2011 | 単位<br>1.5<br>CC<br>1<br>2<br>9     |
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>11月10日(火)<br>19:00~21:00<br>県医師会館              | <b>生涯専門(4)メンタルヘルス対策</b><br><b>担当者として必要なカウンセリングの基礎を身につける</b><br>産業保健相談員メンタルヘルス対策促進員<br>(産業カウンセラー) 島原 竜一<br>生涯研修の専門研修会: 2単位 | ◇共催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118<br>宮崎産業保健総合支援センター                                     | 単位<br>2<br>CC<br>1<br>6<br>8<br>12 |
| <b>西臼杵郡医師会<br/>学術講演会</b><br>11月10日(火)<br>19:00~20:30<br>高千穂町保健福祉<br>総合センター | <b>当院でのせん妄に対する取組みと向精神薬の使用意図</b><br>県立延岡病院心療内科・精神科長 北 英二郎                                                                  | ◇主催<br>※西臼杵郡医師会<br>☎0982-73-2010                                                      | 単位<br>1<br>CC<br>29<br>32          |
| <b>第2回宮崎脊椎の<br/>痛みを学ぶ会</b><br>11月11日(水)<br>19:00~20:30<br>宮崎観光ホテル          | <b>腰下肢痛に対する薬剤選択の治療指針</b><br>九州大学病院整形外科講師 播広谷 勝三                                                                           | ◇共催<br>宮崎県臨床整形外科医会<br>※ファイザー(株)<br>☎092-281-7031<br>エーザイ(株)                           | 単位<br>1.5<br>CC<br>60<br>62<br>63  |

| 名称・日時・場所                                                        | 演 題                                                                                                                    | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                             | 単位<br>CC<br>がん検診                    |
|-----------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|-------------------------------------|
| <b>第7回宮崎乾癬研究会</b><br>11月12日(木)<br>19:30~21:00<br>宮崎観光ホテル        | <b>生物学的製剤による乾癬と関節炎の治療—5年間の軌跡—</b><br>福岡大学医学部皮膚科学教授 今福 信一<br>参加費:500円                                                   | ◇共催<br>宮崎乾癬研究会<br>※田辺三菱製薬(株)<br>☎0985-32-9205                   | 単位<br>1<br>CC<br>26<br>61           |
| <b>宮崎県内科医会<br/>学術講演会</b><br>11月13日(金)<br>18:45~20:40<br>宮崎観光ホテル | <b>2型糖尿病に対するロスバスタチンの有用性</b><br>宮崎大学医学部内科学講座<br>神経呼吸内分泌代謝学分野助教 上野 浩晶<br><b>末梢動脈からみた糖尿病治療の重要性</b><br>小倉記念病院循環器内科部長 曾我 芳光 | ◇共催<br>宮崎県内科医会<br>※アストラゼネカ(株)<br>☎092-283-8150<br>塩野義製薬(株)      | 単位<br>1.5<br>CC<br>11<br>75<br>76   |
| <b>第25回宮崎県肺癌研究会</b><br>11月13日(金)<br>18:50~20:40<br>MRT-micc     | <b>肺癌放射線治療の最近の動向</b><br>熊本大学大学院生命科学研究部<br>放射線治療医学分野教授 大屋 夏生<br>参加費:500円                                                | ◇共催<br>宮崎県肺癌研究会<br>※大鵬薬品工業(株)<br>☎0985-27-4527<br>◇後援<br>宮崎県医師会 | 単位<br>1.5<br>2<br>9<br>45           |
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>11月13日(金)<br>19:00~21:00<br>延岡市医師会館 | <b>生涯専門(3)健康管理<br/>職場における糖尿病対策</b><br>都城市郡医師会病院副院長 中津留 邦展<br>生涯研修の専門研修会:2単位                                            | ◇共催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118<br>宮崎産業保健総合支援センター               | 単位<br>2<br>CC<br>8<br>9<br>11<br>76 |

| 名称・日時・場所                                                                        | 演 題                                                                                                                                                      | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                  | 単位<br>CC<br>がん検診                      |
|---------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 宮崎県外科医会秋<br>期講演会<br>11月13日(金)<br>19:00~20:30<br>県医師会館                           | 外科医育成の取組みとこれから<br>宮崎大学医学部外科学講座肝胆膵外科学分野教授<br>七島 篤志                                                                                                        | ◇主催<br>宮崎県外科医会<br>(日本臨床外科学会宮崎支部)<br>(連絡先)<br>宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118                 | 単位<br>1<br>CC<br>1<br>84              |
| 第63回都城心臓<br>血管懇話会<br>11月13日(金)<br>19:10~20:40<br>ホテル中山荘                         | 積極的脂質低下療法の意義と最近の話題<br>ーコレステロール制限食の持つ意味は?ー<br>帝京大学臨床研究センター長 寺本 民生                                                                                         | ◇共催<br>都城心臓血管懇話会<br>MSD(株)<br>バイエル薬品(株)<br>(連絡先)<br>都城市北諸県郡医師会<br>☎0986-22-0711      | 単位<br>1.5<br>CC<br>8<br>76<br>82      |
| 平成27年度日本温<br>泉気候物理学会<br>九州地区温泉療法<br>医研修会<br>11月14日(土)<br>15:00~18:00<br>宮崎観光ホテル | 講演Ⅰ:入浴死の現状とその予防法<br>鹿児島大学医学部法医学教授 小片 守<br>講演Ⅱ:臨床医・警察医の立場からみた入浴死<br>大西医院長 大西 雄二<br>講演Ⅲ:入浴にかかわる疾病<br>ーレジオネラ感染症を中心にー<br>宮崎大学医学部免疫感染症分野講師 長友 安弘<br>(事前申込み必要) | ◇主催<br>日本温泉気候物理学会九州地区会<br>◇後援<br>宮崎県医師会<br>宮崎県警察医会<br>(連絡先)<br>坂田病院<br>☎0983-22-3426 | 単位<br>2<br>CC<br>11<br>12<br>16<br>44 |
| 都城市北諸県郡<br>医師会学校医部会<br>講演会<br>11月14日(土)<br>15:00~16:30<br>都城市北諸県郡<br>医師会館       | 発達障害の考え方と対応<br>ー宮崎市総合発達支援センターの経験からー<br>宮崎市総合発達支援センター「おおぞら」所長<br>大庭 健一                                                                                    | ◇主催<br>都城市北諸県郡医師会学校医部会<br>(連絡先)<br>都城市北諸県郡医師会<br>☎0986-22-0711                       | 単位<br>1.5<br>CC<br>14<br>22<br>72     |

| 名称・日時・場所                                                       | 演 題                                                                                                                   | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                            | 単位<br>CC<br>がん検診                      |
|----------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| <b>江南医療連携の会<br/>特別講演会</b><br>11月14日(土)<br>16:00~17:30<br>県医師会館 | <b>一般演題：消化器内視鏡の今昔</b><br>宮崎江南病院放射線科医長<br>伊藤 泰教<br><br><b>特別講演：頭部画像診断の最前線</b><br>宮崎大学医学部病態解析医学講座<br>放射線医学分野教授<br>平井 俊範 | ◇主催<br>江南医療連携の会<br>(連絡先)<br>宮崎江南病院<br>☎0985-52-4004            | 単位<br>1.5<br><br>CC<br>32<br>50<br>78 |
| <b>第130回西日本整形・災害外科学会</b><br>11月14日(土)<br>宮崎市民プラザ<br>参加費：8,000円 | <b>高齢者骨粗鬆症の特徴と週1回テリパラチド治療<br/>一骨折治癒に及ぼす影響についてー(12:00~13:00)</b><br>北里大学メディカルセンター病院整形外科部長<br>成瀬 康治                     | ◇主催<br>第130回西日本整形・災害外科学会<br>(連絡先)<br>宮崎大学整形外科<br>☎0985-85-0986 | 単位<br>1<br><br>CC<br>57<br>77         |
|                                                                | <b>多施設研究の臨床データから考える関節リウマチ薬物治療におけるMTXとアダリムマブの効果的な使用法(12:00~13:00)</b><br>豊橋市民病院リウマチ科部長<br>平野 裕司                        | ◇主催<br>第130回西日本整形・災害外科学会<br>(連絡先)<br>宮崎大学整形外科<br>☎0985-85-0986 | 単位<br>1<br><br>CC<br>8<br>61          |
|                                                                | <b>これからのリハビリテーションと整形外科医への期待(15:30~16:30)</b><br>昭和大学医学部リハビリテーション医学教室教授<br>水間 正澄                                       | ◇主催<br>第130回西日本整形・災害外科学会<br>(連絡先)<br>宮崎大学整形外科<br>☎0985-85-0986 | 単位<br>1<br><br>CC<br>1<br>6           |

| 名称・日時・場所                                                                                           | 演 題                                                                                                                    | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                        | 単位<br>CC<br>がん検診               |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
| <b>第130回西日本整形・災害外科学会</b><br>11月15日(日)<br>宮崎市民プラザ<br>参加費：8,000円                                     | <b>患者の一言から始まった脊椎研究(10：00～11：00)</b><br>慶応義塾大学医学部整形外科学教室教授<br>松本 守雄                                                     | ◇主催<br>第130回西日本整形・災害外科学会<br>(連絡先)<br>宮崎大学整形外科<br>☎0985-85-0986             | 単位<br>1<br>5<br>60             |
|                                                                                                    | <b>新しいガイドラインにしたがった骨粗鬆症治療<br/>           ー薬剤選択を中心にー(12：20～13：20)</b><br>鳥取大学医学部保健学科教授<br>萩野 浩                           | ◇主催<br>第130回西日本整形・災害外科学会<br>(連絡先)<br>宮崎大学整形外科<br>☎0985-85-0986             | 単位<br>1<br>CC<br>3<br>77       |
|                                                                                                    | <b>慢性疼痛患者の生活と生きがいを取り戻す<br/>           ーリハと認知行動療法を駆使してー(12：20～13：20)</b><br>新潟大学医歯学総合病院<br>総合リハビリテーションセンター病院教授<br>木村 慎二 | ◇主催<br>第130回西日本整形・災害外科学会<br>(連絡先)<br>宮崎大学整形外科<br>☎0985-85-0986             | 単位<br>1<br>CC<br>60<br>73      |
| <b>第101回宮崎市郡<br/>           医師会病院心臓病<br/>           研究会</b><br>11月16日(月)<br>18：50～20：30<br>宮崎観光ホテル | <b>これからの循環器医療を考える</b><br>佐賀大学医学部循環器内科教授<br>野出 孝一                                                                       | ◇共催<br>宮崎市郡医師会病院<br>心臓病研究会<br>興和創薬㈱<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会病院<br>☎0985-24-9119 | 単位<br>1.5<br>CC<br>1<br>8<br>9 |

| 名称・日時・場所                                                                           | 演 題                                                                     | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                     | 単位<br>CC<br>がん検診          |
|------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|---------------------------|
| <b>南那珂内科会医<br/>学会</b><br>11月16日(月)<br>18:50~20:00<br>南那珂医師会館                       | <b>冬場の感染症の診療</b><br>宮崎大学医学部内科学講座<br>免疫感染症病態学分野教授<br>岡山 昭彦               | ◇共催<br>南那珂内科会<br>※南那珂医師会<br>☎0987-23-3411<br>第一三共(株)                    | 単位<br>1<br>CC<br>28       |
| <b>宮崎市郡内科医会<br/>学術講演会</b><br>11月16日(月)<br>19:00~20:00<br>MRT-micc                  | <b>心原性脳塞栓症の治療と予防—NOACの活用—</b><br>熊本市立熊本市市民病院<br>首席診療部長・神経内科部長<br>橋本 洋一郎 | ◇共催<br>宮崎市郡内科医会<br>第一三共(株)<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会<br>☎0985-53-3434         | 単位<br>1<br>CC<br>11<br>84 |
| <b>第49回都城画像診<br/>断研究会</b><br>11月16日(月)<br>19:15~20:15<br>ホテル中山荘                    | <b>PET-CTの上手な使い方</b><br>熊本大学院放射線診断学分野助教<br>参加費:500円<br>白石 慎哉            | ◇共催<br>都北医師会放射線科医会<br>バイエル薬品(株)<br>(連絡先)<br>都城市北諸県郡医師会<br>☎0986-22-0711 | 単位<br>1<br>CC<br>9<br>15  |
| <b>第21回宮崎市郡<br/>医師会病院循環器<br/>セミナー</b><br>11月17日(火)<br>18:50~20:00<br>宮崎市郡医師会<br>病院 | <b>安定狭心症は何が「安定」しているのか?</b><br>慶應義塾大学循環器内科特任講師<br>香坂 俊                   | ◇共催<br>※宮崎市郡医師会病院<br>☎0985-24-9119<br>日本メジフィジックス(株)                     | 単位<br>1<br>CC<br>2<br>9   |

| 名称・日時・場所                                                                   | 演 題                                                                                            | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                          | 単位<br>CC<br>がん検診                   |
|----------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|
| <b>第13回児湯内科医<br/>会学術講演会</b><br>11月17日(火)<br>19:00~20:00<br>ホテル四季亭          | <b>喘息予防・管理ガイドライン2015改訂のポイントと吸入<br/>指導について(仮)</b><br>県立宮崎病院呼吸器内科医長 姫路 大輔                        | ◇共催<br>児湯内科医会<br>アステラス製薬(株)<br>アストラゼネカ(株)<br>(連絡先)<br>児湯医師会<br>☎0983-22-1641 | 単位<br>1<br>CC<br>45<br>79          |
| <b>日向市東臼杵郡医<br/>師会学術講演会</b><br>11月17日(火)<br>19:15~20:30<br>ホテルベルフォー<br>ト日向 | <b>不眠症治療への取組みについて<br/>—当院でのせん妄への取組みと向精神薬の使用意図—</b><br>宮崎県立延岡病院心療内科・精神科長 北 英二郎                  | ◇共催<br>※日向市東臼杵郡医師会<br>☎0982-52-0222<br>日向市東臼杵郡内科医会<br>日向市東臼杵郡薬剤師会<br>MSD (株) | 単位<br>1<br>CC<br>20<br>29          |
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>11月19日(木)<br>14:00~16:00<br>県医師会館              | <b>生涯専門(4)メンタルヘルス対策<br/>職場で使える！アサーション</b><br>都城新生病院医師 前原 正法<br>生涯研修の専門研修会：2単位                  | ◇共催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118<br>宮崎産業保健総合支援センター                            | 単位<br>2<br>CC<br>3<br>6<br>8<br>13 |
| <b>宮崎木曜会年末<br/>学術講演会</b><br>11月19日(木)<br>19:30~21:00<br>MRT-micc           | <b>レーザー光源内視鏡(LASEREO)の新たな可能性<br/>—BLIとLCIIによる臨床有用性の検討—</b><br>朝日大学歯学部附属村上記念病院<br>消化器内科教授 八木 信明 | ◇共催<br>宮崎木曜会<br>第一三共(株)<br>※アストラゼネカ(株)<br>☎092-283-8150<br>富士フィルムメディカル(株)    | 単位<br>1.5<br>8<br>9<br>13<br>(胃)   |

| 名称・日時・場所                                                                   | 演 題                                                                                                                                                                                                                                                                                | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                        | 単位<br>CC<br>がん検診                                         |
|----------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| <b>都城市北諸県郡医師会外科医会学術講演会</b><br>11月20日(金)<br>19:00~20:30<br>ホテル中山荘           | <b>今日の大腸癌治療—直腸癌治療の展望—</b><br>久留米大学医学部医学科外科学講座主任教授<br>赤木 由人                                                                                                                                                                                                                         | ◇共催<br>都城市北諸県郡医師会外科医会<br>武田薬品工業(株)<br>(連絡先)<br>都城市北諸県郡医師会<br>☎0986-22-0711 | 単位<br>1.5<br>CC<br>10<br>50<br>55                        |
| <b>宮崎県医師会産業医研修会</b><br>11月21日(土)<br>14:30~18:30<br>県医師会館                   | <b>基礎後期(3)健康管理</b><br><b>生涯専門(3)健康管理</b><br><b>職場における効率的な健康管理の進め方(仮)</b><br>琉球大学大学院医学研究科<br>衛生学・公衆衛生学講座教授 青木 一雄<br><b>基礎後期(1)総論</b><br><b>生涯更新(1)労働衛生関係法規と関連通達の改正</b><br><b>労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度(仮)</b><br>北里大学名誉教授 相澤 好治<br>参加費:2,000円<br>基礎研修の後期研修会:4単位<br>生涯研修の更新研修会・専門研修会:2単位 | ◇主催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118                                            | 単位<br>4<br>CC<br>1<br>3<br>6<br>7<br>8<br>11<br>12<br>13 |
| <b>第1回宮崎県北スポーツ整形外科学術講演会</b><br>11月21日(土)<br>18:00~20:00<br>ホテルベルフォー<br>ト日向 | <b>サッカー日本代表でのトレーナー活動</b><br>日本サッカー協会トレーナー 池内 誠<br><b>プロサッカー選手に対するメディカルサポート</b><br>順天堂大学医学部附属順天堂医院<br>整形外科・スポーツ診療科選任准教授 池田 浩                                                                                                                                                        | ◇共催<br>※日向市東臼杵郡医師会<br>☎0982-52-0222<br>科研製薬(株)                             | 単位<br>2<br>CC<br>19<br>57<br>61<br>84                    |

| 名称・日時・場所                                                                 | 演 題                                                                                                            | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                    | 単位<br>CC<br>がん検診                    |
|--------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|
| 佐土原地区医師会<br>学術講演会<br>11月25日(水)<br>19:00~20:15<br>シーガイアコンベンションセンター        | プライマリケア医が出会う精神疾患の“処方箋”<br>宮崎大学医学部臨床神経科学講座<br>精神医学分野教授<br>石田 康                                                  | ◇共催<br>佐土原地区医師会<br>※塩野義製薬(株)<br>☎0985-27-1041                          | 単位<br>1<br>CC<br>70                 |
| 都城地区整形外科<br>医会学術講演会<br>11月25日(水)<br>19:15~20:45<br>都城ロイヤルホテル             | ロコモティブシンドロームー病態解明への挑戦<br>宮崎大学医学部附属病院整形外科講師<br>関本 朝久<br>参加費:1,000円                                              | ◇共催<br>都城地区整形外科医会<br>日本臓器製薬(株)<br>(連絡先)<br>都城市北諸県郡医師会<br>☎0986-22-0711 | 単位<br>1.5<br>CC<br>11<br>62<br>82   |
| 西諸医師会・西諸<br>内科医会合同学術<br>講演会<br>11月26日(木)<br>18:45~20:45<br>ガーデンベルズ<br>小林 | 認知症患者の退院調整について<br>内村病院精神保健福祉士<br>井崎 誠宏<br>山鹿市における認知症地域連携<br>ー認知症になっても安心して暮らせるまちをつくるー<br>山鹿中央病院副院長兼院長代行<br>原 暁生 | ◇共催<br>※西諸医師会<br>☎0984-23-2113<br>西諸内科医会<br>第一三共(株)                    | 単位<br>2<br>CC<br>1<br>3<br>14<br>68 |
| 西都市西児湯内科<br>医会学術講演会<br>11月26日(木)<br>19:00~20:15<br>ホテルプリムローズ西都           | 一般医が知っておくべき皮膚疾患, 送るタイミング<br>ー乾癬の薬物治療も追加してー<br>宮崎大学医学部皮膚科学講座教授<br>天野 正宏                                         | ◇共催<br>西都市西児湯内科医会<br>※西都市西児湯医師会<br>☎0983-43-1687<br>田辺三菱製薬(株)          | 単位<br>1<br>CC<br>26<br>61           |

| 名称・日時・場所                                                                           | 演 題                                                                                                             | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                              | 単位<br>CC<br>がん検診                      |
|------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| <b>第225回宮崎市郡小児科医会学術講演会</b><br>11月26日(木)<br>19:15~20:30<br>ホテルJALシティ宮崎              | <b>市中病院の一小児科医が考える現代のインフルエンザ診療</b><br>JA静岡厚生連静岡厚生病院小児科診療部長<br>田中 敏博                                              | ◇共催<br>宮崎市郡小児科医会<br>※第一三共(株)<br>☎0985-23-5710                                    | 単位<br>1<br>CC<br>13<br>32             |
| <b>平成27年度医療機関等結核対策研修会</b><br>11月27日(金)<br>18:30~20:00<br>延岡保健所                     | <b>結核診療と結核院内感染対策—QFTとT-SPOT—</b><br>日本赤十字社長崎原爆諫早病院副院長<br>福島 喜代康                                                 | ◇主催<br>※延岡保健所<br>☎0982-33-5373<br>◇後援<br>延岡市医師会                                  | 単位<br>1<br>CC<br>11<br>13             |
| <b>宮崎市郡内科医会学術講演会</b><br>11月27日(金)<br>19:00~20:00<br>宮崎観光ホテル                        | <b>実地臨床に活かす喘息予防・管理ガイドライン2015のポイントと吸入指導の実践</b><br>鹿児島大学大学院医歯薬総合研究科<br>呼吸器内科学講師<br>東元 一晃                          | ◇共催<br>宮崎市郡内科医会<br>アステラス製薬(株)<br>アストラゼネカ(株)<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会<br>☎0985-53-3434 | 単位<br>1<br>CC<br>46<br>79             |
| <b>延岡医学会学術講演会(第50回宮崎県北地区整形外科医会学術講演会)</b><br>11月27日(金)<br>19:00~21:30<br>ホテルメリージュ延岡 | <b>運動を中断する脳活動について</b><br>潤和会記念病院神経内科部長<br>矢澤 省吾<br><b>骨粗鬆症診療に関する最新の話</b><br>近畿大学医学部奈良病院<br>整形外科・リウマチ科教授<br>宗圓 聡 | ◇共催<br>宮崎県北地区整形外科医会<br>延岡医学会<br>※第一三共(株)<br>☎0985-23-5710<br>◇後援<br>延岡内科医会       | 単位<br>2<br>CC<br>15<br>19<br>59<br>77 |

| 名称・日時・場所                                                                 | 演 題                                                                                                                                     | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                           | 単位<br>CC<br>がん検診                          |
|--------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| <b>第9回はまゆう整形外科セミナー</b><br>11月28日(土)<br>17:30~18:30<br>宮崎観光ホテル            | <b>整形外科領域における体外衝撃波治療について</b><br>かわはら整形外科<br>リハビリテーションクリニック院長 河原 勝博<br><b>臨床筋電図検査による整形外科疾患の電気診断</b><br>押川整形外科ペインクリニック副院長 中村 誠司           | ◇主催<br>はまゆう整形外科セミナー<br>(連絡先)<br>宮崎大学医学部整形外科<br>☎0985-85-0986                                  | 単位<br>1<br>CC<br>2<br>61                  |
| <b>九州産婦人科乳腺医学会第4回学術集会</b><br>11月29日(日)<br>12:30~15:00<br>ホテルJALシティ<br>宮崎 | <b>乳癌検診の最近の話題とマンモグラフィ読影の実際</b><br>総合上飯田第一病院乳腺外科 窪田 智行<br><b>確定診断に苦慮した乳腺疾患</b><br>プレストピア宮崎病院放射線科 中原 浩<br>参加費:2,000円<br>※日産婦学会員はe医学会カード持参 | ◇主催<br>九州産婦人科乳腺医学会<br>◇後援<br>宮崎県産婦人科医学会<br>宮崎県産科婦人科学会<br>(連絡先)<br>まつ婦人科クリニック<br>☎0985-62-3555 | 単位<br>2.5<br>CC<br>1<br>2<br>8<br>11<br>① |
| <b>延岡医学会学術講演会</b><br>11月30日(月)<br>19:00~20:30<br>ホテルメリージュ<br>延岡          | <b>異なる2つの脂質低下療法は冠動脈プラーク退縮においていかなる違いをもたらすか!?</b><br><b>ースタチン増量VSスタチン/エゼチミブ併用ー</b><br>熊本大学大学院生命科学研究部循環器内科学講師<br>辻田 賢一                     | ◇共催<br>延岡医学会<br>※MSD(株)<br>☎080-5479-1210<br>バイエル薬品(株)<br>◇後援<br>延岡内科医学会                      | 単位<br>1<br>CC<br>73<br>75                 |
| <b>宮崎県医師会産業医研修会</b><br>12月2日(水)<br>14:00~16:00<br>県医師会館                  | <b>障害専門(4)メンタルヘルス対策</b><br><b>産業医及び職場における相談対応者のための過労死等の防止対策</b><br>産業保健相談員 中村 康文<br>生涯研修の専門研修会:2単位                                      | ◇共催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118<br>宮崎産業保健総合支援センター                                             | 単位<br>2<br>CC<br>5<br>11<br>69<br>70      |

| 名称・日時・場所                                                      | 演 題                                                                                                                    | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                        | 単位<br>CC<br>がん検診                      |
|---------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 日向市東臼杵郡医師会学術講演会<br>12月2日(水)<br>19:00~20:15<br>ホテルベルフオー<br>ト日向 | 循環器疾患における糖尿病治療の使い方のポイント<br>佐賀大学医学部循環器内科教授 野出 孝一                                                                        | ◇共催<br>※日向市東臼杵郡医師会<br>☎0982-52-0222<br>日向市東臼杵郡内科医会<br>第一三共(株)<br>田辺三菱製薬(株) | 単位<br>1<br>CC<br>76<br>82             |
| 西臼杵郡医師会学術講演会<br>12月2日(水)<br>19:00~20:30<br>ホテル高千穂             | 当院における心不全治療の現状<br>宮崎県立延岡病院循環器内科部長 山本 展誉                                                                                | ◇共催<br>※西臼杵郡医師会<br>☎0982-73-2010<br>延岡市西臼杵郡薬剤師会<br>◇後援<br>大塚製薬(株)          | 単位<br>1.5<br>CC<br>24<br>43<br>45     |
| 宮崎県医師会産業医研修会<br>12月3日(木)<br>19:00~21:00<br>都城市北諸県郡<br>医師会館    | 生涯更新(1)労働衛生関係法規と関係通達の改正<br>この頃の産業保健の動向—通達と報道発表資料から—<br>西部労働衛生コンサルタント事務所代表 矢崎 武<br>生涯研修の更新研修会：2単位                       | ◇共催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118<br>宮崎産業保健総合支援センター                          | 単位<br>2<br>CC<br>3<br>7<br>8<br>9     |
| 平成27年度宮崎県医師会自殺対策うつ病研修会<br>12月3日(木)<br>19:00~21:30<br>県医師会館    | 自殺予防～身体科の医療現場で出来ること<br>宮崎大学医学部精神科教授 石田 康<br>勤労者のメンタルヘルス不調・うつ病への対応<br>札幌医科大学大学院医学研究科<br>精神機能病態学医学部神経精神医学講座主任教授<br>河西 千秋 | ◇共催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118<br>宮崎県                                     | 単位<br>2<br>CC<br>13<br>68<br>69<br>70 |

| 名称・日時・場所                                                                                                                | 演 題                                                                                                                                                                                                                                              | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                   | 単位<br>CC<br>がん検診                                    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| <b>高次脳機能障がい<br/>講演会</b><br>12月4日(金)<br>19:00~21:00<br>県医師会館(TV会<br>議:都城・延岡・<br>日向・西都・南那<br>珂・西諸・児湯)                     | <b>高次脳機能障害—こころと脳のつながり—</b><br>熊本大学大学院生命科学研究部<br>神経精神医学分野神経精神科准教授 橋本 衛                                                                                                                                                                            | ◇主催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118                       | 単位<br>2<br><br>CC<br>5<br>9<br>29<br>78             |
| <b>第21回ひむか骨関<br/>節・脊椎脊髄疾患<br/>セミナー</b><br>12月5日(土)<br>15:45~19:00<br>宮崎観光ホテル                                            | <b>講演1: これからの運動器診療科の役割<br/>—がん診療科としての整形外科—</b><br>帝京大学医学部整形外科学講座主任教授<br>河野 博隆<br><br><b>講演2: 脊柱靭帯骨化症のトピックス</b><br>東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科<br>先端医療開発学講座整形外科学分野教授 大川 淳<br><br><b>講演3: 膝関節動態解析の新展開</b><br>愛媛大学大学院医科学系研究科<br>医学専攻器官・形態領域整形外科学教授<br>三浦 裕正 | ◇共催<br>ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー<br>※中外製薬(株)<br>☎0985-20-8118 | 単位<br>3<br><br>CC<br>1<br>2<br>59<br>61<br>73<br>81 |
| <b>平成27年度宮崎県<br/>医師会生活習慣病<br/>検診従事者研修会</b><br>12月7日(月)<br>19:00~21:10<br>県医師会館(TV会<br>議:都城・日向・<br>児湯・西都・南那<br>珂・西諸・西臼杵) | <b>肺癌診療の現況(仮)</b><br>県立宮崎病院外科医長 別府 樹一郎<br><br><b>乳癌検診について(仮)</b><br>All About Breast乳腺外科クリニック院長<br>町田 英一郎<br><br><b>他</b>                                                                                                                        | ◇共催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118<br>宮崎県                | 単位<br>2<br><br>CC<br>2<br>11<br>12<br>82            |

| 名称・日時・場所                                                                                                     | 演 題                                                                                                | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                               | 単位<br>CC<br>がん検診 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|------------------|
| <b>平成27年度宮崎県<br/>医師会生活習慣病<br/>検診従事者研修会</b><br>12月10日(木)<br>19:00~21:10<br>県医師会館(TV会<br>議:都城・日向・<br>児湯・西都・西諸) | <b>肺癌診療の現況(仮)</b><br>県立宮崎病院外科医長 別府 樹一郎                                                             | ◇共催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118<br>宮崎県            | 単位<br>2          |
|                                                                                                              | <b>乳癌検診について(仮)</b><br>All About Breast乳腺外科クリニック院長 町田 英一郎                                           |                                                   | CC<br>2          |
|                                                                                                              | 他                                                                                                  |                                                   | 11               |
|                                                                                                              |                                                                                                    |                                                   | 12<br>82         |
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>12月12日(土)<br>13:30~15:30<br>ひまわり荘                                                | <b>生涯専門(2)</b><br><b>じん肺の胸部エックス線検査</b><br>富山労災病院アスベスト疾患センター長 水橋 啓一                                 | ◇共催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118<br>宮崎産業保健総合支援センター | 単位<br>2          |
|                                                                                                              | <b>石綿関連疾患胸部画像の読影実習</b><br>日本医科大学多摩永山病院<br>呼吸器・腫瘍内科助教 上原 隆志                                         |                                                   | CC<br>1          |
|                                                                                                              | 生涯研修の現地研修会: 2単位                                                                                    |                                                   | 8<br>9           |
|                                                                                                              |                                                                                                    |                                                   | 11               |
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>12月12日(土)<br>14:15~17:20<br>宮崎市郡医師会館                                             | <b>基礎後期(4)メンタルヘルス対策</b><br><b>生涯専門(4)メンタルヘルス対策</b><br><b>ストレスチェック制度の概要と留意点</b><br>宮崎大学医学部名誉教授 鶴 紀子 | ◇共催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118<br>宮崎市郡医師会        | 単位<br>3          |
|                                                                                                              | <b>基礎後期(5)健康保持増進</b><br><b>生涯専門(5)健康保持増進</b>                                                       |                                                   | CC<br>1          |
|                                                                                                              | <b>産業医が担う職域禁煙推進の重要性</b><br>宮崎県立看護大学・大学院教授 江藤 敏治                                                    |                                                   | 7<br>8           |
|                                                                                                              | 基礎研修の後期研修会: 3単位                                                                                    |                                                   | 9                |
|                                                                                                              | 生涯研修の専門研修会: 3単位                                                                                    |                                                   | 11               |
|                                                                                                              |                                                                                                    |                                                   | 70               |
|                                                                                                              |                                                                                                    |                                                   |                  |

| 名称・日時・場所                                                         | 演 題                                                                                                            | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                               | 単位<br>CC<br>がん検診                     |
|------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| <b>第71回宮崎整形外科懇話会</b><br>12月12日(土)<br>18:00~19:00<br>県医師会館        | <b>骨・関節術後感染の予防と治療</b><br>聖マリアンナ医科大学川崎市立多摩病院<br>整形外科教授 松下 和彦<br>参加費:1,000円                                      | ◇共催<br>宮崎整形外科懇話会<br>宮崎県整形外科医会<br>大正富山医薬品(株)<br>(連絡先)<br>宮崎大学整形外科<br>☎0985-85-0986 | 単位<br>1<br>CC<br>8<br>28             |
| <b>宮崎市郡内科医会<br/>学術講演会</b><br>12月15日(火)<br>19:00~20:30<br>宮崎観光ホテル | <b>保存期腎性貧血に対するESA製剤の有用性(仮)</b><br>宮崎江南病院腎疾患・透析部長 山田 和弘<br><b>腎機能維持の為に血糖管理の重要性(仮)</b><br>仁医会病院長 阿部 克成           | ◇共催<br>宮崎市郡内科医会<br>※協和発酵キリン(株)<br>☎0985-22-8801                                   | 単位<br>1.5<br>CC<br>73<br>76<br>84    |
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>12月17日(木)<br>14:00~16:00<br>県医師会館    | <b>生涯専門(4)メンタルヘルス対策<br/>職場で使える!交渉術</b><br><b>—交渉術を身につけて、メンタルヘルスに活かします—</b><br>都城新生病院医師 前原 正法<br>生涯研修の専門研修会:2単位 | ◇共催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118<br>宮崎産業保健総合支援センター                                 | 単位<br>2<br>CC<br>5<br>11<br>69<br>70 |
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>12月18日(金)<br>19:00~21:00<br>県医師会館    | <b>生涯専門(4)メンタルヘルス対策<br/>メンタルヘルスと復職(1)</b><br>西都病院精神科医師 植田 勇人<br>生涯研修の専門研修会:2単位                                 | ◇共催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118<br>宮崎産業保健総合支援センター                                 | 単位<br>2<br>CC<br>5<br>6<br>69<br>70  |

| 名称・日時・場所                                                                                                                  | 演 題                                                                                                                                                                                                                  | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                         | 単位<br>CC<br>がん検診                                                          |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| <p>平成27年度宮崎県<br/>医師会生活習慣病<br/>検診従事者研修会<br/>12月19日(土)<br/>15:00~17:10<br/>県医師会館(TV会<br/>議:都城・延岡・<br/>日向・児湯・西都・<br/>西諸)</p> | <p>肺癌診療の現況(仮)<br/>県立宮崎病院外科医長 別府 樹一郎<br/>乳癌検診について(仮)<br/>All About Breast乳腺外科クリニック院長<br/>町田 英一郎<br/>他</p>                                                                                                             | <p>◇共催<br/>※宮崎県医師会<br/>☎0985-22-5118<br/>宮崎県</p>            | <p>単位<br/>2<br/>CC<br/>2<br/>11<br/>12<br/>82</p>                         |
| <p>宮崎県医師会産業<br/>医研修会<br/>平成28年<br/>1月7日(木)<br/>19:00~21:00<br/>県医師会館</p>                                                  | <p>生涯実施(3)メンタルヘルス対策<br/>メンタルヘルス不調の労働者の事例検討<br/>宮崎県立看護大学・大学院教授 江藤 敏治<br/>生涯研修の現地研修会: 2単位</p>                                                                                                                          | <p>◇共催<br/>※宮崎県医師会<br/>☎0985-22-5118<br/>宮崎産業保健総合支援センター</p> | <p>単位<br/>2<br/>CC<br/>5<br/>6<br/>69<br/>70</p>                          |
| <p>宮崎県医師会産業<br/>医研修会<br/>1月16日(土)<br/>14:30~18:30<br/>県医師会館(TV会<br/>議:延岡・日向・<br/>児湯・西都・南那<br/>珂・西諸)</p>                   | <p>基礎後期(6)作業環境管理<br/>生涯専門(6)作業環境管理<br/>産業医と作業環境管理ー産業医が進める職場の改善ー<br/>産業医科大学産業衛生教授 浜口 伝博<br/>基礎後期(2)労働衛生管理体制<br/>生涯専門(2)労働衛生管理体制<br/>労働衛生管理のための体制づくり<br/>東京大学環境安全本部 大久保 靖司<br/>基礎研修の後期研修会: 4単位<br/>生涯研修の専門研修会: 4単位</p> | <p>◇主催<br/>※宮崎県医師会<br/>☎0985-22-5118</p>                    | <p>単位<br/>4<br/>CC<br/>1<br/>5<br/>6<br/>7<br/>9<br/>11<br/>13<br/>70</p> |

診療メモ



働き盛り世代の自殺—自験例より

宮崎市 大西医院 大西 雄二

はじめに

自殺者数は全国的には減少傾向にあるにもかかわらず、宮崎県では自殺率は常に全国上位で、平成26年ワースト3位である。働き盛り世代の自殺者は約7割を占め減少傾向はみられない。動機別では経済・生活問題が全体の25%を占める。特に働き盛りの男性ではその割合が各年代層に比べ高い。ここ10年の県内の自殺者数の推移を示す(図1)。

でうち37例が自殺である(図2)。男性30例、女

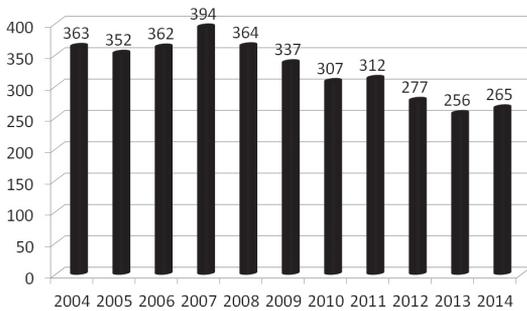


図1 本県の自殺者の推移

警察医として検死を行っている。自殺例を経験する度に死者への思いにとらわれる。2012年度検案自験数115例のうち自殺は37例。うち就労者は男性30例であった。働き盛り世代の自殺の経済・仕事問題の背景を考察する。なお同年の県内の自殺者数は277例であった。

自験例の紹介

検案115例の死因の内訳を示す。外因死が41例

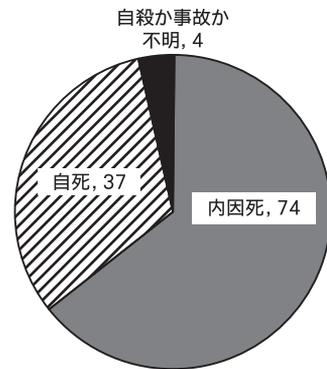


図2 検死の内訳(115例)

性7例。女性7例はすべて精神疾患の既往があり、本論の目的から外れるのでここでは男性の自殺30例の原因の内訳を示す(図3)。このうち経済・仕事問題が主因と思われるのは13例であった。

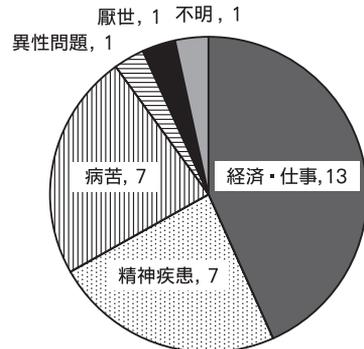


図3 自死(男性)30例の内訳

方法は縊頸10例、自絞頸1例、一酸化炭素中毒1例、ヘリウムガス中毒1例。年齢は29～63歳、平均年齢47.7歳。13例の内容を一覧してみる(表1)。個々の背景は様々であり、生活苦、借金苦、仕事の悩み、経営不振、非正規雇用における将来不安、失職など現実世界を反映している。

表1 13例の内訳

| 年齢  | 背景              | 方法       |
|-----|-----------------|----------|
| 31歳 | 仕事(非正規雇用)将来への不安 | 縊頸       |
| 51歳 | 仕事(上司との不和)と家庭問題 | 縊頸       |
| 49歳 | 経済(生活苦)と異性問題    | 縊頸       |
| 44歳 | 経済(借金苦)         | ヘリウムガス中毒 |
| 66歳 | 経済(経営苦・自営業)     | 縊頸       |
| 62歳 | 経済(借金苦)         | 縊頸       |
| 29歳 | 仕事(非正規雇用)将来への不安 | 縊頸       |
| 52歳 | 仕事の悩み(単身赴任)     | 自絞頸      |
| 41歳 | 経済(借金苦)         | 一酸化炭素中毒  |
| 42歳 | 経済(借金苦)         | 縊頸       |
| 39歳 | 経済(生活苦)         | 縊頸       |
| 39歳 | 仕事(売上減少)        | 縊頸       |
| 63歳 | 失職              | 縊頸       |

## 背 景

例年男性の自殺者数は女性の2～3倍ある。年代別では60代が最も多いが、続く40代、50代と合わせると過半数を超える。死因は40～54歳では癌の次である。

男性において失業率や景気の変動は、自殺率と相関関係を示す。現在労働人口は6,300万人であり、そのうち年収200万円以下の人口が2,600万人を占める。非正規雇用者の年収は、200万円前後であるが、その割合は、労働人口の約40%に達している。最近では若者の「就活自殺」の言葉も登場している。

宮崎県の平均年収は2012年度微増だが288万円であり、全国45位(2011年)である。好景気の恩恵を受けていない。男性の自殺率は高止まりのままである。経済の脆弱さや生活環境の困難さが背景にある。

## 考 察

近年では働き盛りの自殺率が増え、より若年層の自殺率は減っていない。高齢の自殺率が高いというかつての傾向が見られなくなってきた。

働き盛り世代の自殺は経済・仕事問題が関与している。さらに宮崎県の特長として、経済の脆弱さに加え、離婚率や、単身世帯率の高さなど生活基盤の弱さがある。あきらめやすい男性の気質、男としての期待に応えられないという意識の挫折があるのか。

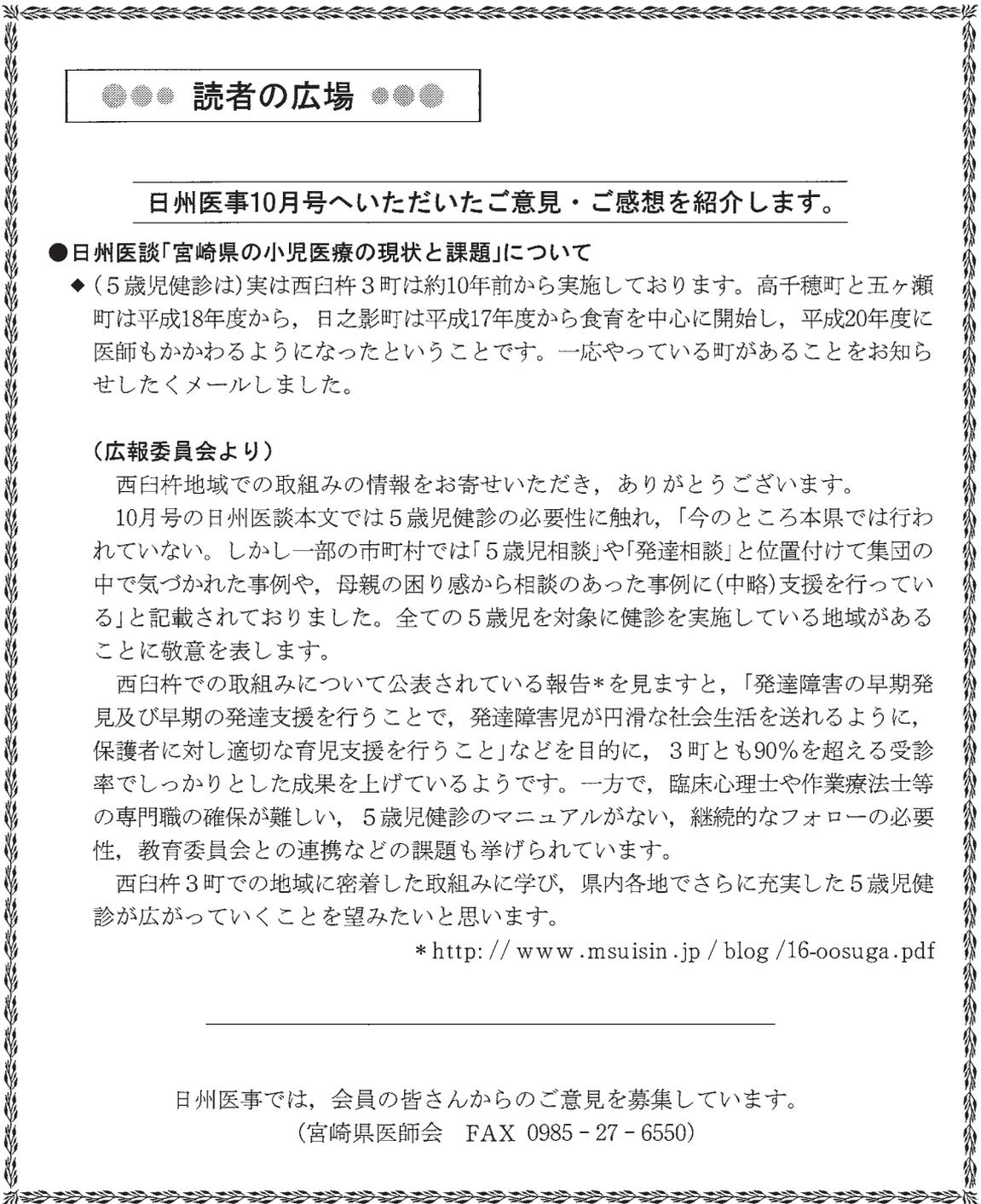
そのため、この世代の男性の自殺対策は、生活問題、家庭問題などを視野にいたした社会的連携など幅広い分野から考える必要がある。そして就職難、失業率や景気の変動などに着目した経済状態への対策が必要である。

男女とも若年層の自殺は、精神科疾患に起因する 경우가多く、医療や諸機関の連携が必要である。老年層では身体疾患による病苦が多い。医療・福祉・行政の援助が必要である。

男性は女性に比べて悩みを相談する機会が少ない。精神科医などの専門家だけでなく、地域や周囲の人のサポートが望まれる。

## おわりに

個人の努力では解決できないのが経済そして貧困の問題である。働き盛り世代に重点的な対策が必要である。経済問題で死ぬ必要などない社会でありたい。



●●● 読者の広場 ●●●

---

日州医事10月号へいただいたご意見・ご感想を紹介します。

---

●日州医談「宮崎県の小児医療の現状と課題」について

- ◆（5歳児健診は）実は西臼杵3町は約10年前から実施しております。高千穂町と五ヶ瀬町は平成18年度から、日之影町は平成17年度から食育を中心に開始し、平成20年度に医師もかかわるようになったということです。一応やっている町があることをお知らせしたくメールしました。

（広報委員会より）

西臼杵地域での取組みの情報をお寄せいただき、ありがとうございます。

10月号の日州医談本文では5歳児健診の必要性に触れ、「今のところ本県では行われていない。しかし一部の市町村では「5歳児相談」や「発達相談」と位置付けて集団の中で気づかれた事例や、母親の困り感から相談のあった事例に(中略)支援を行っている」と記載されておりました。全ての5歳児を対象に健診を実施している地域があることに敬意を表します。

西臼杵での取組みについて公表されている報告\*を見ますと、「発達障害の早期発見及び早期の発達支援を行うことで、発達障害児が円滑な社会生活を送れるように、保護者に対し適切な育児支援を行うこと」などを目的に、3町とも90%を超える受診率でしっかりとした成果を上げているようです。一方で、臨床心理士や作業療法士等の専門職の確保が難しい、5歳児健診のマニュアルがない、継続的なフォローの必要性、教育委員会との連携などの課題も挙げられています。

西臼杵3町での地域に密着した取組みに学び、県内各地でさらに充実した5歳児健診が広がっていくことを望みたいと思います。

\* <http://www.msuisin.jp/blog/16-oosuga.pdf>

---

日州医事では、会員の皆さんからのご意見を募集しています。

（宮崎県医師会 FAX 0985 - 27 - 6550）

お知らせ

# 医師資格証を 持っていますか？



「医師資格証」とは、医師資格の電子証明書を格納したICカードです。  
 保健医療福祉分野のIT化を進めるためには、セキュリティを確保した基盤が求められています。  
 しかし、従来の医師免許証ではネットワーク上における医師資格を証明する事が出来ません。  
 日本医師会では、安全で安心して使えるIT基盤を実現するための、公開鍵基盤(PKI\*)の枠組みを使った  
 「日本医師会認証局」を運営し、医師資格の証明を行う「医師資格証」を発行しています。

\*Public Key Infrastructureの略。



## 医師資格証ご利用シーン

|                                                         |                                                                |                                                              |                                                         |
|---------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| <p><b>資格証</b></p> <p>提示することで<br/>医師であることを<br/>証明できる</p> | <p><b>出欠管理カード</b></p> <p>講習・研修会の<br/>受付時間や終了時間を<br/>記録する場合</p> | <p><b>電子署名</b></p> <p>コンピューター上で<br/>捺印の必要な文書を<br/>作成する場合</p> | <p><b>認証(通行証)</b></p> <p>カルテや連携バス等の<br/>医療情報を閲覧する場合</p> |
|---------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|

## 医師資格証 — ご利用お申し込み

必要書類を都道府県医師会などの地域受付審査局へご提出ください。 ※医師資格証には年会費がかかります。

持参して  
いただく  
もの

- ..... ① 発行申請書(写真添付～撮影から6ヵ月以内)
- ..... ② 住民票の写し(発行から3ヶ月以内)
- ..... ③ 身分証(下記のいずれか1点)
  - <a>日本国旅券(有効期間内のもの)
  - <b>運転免許証(有効期間内のもの)、運転経歴証明書(平成24年4月1日以降発行のもの)
  - <c>住民基本台帳カード(有効期間内のもの・写真付)
  - <d>官公庁職員身分証明書(張替防止措置済み・写真付)
- ..... ④ 医師免許証原本または医師免許証コピーに実印を押印し、印鑑登録証明書を添付(発行から3ヶ月以内)

詳細は電子認証センターホームページ「医師資格証の申請について」をご覧ください。  
<http://www.jmaca.med.or.jp/>

## 宮大医学部学生のページ

## 〔宮崎大学学園祭〕第11回清花祭～宮大浪漫～

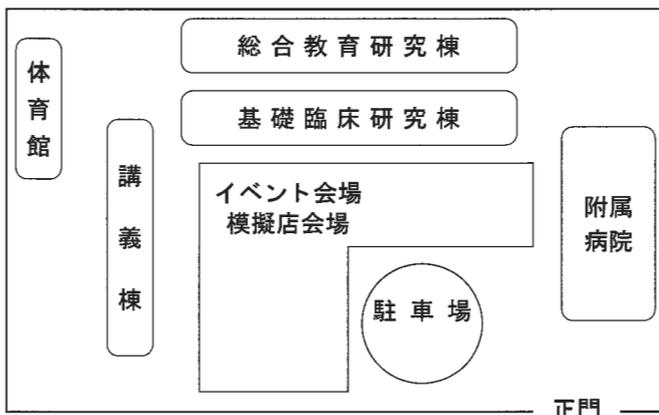
11月14日(土)・15日(日)開催

＜清武キャンパスのイベントを一部ご紹介します＞

雨天の場合、イベント企画は全て体育館ステージで行われます。

| イベント名<br>(場 所)         | 時 間         | 内 容                                     |
|------------------------|-------------|-----------------------------------------|
| 11月14日(土)              |             |                                         |
| ミスキャン<br>(屋外イベントステージ)  | 10:30～12:30 | 様々なゲームを勝ち抜いた清武キャンパス NO.1 美女を決めるコンテストです。 |
| 管打楽器<br>(体育館)          | 13:30～14:00 | 学生によるオーケストラ演奏です。                        |
| すずかけ太鼓<br>(体育館)        | 14:00～15:00 | 勇壮で力強く、心震える太鼓の演奏です。                     |
| KIZUNA<br>(屋外イベントステージ) | 15:00～17:00 | 学生がチームとなりゲームに取り組み、自分たちの絆を一層深めてもらう企画です。  |
| 学祭 LIVE<br>(軽音楽部部室)    | 19:00～22:00 | 軽音楽部や有志、学外の方などによるバンド演奏です。               |
| 11月15日(日)              |             |                                         |
| コンテスト<br>(屋外イベントステージ)  | 11:00～12:30 | 最も美しく最も勇ましい男の子を決定するコンテストです。             |
| 子ども企画<br>(体育館)         | 12:30～14:00 | 地域の子どもたちを招待してミニ運動会を開催します。               |

## 《清武キャンパスマップ》



☆近年イベントステージ、および模擬店は総合教育研究棟裏の職員駐車場で行われていましたが、今年から場所を講義棟前の広場に移動しました。

講義棟で行われている医学展からも足を運びやすくなっています。是非併せてお越しく下さい。

☆模擬店の営業時間は

14日(土)10:00～17:00

15日(日)9:00～17:00

となっております。

## 清武キャンパス医学展

《清武キャンパス医学展の一部をご紹介します(14・15日両日開催しています)》

### ☆チャリティー(講義棟 3 F 実習室)

宮崎市中のご家庭から提供された商品をバザーで出品する企画です。その収益をNPO法人に全額寄付し、世界中の子供たちのワクチン接種に役立ててもらいます。

### ☆アロマ(講義棟 301教室)

アロマ企画ではアロマセラピーやハーブティーに関する展示を行い、実際にアロマオイルを用いたハンドマッサージや、カフェにてハーブティーと美味しいお菓子のセットを提供しています♪ぜひ、日常とは少し違った『癒しの空間』をお楽しみください。

### ☆写真(講義棟 1 F 学務課前)

学生の日常の生活の一部を切り取った写真を展示しています。何気ない風景が輝く瞬間を通して、日常に輝きを見出せるような場を作り出しています。ぜひご覧になってください。

### ☆憩空間(講義棟 201教室)

種類豊富なノンアルコールカクテルを提供すると同時に、飲酒や喫煙について考える機会を提供します。また、3年後の自分や家族、友達に手紙を送ることができる“Future Letter”もご用意しています。心と体の憩いの場、憩空間にぜひ一度お立ち寄りください。

### ☆美術展(講義棟 LL 教室)

今年はしおり作りをします。みんなで楽しくリボンやシールや押し花でかざりつけて、自分だけのオリジナルしおりを作しましょう♪また学生による作品展示も行います。是非お気軽にお立ち寄りください。

### ☆なってみよう(講義棟 202教室)

聴診器や血圧計などを実際に使って、医師・看護師になってみよう!という企画です。その他にも、アルコールへの強さが分かるアルコールパッチテストなどの体験型コーナーも設置します。あなたも医師・看護師に“なってみよう”!!

### ☆スタンプラリー

医学展ではスタンプラリーを開催します。各企画に設置してあるスタンプを集めて、豪華賞品をGETしましょう!!

◎他にも、様々な企画が用意されています。

清花祭の詳しい情報については、<http://kiyokasai.com/> をご覧ください。

## お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会にお問い合わせください。また、MMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。県医師会学術広報課（TEL 0985-22-5118）までご連絡ください。

| 送付日   | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9月14日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅部分が存する防火対象物におけるスプリンクラー設備の技術上の基準の特例の運用について</li> <li>・消費者委員会特商取引法専門調査会による中間整理に関するパブリックコメント受付の周知について</li> </ul>                                                                                                                          |
| 9月15日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度地域医療介護総合確保基金(介護分)の交付額について</li> <li>・国家戦略特別区域法における安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律の特例の施行について(通知)</li> </ul>                                                                                                                                  |
| 9月16日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国家戦略特別区域法における外国医師等が行う臨床修練等に係る医師法第十七条等の特例等に関する法律の特例の施行について(通知)</li> <li>・妊娠総合相談支援事業について</li> <li>・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて</li> </ul>                                                                                                     |
| 9月17日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・反射性(神経調節性)失神及び不整脈を原因とする失神に係る主治医の診断書の適正な運用のための協力について</li> </ul>                                                                                                                                                                          |
| 9月18日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療事故情報収集等事業平成26年年報の公表について(通知)</li> <li>・平成27年国勢調査の実施に伴う協力について(依頼)</li> <li>・ブイフェンド錠50mg, 同錠200mg, 同200mg静注用及び同ドライシロップ2800mgの効能・効果等の変更に伴う診療報酬の算定方法に関する留意事項の一部改正について</li> <li>・使用薬剤の薬価(薬価基準)の一部改正等について</li> <li>・医療機器の保険適用について</li> </ul> |
| 9月24日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「使用上の注意」の改訂について</li> <li>・内服薬等の包装の誤飲の発生について</li> <li>・法務官署の医療への御支援と御協力へのお願いについて(周知依頼)</li> </ul>                                                                                                                                        |
| 9月25日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・肝炎治療特別促進事業の実務上の取扱いについて</li> <li>・宮崎県肝炎治療費助成事業における実務上の取扱いについて</li> <li>・中東呼吸器症候群(MERS)及びエボラ出血熱の国内発生時の対応について</li> <li>・がん登録等の推進に関する法律施行令及びがん登録等の推進に関する法律施行規則の施行について</li> <li>・「健康な食事」の普及等について</li> </ul>                                  |
| 9月28日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度ジェネリック医薬品軽減額通知の実施について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                  |

| 送付日   | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9月29日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「肝炎治療特別促進事業の実務上の取扱いについて」の一部改正について</li> <li>・日本医師会・日本獣医師会による連携シンポジウム「越境性感染症の現状と課題」の開催について</li> <li>・平成27年度感染症流行予測調査における日本脳炎感染源調査結果について(送付)</li> <li>・中東呼吸器症候群(MERS)の国内発生時の対応について</li> <li>・エボラ出血熱の国内発生を想定した対応について</li> <li>・厚生労働省主催「平成27年度新型インフルエンザの診療と対策に関する研修」の開催について</li> <li>・平成27年度結核予防週間の実施について</li> <li>・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて</li> <li>・内服薬等の包装の誤飲の発生について(通知)</li> </ul>                                             |
| 10月1日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療事故調査制度について(再周知)</li> <li>・厚生労働省ホームページにおける医療事故調査等支援団体の連絡先等の掲載について</li> <li>・「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」に基づき研究を実施するに当たり留意すべき事項について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 10月2日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・難病の患者に対する医療等の総合的な推進を図るための基本的な方針について</li> <li>・全日本病院協会「看護師特定行為研修指導者講習会」(第5回, 第6回)について</li> <li>・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 10月5日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動体外式除細動器(AED)設置登録情報の適切な更新等について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 10月6日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医薬品の適正使用に当たっての留意事項等について(通知)</li> <li>・看護師等免許保持者の届出制度に係るポスター・チラシの配布について</li> <li>・医療事故情報収集等事業「医療安全情報No.106」の提供について(通知)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 10月7日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本医師会におけるマイナンバー制度への対応」の日本医師会ホームページへの掲載について</li> <li>・東日本大震災に伴う保険診療の特例措置の期間延長等について</li> <li>・医療機器「COOK Spectrum M/R 含浸中心静脈カテーテルキット」の適正使用について</li> <li>・「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業第13回集計報告」の周知について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                         |
| 10月8日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に症状が生じた方に対する相談・支援体制の充実について</li> <li>・児童, 生徒, 学生, 幼児及び職員の健康診断の方法及び技術的基準の補足的事項及び健康診断票の様式例の取り扱いについて(情報提供)</li> <li>・情報通信機器を用いた労働安全衛生法第66条の8第1項及び第66条の10第3項の規定に基づく医師による面接指導の実施について</li> <li>・化学物質等の表示及びリスクアセスメントに係る関係政省令, 指針等の制定について</li> <li>・「病原微生物検出情報」の送付について</li> <li>・エボラ出血熱の国内発生を想定した対応について</li> <li>・ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に生じた症状の診療に係る協力医療機関リストの更新について</li> <li>・平成27年度宮崎県災害医療研修会開催について(依頼)</li> </ul> |
| 10月9日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院の耐震改修の状況の調査について</li> <li>・医療法の一部を改正する法律の公布について(通知)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |



今年の敬老の日はシルバーウィークでした。滅多にない9月の連休でしたが次回は11年後とのこと、かなり待ち遠しいです。敬老の日にちなんで高齢者について厚労省のホームページで調べてみました。本年9月現在100歳以上の高齢者数は全国で58,820人、宮崎県は788人(昨年度1,126人)で、人口10万人あたりの都道府県別比較では全国第8位でした。老年人口割合(65歳以上)も全国平均25.1%に対し宮崎県は28.6%と高齢化が全国より5年先を進んでいるとのことでしたが、平均寿命、健康寿命ともに宮崎県は他県に比較すると平均より長寿であり、「日常生活に制限のある不健康な期間」に相当する「平均寿命と健康寿命の差」は男女とも平均より半年以上短く、宮崎は高齢化は進んでいるけど高齢者が元気だ、といえるのかもしれないと思いました。医師についても調べてみました。宮崎の医師平均年齢は51.2歳と全国平均より2歳以上高齢で、年齢構成では20代30代の若手医師が全国平均より随分少ないようです。厚労省が例年行っている若手医師対象のアンケート調査によると、地方の若手医師は3年目に当該都道府県出身の医師が減少し都市圏に移動する傾向があるとのことですが宮崎県も例外ではないようです。少しでも多くの若手医師が宮崎県内に定着して、高齢化した医師を含めて宮崎の医療を支えて欲しいと思いました。(中村)

\* \* \* \* \*

福井の友人が紅葉が始まったとフェイスブックで伝えていました。

宮崎の春は霧島神宮手前から霧島温泉街にぬける“天孫降臨の道”のあの緑鮮やかな林のトンネル道が素晴らしいです。秋は霧島神宮周辺の真っ赤な並木道や、西米良周辺の山の中の自然の紅葉がいいですね。私はどちらかといえば山の中のまだ紅葉になりきっていない黄色やオレンジがまだらに混在する自然の中の山並みが趣があり好きです。

宮崎ももうすぐだなとわくわくしてその季節を待っています。(釜付)

\* \* \*

「一生に一度はお伊勢参り…」先月、名古屋から電車で1時間半ゆられて伊勢神宮を参拝してきました。10年前の数年間、名古屋に住んでいましたが機会がなく参拝したことはありませんでした。今回、急に行くことになったので、家族、上司に伝える間もなく電車に乗りました。しかし外宮から内宮と参拝し、何かとてつもないパワーを頂いたような気がします。後で知ったのですが今は遷宮後の「おかげ年」でご利益が増しているそうです。お陰参りがおかげ年参りになりました。(沖田)

\* \* \*

往診の帰りに、ドクターヘリも出動し、全国版になった事故の余波に遭遇した。迂回した道が更に渋滞。学園祭のパレード？、津波でグリッドロックになればアウト、他国の侵略であれば…と絵空事を考えていたがラジオの報道で状況判断ができた。“想定外の”とは、後日の検証での言葉であり、当事者には何が起り、どうすべきかわからず、パニックに陥り2次災害を引き起こす恐れさえある。これらを防ぐ手立てとして、事故処理の対応、情報伝達の在り方の検証が必要であり、市内のど真ん中で生じた1次災害に対する、医療機関の対応力の未完成さも

考慮すべき課題であると思われた。(篠原)

\* \* \*

最近、母に借りた高田郁さんの「あい」という本を読んでいます。幕末から明治にかけてを舞台に、実在した医師関寛齋とその妻あいを描いた小説で、物語はあいを中心として進みます。貧しい農村に生まれ、大変な苦勞をしながらも医師となり患者のために誠実に働く寛齋と、ひたむきに夫を支え続けるあいの姿には、心を打たれます。勉強の合間に読み進めて残りは4分の1程になりましたが、ここからまた物語が大きく動きそうなので続きが楽しみです。(上條)

\* \* \*

近頃は涼やかな秋晴れの下、学園祭に向けて看板のペンキを塗り、病院へポスターやパンフレットを送付し、出し物のアカペラの練習にと奔走しております。学園祭が終わるとOSCE、CBT、後期試験があり、ポリクリが始まりますが、先のことを考えると、今回の学園祭が同期全員で行う学生時代最後のイベントとなります。そう考えると感慨深さはひとしおですが、その気持ちは学園祭が終わるまで大事にとっておき、打ち上げの時の酒の肴としたいと思います。(押川)

\* \* \*

マイナンバー制度の個人番号通知カードの送付が始まりましたが、早くも便乗した詐欺や不審電話などが全国で多発しているようです。また、番号制度を拒否するとして、ネットに自分の番号を公開した人もいたとか。今後は、詐欺のような悪意はなくても誤った番号の利用法により問題となることも出てくるのではと懸念しています。会員の先生方にはご自分の番号のみでなく、従業員の番号を取り扱う立場の方も多いと思います。ご注意ください。(荒木)

\* \* \*

## 今月のトピックス

### 就任挨拶 宮崎大学医学部教授就任挨拶

全国で初めて、大学が自治体病院の指定管理者となり運営をはじめた宮崎市立田野病院。コミュニティ・メディカルセンター教授および田野病院長に就任された近藤千博先生からご挨拶をいただきました。隣接する介護老人保健施設「さざんか苑」もあわせて管理運営することで、地域医療に貢献するばかりでなく、高齢者医療を含めた総合診療医を目指す学生の教育の場としても期待されています。また、「国公立病院だより」(18ページ)でも吉原博幸宮崎大学医学部附属病院長が田野病院の位置づけについて触れておられます。国レベルでも高い注目と期待が寄せられているそうです。

6ページ

### 「新春随想」原稿募集

早いもので、TVでは年賀状のCMが流れています。今年も新春随想への投稿をお願いする季節になりました。2015年を振り返り2016年を展望する壮大なものでも、日常のちょっとした幸せのご紹介でも何でも構いません。特に年男・年女の方、とりわけ還暦をお迎えの皆さん。奮ってのご投稿をお待ちしております。

7ページ

### 宮大医学部学生のページ 第11回清花祭～宮大浪漫～

11月といえば学園祭の季節です。清武キャンパスでも様々な催しがあるようです(11月14日・15日)。講義棟での真面目な医学展から屋外ステージでのイベント企画まで、今時の医学生気質に触れてみてください。

74ページ

日 州 医 事 第 795号 (平成 27年 11月号) (毎月 1 回 10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行  
〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地 0985-22-5111(代)・FAX 27-6550  
<http://www.iyazakimed.or.jp/> E-mail:office@iyazakimed.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 上野 満・副委員長 釜付 弘志, 沖田 和久  
委 員 篠原 立大, 中村 豪, 上條 苑子, 押川 隆  
大野 妙子, 西田 隆昭, 岡本健太郎, 枝元 真人, 佐井 佳世  
担当副会長 富田 雄二・担当理事 荒木 早苗, 佐々木 究  
事 務 局 学術広報課 瀬戸山千春, 牧野 諭

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。  
定 価 350円 (但し、県医師会員の講読料は会費に含めて徴収してあります)